

審査支払会計事業費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月 1日 至 令和7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項																																																																																
	千円	千円	千円	千円	千円	千円																																																																																	
〔 経常損益の部 〕							〔 経常損益の部 〕 ( 業務損益の部 ) I 業務収益 II 業務費用 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         診療報酬収入・支出内訳                          ○ 金額                          診療報酬 +2,306億円 (前年度増減率 +1.5%)                          出産育児一時金 ▲90億円 (前年度増減率 ▲2.9%)                          ○ 件数                          診療報酬 +27百万件 (前年度増減率 +2.0%)                          出産育児一時金 ▲3万件 (前年度増減率 ▲4.1%)                     </div> 診療報酬収入・支出(金額) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>差引増減(▲)件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>協会けんぽ</td><td>63,971億円</td><td>65,178億円</td><td>1,208億円</td></tr> <tr><td>共済組合</td><td>14,673億円</td><td>15,018億円</td><td>345億円</td></tr> <tr><td>健保組合</td><td>40,861億円</td><td>41,583億円</td><td>722億円</td></tr> <tr><td>感染症</td><td>848億円</td><td>62億円</td><td>▲786億円</td></tr> <tr><td>自治体医療</td><td>3,935億円</td><td>4,150億円</td><td>215億円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>24,644億円</td><td>25,248億円</td><td>603億円</td></tr> <tr><td>診療報酬 計</td><td>148,932億円</td><td>151,238億円</td><td>2,306億円</td></tr> <tr><td>出産育児一時金</td><td>3,065億円</td><td>2,975億円</td><td>▲90億円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>151,997億円</td><td>154,213億円</td><td>2,216億円</td></tr> </tbody> </table> 診療報酬収入・支出(件数) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>差引増減(▲)件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>協会けんぽ</td><td>515百万件</td><td>529百万件</td><td>13百万件</td></tr> <tr><td>共済組合</td><td>136百万件</td><td>139百万件</td><td>4百万件</td></tr> <tr><td>健保組合</td><td>371百万件</td><td>380百万件</td><td>10百万件</td></tr> <tr><td>感染症</td><td>11百万件</td><td>0百万件</td><td>▲11百万件</td></tr> <tr><td>自治体医療</td><td>179百万件</td><td>188百万件</td><td>9百万件</td></tr> <tr><td>その他</td><td>87百万件</td><td>89百万件</td><td>2百万件</td></tr> <tr><td>診療報酬 計</td><td>1,299百万件</td><td>1,325百万件</td><td>27百万件</td></tr> <tr><td>出産育児一時金</td><td>65万件</td><td>62万件</td><td>▲3万件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,299百万件</td><td>1,326百万件</td><td>27百万件</td></tr> </tbody> </table> ( 業務外損益の部 ) I 業務外収益 3 延滞金収入 診療報酬等の未収に対して発生した延滞金 II 業務外費用 事務費勘定へ繰入 受取利息等の事務費勘定への繰入額	項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)件数	協会けんぽ	63,971億円	65,178億円	1,208億円	共済組合	14,673億円	15,018億円	345億円	健保組合	40,861億円	41,583億円	722億円	感染症	848億円	62億円	▲786億円	自治体医療	3,935億円	4,150億円	215億円	その他	24,644億円	25,248億円	603億円	診療報酬 計	148,932億円	151,238億円	2,306億円	出産育児一時金	3,065億円	2,975億円	▲90億円	合計	151,997億円	154,213億円	2,216億円	項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)件数	協会けんぽ	515百万件	529百万件	13百万件	共済組合	136百万件	139百万件	4百万件	健保組合	371百万件	380百万件	10百万件	感染症	11百万件	0百万件	▲11百万件	自治体医療	179百万件	188百万件	9百万件	その他	87百万件	89百万件	2百万件	診療報酬 計	1,299百万件	1,325百万件	27百万件	出産育児一時金	65万件	62万件	▲3万件	合計	1,299百万件	1,326百万件	27百万件
項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)件数																																																																																				
協会けんぽ	63,971億円	65,178億円	1,208億円																																																																																				
共済組合	14,673億円	15,018億円	345億円																																																																																				
健保組合	40,861億円	41,583億円	722億円																																																																																				
感染症	848億円	62億円	▲786億円																																																																																				
自治体医療	3,935億円	4,150億円	215億円																																																																																				
その他	24,644億円	25,248億円	603億円																																																																																				
診療報酬 計	148,932億円	151,238億円	2,306億円																																																																																				
出産育児一時金	3,065億円	2,975億円	▲90億円																																																																																				
合計	151,997億円	154,213億円	2,216億円																																																																																				
項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)件数																																																																																				
協会けんぽ	515百万件	529百万件	13百万件																																																																																				
共済組合	136百万件	139百万件	4百万件																																																																																				
健保組合	371百万件	380百万件	10百万件																																																																																				
感染症	11百万件	0百万件	▲11百万件																																																																																				
自治体医療	179百万件	188百万件	9百万件																																																																																				
その他	87百万件	89百万件	2百万件																																																																																				
診療報酬 計	1,299百万件	1,325百万件	27百万件																																																																																				
出産育児一時金	65万件	62万件	▲3万件																																																																																				
合計	1,299百万件	1,326百万件	27百万件																																																																																				
( 業務損益の部 )																																																																																							
I 業務収益																																																																																							
診療報酬収入	15,199,732,932	15,199,732,932	15,421,297,534	15,421,297,534	221,564,602	221,564,602																																																																																	
II 業務費用																																																																																							
診療報酬支出	15,199,732,932	15,199,732,932	15,421,297,534	15,421,297,534	221,564,602	221,564,602																																																																																	
業務利益		-		-		-																																																																																	
( 業務外損益の部 )																																																																																							
I 業務外収益																																																																																							
1 受取利息	3,649		346,757		343,108																																																																																		
2 有価証券利息	24		-		▲24																																																																																		
3 延滞金収入	24	3,698	43	346,801	19	343,103																																																																																	
II 業務外費用																																																																																							
事務費勘定へ繰入	3,698	3,698	346,801	346,801	343,103	343,103																																																																																	
経常利益		-		-		-																																																																																	
当期純利益		-		-		-																																																																																	

審査支払会計事業費勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 の 部			令和6事業年度 主要説明事項	
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)
	千円	千円	千円		千円	千円	千円
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産				I 流動負債			
1 現金及び預金	270,060,890	283,879,495	13,818,605	1 未払金	26,737,555	25,144,812	▲ 1,592,743
2 未収入金	24,674,652	23,259,320	▲ 1,415,331	2 前受金	188,573,723	197,062,570	8,488,847
3 その他の流動資産	-	18,267	18,267	3 預り金	13,639,785	13,221,534	▲ 418,251
流動資産合計	294,735,542	307,157,083	12,421,540	4 その他の流動負債	67	16,476	16,409
				流動負債合計	228,951,131	235,445,393	6,494,261
				II 固定負債			
				預り委託金	65,784,411	71,711,690	5,927,279
				固定負債合計	65,784,411	71,711,690	5,927,279
資産合計	294,735,542	307,157,083	12,421,540	負債合計	294,735,542	307,157,083	12,421,540

(資産の部)

流動資産

1 現金及び預金 委託金、前受金の増 +138.2億円

(内訳)	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
委託金	658億円	717億円	59億円
前受金(各法概算金)	1,886億円	1,971億円	85億円
預り金(預り源泉所得税)	136億円	132億円	▲4億円
未払資金(出産育児一時金、支払保留等)	21億円	19億円	▲2億円
合計	2,701億円	2,839億円	138億円

※ 出産育児一時金等は令和7年3月24日に保険者へ請求し、令和7年4月4日に医療機関へ支払うもの一部である。

2 未収入金 保険者等からの未収診療報酬、再審査請求分の請求不足診療報酬及び過払診療報酬

(負債の部)

I 流動負債

1 未払金 医療機関等への未払診療報酬、再審査請求分の支払不足診療報酬及び過請求診療報酬

2 前受金 令和7年2月診療分における感染症法、生活保護法及び障害者総合支援法等各法分診療報酬の概算請求額

3 預り金 令和7年3月に保険医療機関等から預り、令和7年4月に税務署に納付する預り源泉所得税

再審査未調整に伴う令和6年度収支整理不能の処分額(事務費勘定から補填)

- ・再審査未調整について、民法第166条第1項第2号に規定する10年の消滅時効の完成をもって処分(16,042千円)
- ・医療機関の開設者が行方不明等により長期間に亘り再審査未調整及び未払金となった場合は、厚生省通知(S2 6.3.6付け保険発第43号)に基づき早期処分(16,986千円)

点数表	医療機関等数	金額
医科	342	10,914千円
歯科	232	15,314千円
調剤	143	4,741千円
訪問看護	8	2,058千円
合計	725	33,027千円

審査支払会計事務費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和 5年4月 1日 至 令和 6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和 6年4月 1日 至 令和 7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
<b>〔経常損益の部〕</b>							<b>〔経常損益の部〕</b>
<b>(業務損益の部)</b>							<b>(業務損益の部)</b>
<b>I 業務収益</b>							<b>I 業務収益</b>
1 事務費収入	68,359,061		66,574,837		▲ 1,784,223		1 事務費収入 ▲17.8億円 (内訳) ・件数差による影響額 +8.3億円 ・手数料引下げによる影響額 ▲26.1億円
2 レセプト電子データ提供料収入	714,821		703,918		▲ 10,903		
3 その他の業務収益	228,360	69,302,243	1,201,217	68,479,973	972,857	▲ 822,269	
<b>II 業務費用</b>							<b>II 業務費用</b>
1 役員報酬	44,931		44,936		5		
2 給与手当	20,256,463		19,548,773		▲ 707,689		
3 賞与	4,436,036		4,441,890		5,854		
4 賞与引当金繰入額	2,178,414		2,184,562		6,148		
5 退職給付費用	4,211,218		1,724,818		▲ 2,486,400		
6 法定福利費	4,181,288		4,088,833		▲ 92,455		
7 審査委員会費	11,093,552		11,153,868		60,315		
8 通信費	3,274,489		3,211,321		▲ 63,168		
9 委託費	2,374,381		1,791,586		▲ 582,795		
10 使用料及び賃借料	1,288,744		1,514,052		225,308		
11 保守料	3,763,385		3,742,140		▲ 21,244		
12 減価償却費	4,320,952		4,244,905		▲ 76,046		
13 その他の業務費用	3,176,525	64,600,382	3,212,551	60,904,240	36,026	▲ 3,696,142	
<b>業務利益</b>		4,701,860		7,575,733		2,873,872	
<b>(業務外損益の部)</b>							<b>(業務外損益の部)</b>
<b>I 業務外収益</b>							<b>I 業務外収益</b>
1 受取利息	451		56,950		56,499		
2 雑収入	701,109		697,945		▲ 3,164		
3 事業費勘定からの受入	3,698	705,258	346,801	1,101,697	343,103	396,438	
<b>II 業務外費用</b>							<b>II 業務外費用</b>
リース支払利息	25,806	25,806	27,511	27,511	1,705	1,705	
<b>経常利益</b>		5,381,313		8,649,919		3,268,605	
<b>〔特別損益の部〕</b>							<b>〔特別損益の部〕</b>
<b>I 特別利益</b>							<b>I 特別利益</b>
リース債務解約益	—	—	6,318	6,318	6,318	6,318	
<b>II 特別損失</b>							<b>II 特別損失</b>
固定資産除却損	4,089	4,089	148,138	148,138	144,049	144,049	
<b>当期純利益</b>		5,377,224		8,508,099		3,130,875	
<b>当期末処分利益</b>		5,377,224		8,508,099		3,130,875	
							(注) 当期末処分利益の8,508,099千円は、社会保険診療報酬支払基金定款第39条第1項の規定により積立金として積み立てることとする。

**【レセプト件数の状況(決算2期比較)】**

項目	R5年度	R6年度	差引増減	
			増減率	
医療保険計	1,030百万件	1,046百万件	16百万件	1.6%
感染症公費	8百万件	0百万件	▲ 7百万件	▲97.7%
その他公費計	267百万件	275百万件	8百万件	2.8%
合計	1,305百万件	1,321百万件	16百万件	1.3%

賞与 賞与引当金繰入額※ } ▲7.9億円 ・職員数の減(定員削減:▲143人)等による減 ▲15.6億円  
・人勤による増 +7.7億円

※賞与引当金繰入額は令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月までの費用

5 退職給付費用 : 職員数の減少(定員削減)等による減  
7 審査委員会費 : 非常勤審査委員の審査従事時間の増加に伴う手当支給額の増  
8 通信費 : 請求関係帳票の電子化に伴う発送経費等の減  
9 委託費 : 紙レセプト減少に伴う画像取得外部委託経費の減  
10 使用料及び賃借料 : 人事・給与・勤怠申請システム等の利用開始に伴う増  
11 保守料 : 帳票電子化に伴う業務用プリンタ保守経費等の減  
12 減価償却費 : データセンター退去に伴うサーバー等の撤去等による減

**(業務外損益の部)**

**I 業務外収益**  
1 受取利息 : マイナス金利解除に伴う運用利率の上昇による増  
3 事業費勘定からの受入 : マイナス金利解除に伴う運用利率の上昇による増

**II 業務外費用**  
リース支払利息 : 新規リース契約により発生した支払利息の増

**〔特別損益の部〕**

**I 特別利益**  
リース債務解約益 : ライセンス等の一部解約に伴うリース債務残の免除による益

**II 特別損失**  
固定資産除却損 : データセンター退去に伴うサーバー等の撤去に伴う増

審査支払会計事務費勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項	
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)
	千円	千円	千円		千円	千円	千円
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>			<b>(資産の部)</b>	
<b>I 流動資産</b>			<b>I 流動負債</b>			<b>I 流動負債</b>	
1 現金及び預金	51,092,032	10,886,414	▲ 40,205,617	1 未払金	5,833,533	5,113,979	▲ 719,554
2 未収事務費	6,287,331	5,855,827	▲ 431,503	2 未払消費税等	1,120,431	845,159	▲ 275,272
3 その他の流動資産	80,991	92,754	11,763	3 預り金	268,052	270,649	2,596
流動資産合計	57,460,354	16,834,997	▲ 40,625,357	4 賞与引当金	2,178,414	2,184,562	6,148
				5 その他の流動負債	1,571,957	1,680,927	108,970
<b>II 固定資産</b>			<b>II 固定負債</b>			<b>II 固定資産</b>	
1 有形固定資産				1 退職給付引当金	58,036,182	55,228,505	▲ 2,807,677
(1) 建物	70,005,386	69,971,595	▲ 33,790	2 その他の固定負債	864,726	877,618	12,891
減価償却累計額	▲ 39,078,825	▲ 40,367,595	▲ 1,288,770	固定負債合計	58,900,909	56,106,123	▲ 2,794,785
	30,926,561	29,603,999	▲ 1,322,561				
(2) 構築物	1,626,987	1,626,836	▲ 151	負債合計	69,873,299	66,201,401	▲ 3,671,898
減価償却累計額	▲ 1,415,301	▲ 1,423,298	▲ 7,996				
	211,685	203,537	▲ 8,148				
(3) 工具器具備品	4,230,500	3,563,397	▲ 667,103				
減価償却累計額	▲ 3,179,141	▲ 2,910,765	268,376				
	1,051,359	652,631	▲ 398,727				
(4) 土地	29,638,478	29,638,478	-				
(5) 有形リース資産	3,571,366	3,286,769	▲ 284,597				
減価償却累計額	▲ 2,035,498	▲ 2,404,218	▲ 368,720				
	1,535,868	882,550	▲ 653,317				
有形固定資産合計	63,363,952	60,981,198	▲ 2,382,754				
2 無形固定資産				<b>(資本の部)</b>			
(1) 電話加入権	3,834	3,834	-	利益剰余金			
(2) ソフトウェア	4,536,914	2,965,321	▲ 1,571,592	1 任意積立金			
(3) ソフトウェア仮勘定	139,906	-	▲ 139,906	別途積立金	50,374,261	55,751,485	5,377,224
(4) 無形リース資産	-	740,265	740,265	2 当期末処分利益	5,377,224	8,508,099	3,130,875
無形固定資産合計	4,680,655	3,709,421	▲ 971,234	利益剰余金合計	55,751,485	64,259,584	8,508,099
3 投資その他の資産				資本合計	55,751,485	64,259,584	8,508,099
(1) IT化推進経費積立資産	-	3,482,010	3,482,010				
(2) 退職給付引当資産	-	22,858,478	22,858,478				
(3) 施設及び設備準備積立資産	-	1,407,549	1,407,549				
(4) 財政安定化資産	-	2,800,000	2,800,000				
(5) 別途積立資産	-	12,197,204	12,197,204				
(6) 令和2年度決算積立資産	-	6,070,587	6,070,587				
(7) 敷金・保証金	119,820	119,538	▲ 282				
投資その他の資産合計	119,820	48,935,368	48,815,547				
固定資産合計	68,164,429	113,625,988	45,461,559				
資産合計	125,624,784	130,460,985	4,836,201	負債・資本合計	125,624,784	130,460,985	4,836,201

令和6事業年度 主要説明事項

**(負債の部)**

**I 流動負債**

1 未払金 : 修繕費(システム改修経費)の未払債務の減

2 未払消費税等 : 中間納付額増に伴う未払消費税の減

3 預り金 : 住民税の増による預り金の増(役員から徴収した所得税・住民税)

4 賞与引当金 : 賞与支給見込額の増による賞与引当金の増(令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月に発生する支払債務)

5 その他の流動負債 : 共通帳票管理システムの新規リース契約に伴う短期リース債務の増(リース会計に係る債務計上額のうち令和7年度に支払が到来する短期リース債務等)

**(負債の部)**

**I 流動負債**

1 未払金 : 修繕費(システム改修経費)の未払債務の減

2 未払消費税等 : 中間納付額増に伴う未払消費税の減

3 預り金 : 住民税の増による預り金の増(役員から徴収した所得税・住民税)

4 賞与引当金 : 賞与支給見込額の増による賞与引当金の増(令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月に発生する支払債務)

5 その他の流動負債 : 共通帳票管理システムの新規リース契約に伴う短期リース債務の増(リース会計に係る債務計上額のうち令和7年度に支払が到来する短期リース債務等)

未払金

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
通信費	22.4億円	24.5億円	2.1億円
委託費・修繕費	10.9億円	4.9億円	▲ 6.0億円
保守料	7.8億円	7.2億円	▲ 0.6億円
事務所・宿舍修繕	2.4億円	0.7億円	▲ 1.7億円
審査委員会手当等	7.6億円	7.7億円	0.1億円
超過勤務手当	0.4億円	0.3億円	▲ 0.1億円
法定福利費	2.4億円	2.6億円	0.2億円
その他	4.5億円	3.3億円	▲ 1.2億円
合計	58.3億円	51.1億円	▲ 7.2億円

その他の流動負債

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
短期リース債務	6.4億円	8.0億円	1.6億円
賞与引当金繰入額に係る法定福利費	3.2億円	3.3億円	0.0億円
2月診療分事務費収入の消費税	5.7億円	5.4億円	▲ 0.3億円
その他	0.4億円	0.2億円	▲ 0.2億円
合計	15.7億円	16.8億円	1.1億円

**II 固定負債**

1 退職給付引当金 : 退職給付費用等の減に伴う減(令和7年3月末日における退職給付債務見込額)

2 その他の固定負債 : 共通帳票管理システムの新規リース契約に伴う長期リース債務の増(リース会計に係る債務計上額のうち令和8年度以降に支払が到来する長期リース債務)

その他の固定負債

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
長期リース債務(共通帳票管理システム等)	8.6億円	8.8億円	0.1億円
その他	0.0億円	0.0億円	▲ 0.0億円
合計	8.6億円	8.8億円	0.1億円

現金及び預金の内訳

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
IT化推進経費積立預金	17.6億円	-	▲ 17.6億円
退職給付引当預金	231.5億円	-	▲ 231.5億円
施設及び設備準備積立預金	16.9億円	-	▲ 16.9億円
別途積立預金	69.3億円	-	▲ 69.3億円
期ずれ(令和2年2月診療分)	60.7億円	-	▲ 60.7億円
収支剰余金	95.3億円	95.1億円	▲ 0.2億円
未払資金等	19.6億円	13.8億円	▲ 5.8億円
合計	510.9億円	108.9億円	▲ 402.1億円

※ 目的積立預金については、R6より「I 流動資産」の「現金及び預金」から「II 固定資産」の「投資その他の資産」に計上

**II 固定資産**

1 有形固定資産

(1) 建物 : 大規模修繕(空調機)に伴う減

(3) 工具器具備品 : 共通帳票管理システム等のクラウド化によるサーバー等の撤去に伴う減

2 無形固定資産

(2) ソフトウェア : 減価償却による減

(3) ソフトウェア仮勘定 : システム開発完了に伴うソフトウェア等への振替による減

(4) 無形リース資産 : 共通帳票管理システムの新規リース契約による増

ソフトウェア内訳

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
オンライン請求システム	2.4億円	1.5億円	▲ 0.9億円
分析評価システム	1.2億円	2.1億円	0.9億円
審査支払新システム	41.8億円	26.1億円	▲ 15.7億円
合計	45.4億円	29.7億円	▲ 15.7億円

ソフトウェア増減

R5年度末	R6年度中		R6年度末
残高	増*	減償償却	増減(▲)額
45.4億円	2.1億円	▲ 17.8億円	▲ 15.7億円
			29.7億円

※ 審査参考情報システムの機能拡充に伴うシステム改修 0.4億円  
 ※ 分析評価システムデータベースの構築・データ移行 1.7億円

投資その他の資産

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
IT化推進経費積立資産	-	34.8億円	34.8億円
退職給付引当資産	-	228.6億円	228.6億円
施設及び設備準備積立資産	-	14.1億円	14.1億円
財政安定化資産	-	28.0億円	28.0億円
別途積立資産	-	122.0億円	122.0億円
令和2年度決算積立資産	-	60.7億円	60.7億円
敷金・保証金	1.2億円	1.2億円	▲ 0.0億円
合計	1.2億円	489.4億円	488.2億円

※ 目的積立預金については、R6より「I 流動資産」の「現金及び預金」から「II 固定資産」の「投資その他の資産」に計上

審査支払会計高齢者医療制度円滑導入勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和 5年4月 1日 至 令和 6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和 6年4月 1日 至 令和 7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項																											
	千円	千円	千円	千円	千円	千円																												
〔経常損益の部〕							<p>【制度概要】 平成20年4月診療分より、軽減特例措置として70歳から74歳の被保険者及び被扶養者が受けた療養に係る一部負担金（2割）のうち、1割相当額を国が負担しており、国保連合会及び支払基金へ医療費等として必要な経費が交付され、国に代わって医療機関等へ支払を行っていた。 当該軽減措置は平成30年度末までであったが、その後は再審査調整等の処理を行うため、引き続き交付金が交付されている。</p>																											
(業務損益の部)																																		
I 業務収益																																		
1 高齢者医療制度円滑 運営臨時特例交付金収入	374		374																															
2 指定公費負担 医療費返還金	408	782	355	729	▲ 52	▲ 52																												
II 業務費用																																		
1 給 与 手 当	71		47		▲ 24																													
2 法 定 福 利 費	10		7		▲ 3																													
3 交 付 金 精 算 返 納 金	606		582		▲ 24																													
4 その他の業務費用	92	782	92	729	—	▲ 52																												
業務利益		—		—		—																												
経常利益		—		—		—																												
当期純利益		—		—		—																												
							<p>〔経常損益の部〕</p> <p>(業務損益の部)</p> <p>I 業務収益</p> <p>1 高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金収入 指定公費負担医療費及び事務処理経費の支払に充てるための交付金収入</p> <p>2 指定公費負担医療費返還金 過去の指定公費負担医療費に係る返還金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">R5年度</th> <th colspan="2">R6年度</th> <th colspan="2">差引</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再審査調整(返還)</td> <td>29件</td> <td>408千円</td> <td>47件</td> <td>355千円</td> <td>18件</td> <td>▲52千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29件</td> <td>408千円</td> <td>47件</td> <td>355千円</td> <td>18件</td> <td>▲52千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>II 業務費用</p> <p>1 給 与 手 当 指定公費負担医療費の業務処理に対する超過勤務手当</p> <p>2 交付金精算返納金 国庫へ返還する交付金剰余額</p> <p>3 その他の業務費用 業務処理に係る運用経費等</p>	項目	R5年度		R6年度		差引		件数	金額	件数	金額	件数	金額	再審査調整(返還)	29件	408千円	47件	355千円	18件	▲52千円	計	29件	408千円	47件	355千円	18件	▲52千円
項目	R5年度		R6年度		差引																													
	件数	金額	件数	金額	件数	金額																												
再審査調整(返還)	29件	408千円	47件	355千円	18件	▲52千円																												
計	29件	408千円	47件	355千円	18件	▲52千円																												

審査支払会計高齢者医療制度円滑導入勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 の 部			令和6事業年度 主要説明事項																		
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)		② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)																
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(負債の部)																
流動資産				流動負債				流動負債																
現金及び預金	616	676	59	未払金	616	676	59	未払金 令和7年3月処理分の事務処理経費に係る未払分及び 国庫へ返還する交付金																
流動資産合計	616	676	59	流動負債合計	616	676	59	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>差引増減(▲)額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫返還分</td> <td>606千円</td> <td>582千円</td> <td>▲24千円</td> </tr> <tr> <td>委託費等の未払金</td> <td>10千円</td> <td>94千円</td> <td>83千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>616千円</td> <td>676千円</td> <td>59千円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額	国庫返還分	606千円	582千円	▲24千円	委託費等の未払金	10千円	94千円	83千円	計	616千円	676千円	59千円
項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額																					
国庫返還分	606千円	582千円	▲24千円																					
委託費等の未払金	10千円	94千円	83千円																					
計	616千円	676千円	59千円																					
資産合計	616	676	59	負債合計	616	676	59																	

診療報酬等の請求・支払（決済勘定）

※損益計算書及び貸借対照表のみ作成

決算の概況

- 保険者から収納した診療報酬同額※を医療機関へ支払う素通り勘定であり、損益は発生しない ※ 年度帰属期間は4月～3月支払分（2～1月診療分）
- 診療報酬収入及び支出は、感染症公費が減少する一方で、花粉症の増加等によるレセプト件数増の影響に伴い、被用者保険が増加（対前年度比+1.5%）

項目	【金額】				【件数】		
	R5年度	R6年度	差引増減(▲)	前年度増減率	R5年度	R6年度	差引増減(▲)
診療報酬	148,932億円	151,238億円	2,306億円	+1.5%	1,299百万件	1,325百万件	27百万件
(再掲)協会けんぽ	(63,971億円)	(65,178億円)	(1,208億円)	(+1.9%)	(515百万件)	(529百万件)	(13百万件)
健保組合	(40,861億円)	(41,583億円)	(722億円)	(+1.8%)	(371百万件)	(380百万件)	(10百万件)
共済組合	(14,673億円)	(15,018億円)	(345億円)	(+2.3%)	(136百万件)	(139百万件)	(4百万件)
感染症公費	(848億円)	(62億円)	(▲786億円)	(▲92.7%)	(11百万件)	(0百万件)	(▲11百万件)
出産育児一時金	3,065億円	2,975億円	▲90億円	▲2.9%	65万件	62万件	▲3万件
合計	151,997億円	154,213億円	2,216億円	-	1,299百万件	1,326百万件	27百万件

- 前受金は、算定対象月※<sup>1</sup>である令和7年1月診療報酬額が前年同月より増加したことに伴い、85億円増加（令和5年度1,886億円 ⇒ 令和6年度1,971億円※<sup>2</sup>）

※<sup>1</sup> 生活保護法等各法分の概算診療報酬として、前月診療報酬額×1.1～1.5か月分を収納

※<sup>2</sup> 令和6年度は、令和7年1月診療報酬額が前年度同月より+2.8%増加したことにより、前受金が増加

- 委託金は、算定対象月※<sup>1</sup>である令和5年度診療報酬額の増加に伴い、59億円増加（令和5年度658億円 ⇒ 令和6年度717億円※<sup>2</sup>）

※<sup>1</sup> 前年度7～9月診療分の最高月診療報酬額×0.15か月分

※<sup>2</sup> 令和6年度は、令和5年度診療報酬額が前年度より+5.0%増加したことにより、委託金が増加

審査支払会計 事業費勘定【損益計算書】

単位：億円

区分	令和5事業年度	令和6事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
I 業務収益			
診療報酬収入	151,997.3	154,213.0	2,215.6
II 業務費用			
診療報酬支出	151,997.3	154,213.0	2,215.6
<b>業務利益</b>	-	-	-
<b>業務外損益</b>			
I 業務外収益	0.0	3.5	3.4
1 受取利息	0.0	3.5	3.4
2 有価証券利息	0.0	-	▲0.0
3 延滞金収入	0.0	0.0	0.0
II 業務外費用	0.0	3.5	3.4
事務費勘定へ繰入	0.0	3.5	3.4
<b>経常利益</b>	-	-	-
<b>当期純利益</b>	-	-	-

- ・診療報酬収入及び支出は、花粉症の増加等によるレセプト件数増に伴い、2,216億円増加（対前年度比+1.5%）
- ・本勘定は、保険者等からの診療報酬収入と同額を保険医療機関等へ支出する素通り勘定であり、損益は発生しない。

# 審査支払会計 事業費勘定【貸借対照表】

単位：億円

## 資産の部

## 負債の部

区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額	区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
<b>流動資産</b>	<b>2,947.4</b>	<b>3,071.6</b>	<b>124.2</b>	<b>I 流動負債</b>	<b>2,289.5</b>	<b>2,354.5</b>	<b>64.9</b>
1 現金及び預金	2,700.6	2,838.8	138.2	1 未払金	267.4	251.4	▲15.9
2 未収入金	246.7	232.6	▲14.2	2 前受金	1,885.7	1,970.6	84.9
3 その他の流動資産	-	0.2	0.2	3 預り金	136.4	132.2	▲4.2
				4 その他の流動負債	0.0	0.2	0.2
				<b>II 固定負債</b>	<b>657.8</b>	<b>717.1</b>	<b>59.3</b>
				<u>預り委託金</u>	657.8	717.1	59.3
<b>資産合計</b>	<b>2,947.4</b>	<b>3,071.6</b>	<b>124.2</b>	<b>負債合計</b>	<b>2,947.4</b>	<b>3,071.6</b>	<b>124.2</b>

前受金（流動負債）の増加（+85億円）及び預り委託金（固定負債）の増加（+59億円）に伴い、現金及び預金（流動資産）は138億円増加

# 審査支払会計 事務費勘定【損益計算書】

【業務損益の部】

単位：億円

区 分	令和5事業年度 ①		令和6事業年度 ②		差引増(▲)減額 (②-①)	
<b>I 業務収益</b>						
1 事務費収入	683.6		665.7		▲17.8	
2 レセプト電子データ提供料収入	7.1		7.0		▲0.1	
3 その他の業務収益	2.3	693.0	12.0	684.8	9.7	▲8.2
<b>II 業務費用</b>						
1 役員報酬	0.4		0.4		0.0	
2 給与手当	202.6		195.5		▲7.1	
3 賞与	44.4		44.4		0.1	
4 賞与引当金繰入額	21.8		21.8		0.1	
5 退職給付費用	42.1		17.2		▲24.9	
6 法定福利費	41.8		40.9		▲0.9	
7 審査委員会費	110.9		111.5		0.6	
8 通信費	32.7		32.1		▲0.6	
9 委託費	23.7		17.9		▲5.8	
10 使用料及び賃借料	12.9		15.1		2.3	
11 保守料	37.6		37.4		▲0.2	
12 減価償却費	43.2		42.4		▲0.8	
13 その他の業務費用	31.8	646.0	32.1	609.0	0.4	▲37.0
<b>業務利益</b>		<b>47.0</b>		<b>75.8</b>		<b>28.7</b>

※ 財務諸表の消費税等の会計処理は、税抜き方式（以下、全勘定において同じ）

Change.Challenge.Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 審査支払会計 事務費勘定【損益計算書】

【業務外損益・特別損益の部】

単位：億円

区 分	令和5事業年度 ①		令和6事業年度 ②		差引増(▲)減額 (②-①)	
<b>I 業務外収益</b>						
1 受取利息	0.0		0.6		0.6	
2 雑収入	7.0		7.0		▲0.0	
3 事業費勘定からの受入	0.0	7.1	3.5	11.0	3.4	4.0
<b>II 業務外費用</b>						
リース支払利息	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0
<b>特別利益</b>				0.1		0.1
<b>特別損失</b>		0.0		1.5		1.4
<b>当期純利益</b>		<b>53.8</b>		<b>85.1</b>		<b>31.3</b>

- 花粉症等レセプト請求件数の増加（+8億円）及び事務費単価引下げによる減（▲26億円）によって、事務費収入が前年度に比べ▲18億円の減
- 職員数の減少（定員削減）等による人件費及び退職給付費用の減、紙レセプト処理件数の減少による委託費の減少などにより、業務費用が▲37億円減少
- このことにより業務利益が増加（+29億円）し、当期は85億円の純利益を計上

Change.Challenge.Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 審査支払会計 事務費勘定【貸借対照表】

単位：億円

## 資産の部

区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動資産</b>	<b>574.6</b>	<b>168.3</b>	<b>▲406.3</b>
1 現金及び預金	510.9	108.9	▲402.1
2 未収事務費	62.9	58.6	▲4.3
3 その他の流動資産	0.8	0.9	0.1
<b>II 固定資産</b>	<b>681.6</b>	<b>1,136.3</b>	<b>454.6</b>
1 有形固定資産	633.6	609.8	▲23.8
2 無形固定資産	46.8	37.1	▲9.7
3 投資その他の資産	1.2	489.4	488.2
(1) IT化推進積立資産	-	34.8	34.8
(2) 退職給付引当資産	-	228.6	228.6
(3) 施設設備積立資産	-	14.1	14.1
(4) 財政安定化資産	-	28.0	28.0
(5) 別途積立資産	-	122.0	122.0
(6) R2決算積立資産	-	60.7	60.7
(7) 敷金・保証金	1.2	1.2	▲0.0
<b>資産合計</b>	<b>1,256.2</b>	<b>1,304.6</b>	<b>48.4</b>

## 負債の部

区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動負債</b>	<b>109.7</b>	<b>101.0</b>	<b>▲8.8</b>
1 未払金	58.3	51.1	▲7.2
2 未払消費税等	11.2	8.5	▲2.8
3 預り金	2.7	2.7	0.0
4 賞与引当金	21.8	21.8	0.1
5 その他の流動負債	15.7	16.8	1.1
<b>II 固定負債</b>	<b>589.0</b>	<b>561.1</b>	<b>▲27.9</b>
1 退職給付引当金	580.4	552.3	▲28.1
2 その他の固定負債	8.6	8.8	0.1
<b>負債合計</b>	<b>698.7</b>	<b>662.0</b>	<b>▲36.7</b>

## 資本の部

区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
利益剰余金	557.5	642.6	85.1
<b>資本合計</b>	<b>557.5</b>	<b>642.6</b>	<b>85.1</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>1,256.2</b>	<b>1,304.6</b>	<b>48.4</b>

・令和6年度に目的積立預金の表記方法を I 流動資産の「1 現金及び預金」から II 固定資産の「3 投資その他の資産」に変更したことに伴い、現金及び預金（▲402億円）が減少し、一方で、投資その他の資産（488億円）が増加  
 ・また、退職給付費用等の減に伴う退職給付引当金の減（▲28億円）により固定負債が減少

# 審査支払会計 事務費勘定【貸借対照表の表記方法の変更】

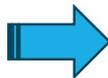
- これまで、流動資産の「現金及び預金」に含めて計上していた目的積立預金について、財務の透明性を図る観点から監査法人に確認の上、表記方法を見直し
- 目的積立預金については、将来見込まれる一時的経費や毎期の退職金支払額の増減に伴う手数料単価への急激な変動を抑えつつ、安定的な資金確保を図ることを目的とし、計画的かつ長期的な保有を前提に資産管理することから、当事業年度より、固定資産の「投資その他の資産」として表記することに変更

### 【貸借対照表表記方法の変更イメージ】

(これまでの表記方法)

**流動資産**  
現金及び預金 597.0億円

(目的積立預金を含めて一括して計上)



(令和6年度からの表記方法)

### 流動資産

現金及び預金 108.9億円

### 固定資産

#### 投資その他の資産

IT化推進経費積立資産 34.8億円

退職給付引当資産 228.6億円

施設及び設備準備積立資産 14.1億円

財政安定化資産 28.0億円

別途積立資産 122.0億円

令和2年度決算積立資産 60.7億円

(計488.2億円)

(目的積立預金を流動資産「現金及び預金」から固定資産「投資その他の資産」に分類して計上)

※ この表記方法の変更は、特別会計を含めすべての会計勘定に適用

## 審査支払会計 高齢者医療制度円滑導入勘定【損益計算書】

単位：万円

区分	令和5事業年度	令和6事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
<b>I 業務収益</b>	<b>78</b>	<b>73</b>	<b>▲5</b>
1 高齢者医療制度円滑運営 臨時特例交付金収入	37	<u>37</u>	-
2 指定公費負担医療費 返還金	41	<u>36</u>	▲5
<b>II 業務費用</b>	<b>78</b>	<b>73</b>	<b>▲5</b>
1 給与手当	7	5	▲2
2 法定福利費	1	1	▲0
3 交付金精算返納金	61	<u>58</u>	▲2
4 その他の業務費用	9	9	-
<b>業務利益</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>経常利益</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>当期純利益</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

交付金収入37万円から事務処理経費15万円を控除し、医療機関からの医療費返還金36万円を加えた58万円を交付金精算返納金として費用計上することにより、当期損益は発生しない

## 審査支払会計 高齢者医療制度円滑導入勘定【貸借対照表】

単位：万円

資産の部				負債の部			
区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額	区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
<b>流動資産</b>	<b>62</b>	<b>68</b>	<b>6</b>	<b>流動負債</b>	<b>62</b>	<b>68</b>	<b>6</b>
現金及び預金	62	68	6	未払金	62	<u>68</u>	6
<b>資産合計</b>	<b>62</b>	<b>68</b>	<b>6</b>	<b>負債合計</b>	<b>62</b>	<b>68</b>	<b>6</b>

未払金（流動負債）は、令和7年度に国庫へ返還する令和6年度交付金の残額23万円及び医療機関からの医療費返還金36万円を含め68万円を計上

令和6年度 審査支払会計事務費勘定収入支出内訳

(収入の部)

(単位:億円)

区分		予算額	決算額	比較増(▲)減額	主な増減要素
事務費収入		654.1	732.3	78.3	・予算件数 1,170百万件 ・確定件数 1,321百万件(+151百万件) <b>【レセプト件数の状況(予算・決算比較)】</b>
受入金	別途積立預金からの受入金	41.8	41.8	▲ 0.0	・施設費の減に伴う受入金の減 ▲1.0億円
	IT化推進経費積立預金からの受入金	0.9	0.9	▲ 0.0	
	施設及び設備準備積立預金からの受入金	3.8	2.8	▲ 1.0	
雑収入		21.9	26.1	4.2	・利子収入等の増 4.2億円
前事業年度からの繰越金		-	0.9	0.9	・令和5年度から継続的に実施した分析評価システムの処理性能改善に伴うデータ構築・移行経費に対する基金法施行規則第7条 <sup>※1</sup> に基づく前年度繰越金
① 収入合計		722.5	804.8	82.3	

区分	(百万円)	予算			決算			対予算増減		
		審査支払		調剤	審査支払		調剤	(百万円)	増減率	
		一般	判断	(32.60円)	一般	判断				
医療保険計	940	582	45	313	1,046	637	50	360	107	11.3%
公費計	230	134	11	85	275	157	13	105	44	19.2%
(感染症)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(▲1)	▲80.6%
合計	1,170	716	57	398	1,321	794	63	465	151	12.9%
比率	-	61.2%	4.8%	34.0%	-	60.1%	4.8%	35.2%	-	-

(支出の部)

区分		予算額	決算額	比較増(▲)減額	主な増減要素
給与諸費		311.3	305.0	▲ 6.3	・人事院勧告に伴う増(期末・勤勉手当(+0.1月)・月例給(+2.06%)) 7.7億円 ・超過勤務手当の減(1人当り:予算 93H → 56H) ▲4.1億円 ・職員数の減(欠員及び短時間勤務等)(予算 3,641人→3,581人) ▲6.5億円 ・その他(住居手当等)の減 ▲3.3億円
業務経費		202.1	202.0	▲ 0.1	
システム関連経費	開発経費	6.8	5.8	▲ 1.0	・診療報酬改定に伴うシステム改修経費等の減 ▲1.5億円 ・手数料階層化に伴うシステム改修経費(要件定義)の増+0.5億円
	維持管理経費	84.2	82.7	▲ 1.5	・帳票電子化に伴う業務用プリンター保守経費等の減 ▲1.5億円
	システム関連更新経費	0.9	0.9	▲ 0.0	
	委託経費	13.0	10.1	▲ 2.9	・画像取得等外部委託経費の減 ▲2.9億円
	分析評価システムデータ構築・移行経費	-	0.9	0.9	・令和5年度から継続的に実施した分析評価システムの処理性能改善に伴うデータ構築・移行経費の増
その他経常経費	経常経費	50.3	45.9	▲ 4.4	・水道光熱費等の減(電気・ガス料金負担軽減支援事業)▲0.9億円 ・帳票電子化等に伴う郵送料の減 ▲0.5億円 ・赴任旅費、福利厚生費、事務用品の購入等の減 ▲2.9億円
	納付消費税	47.0	55.7	8.7	・事務費収入増等に伴う消費税の増 8.7億円
退職給付引当預金への繰入		40.3	40.3	-	
役員会費		0.5	0.5	▲ 0.1	
審査委員会費		114.8	113.0	▲ 1.9	・審査調整役(常勤)の欠員による給与等の減(▲3人) ▲0.6億円 ・審査委員(非常勤)諸手当の減 ▲0.9億円 ・旅費支給実績等の減 ▲0.3億円
施設費	事務所等修繕経費	3.8	2.8	▲ 1.0	・部分修繕等の減 ▲1.0億円
積立金	財政安定化預金への繰入	28.0	28.0	-	
	IT化推進経費積立預金への繰入	18.1	18.1	-	
	施設及び設備準備積立預金への繰入	0.1	0.1	▲ 0.0	
予備費		3.4	-	▲ 3.4	・不使用による減 ▲3.4億円
② 支出合計		722.5	709.7	▲ 12.7	

※ 各金額にあつては、四捨五入の関係から一致しない場合がある。

収支差(①-②)	95.1
----------	------

※1 基金法施行規則 第7条

基金は収支予算の実施上必要があるときは、支出予算の経費の金額のうち当該事業年度内に支出決定を終わらなかったものを翌事業年度に繰り越して使用することができる。

令和6年度 審査支払会計高齢者医療制度円滑導入勘定収入支出内訳

(収入の部)

(単位：千円)

事 項 科 目	予算額	決算額	比較増(▲)減額	主な増減要素
(款) 交付金収入	374	374	—	【制度の概要】 平成20年4月診療分より、軽減特例措置として70歳から74歳の被保険者及び被扶養者が受けた療養に係る一部負担金(2割)のうち1割相当額を国が負担しており、国保連合会及び支払基金に医療費等として必要な経費が交付され、国に代わって医療機関等へ支払いを行っていた。 当該軽減措置は平成30年度末までであったが、その後は再審査調整等の処理を行うため、引き続き、交付金が交付されている。  【指定公費負担医療費返還金】 ・再審査に伴う過払返還額：355,599円
(項) 高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金	374	374	—	
(目) 指定公費負担医療費臨時特例交付金	174	174	—	
(目) 事務費臨時特例交付金	200	200	—	
(款・項) 雑収入	2	355	353	
① 収入合計	376	729	353	

※ 各金額にあつては、端数処理の関係から横計・縦計が一致しない場合がある。

(支出の部)

(単位：千円)

事 項 科 目	予算額	決算額	差引増(▲)減額	主な増減要素
(款) 業務取扱費	200	147	▲ 52	
(項) 事務取扱費	200	147	▲ 52	
(目) 超過勤務手当	93	47	▲ 45	
(目) 法定福利費	14	7	▲ 6	
(目) 業務諸費	93	92	▲ 0	
(款・項) 指定公費負担医療費支出	174	—	▲ 174	
(款・項) 予備費	2	—	▲ 2	
② 支出合計	376	147	▲ 228	

※ 各金額にあつては、端数処理の関係から横計・縦計が一致しない場合がある。

収支差 (① - ②)	582
-------------	-----

収支剰余582千円は、国庫へ返還

# 審査支払会計 事務費勘定【収入支出の状況】

## 決算の概況

### ■ 収入の状況

予算 722.5億円 ⇒ 決算 804.8億円 (+82.3億円)

#### 【内訳】

- 件数増による事務費収入増 654.1億円 → 732.3億円 (+78.3億円)
- 受入金 46.5億円 → 45.5億円 (▲1.0億円)  
(・事務所修繕経費の減に伴う施設及び設備準備積立預金受入の減)
- 雑収入 21.9億円 → 26.1億円 (+4.2億円)  
(・利子収入等の増)
- 前事業年度繰越金 - → 0.9億円 (+0.9億円)  
(・令和5年度から継続実施した分析評価システムのデータ構築、移行経費)

#### 【件数の状況】

○予算件数 1,170百万件 ⇒ 決算件数 1,321百万件 (+151百万件) ※2月理事会での見込件数 1,322百万件

#### 【令和6年度レセプト件数の状況（予算との比較）】

#### 【疾病別】

#### 【管掌別】

レセプト	予算	決算	差	レセプト	予算	決算	差
感染症	57百万件	106百万件	+49百万件	医療保険	940百万件	1,046百万件	+107百万件
インフルエンザ	35百万件	76百万件	+41百万件	生活保護	47百万件	48百万件	+1百万件
コロナ	19百万件	17百万件	▲2百万件	自治体医療	146百万件	187百万件	+41百万件
花粉症	201百万件	246百万件	+45百万件	感染症公費	0百万件	0百万件	▲0百万件
その他	912百万件	969百万件	+56百万件	その他公費	37百万件	40百万件	+2百万件
計	1,170百万件	1,321百万件	+151百万件	計	1,170百万件	1,321百万件	+151百万件

Change.Challenge.Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 審査支払会計 事務費勘定【収入支出の状況】

## ■ 支出の状況

予算 722.5億円 ⇒ 決算 709.7億円 (▲12.7億円)

- 【内訳】 ○給与諸費の減 311.3億円 → 305.0億円 (▲6.3億円)  
(・人勤に伴う増+7.7億円 ・欠員等による減▲6.5億円 ・超勤時間の減▲4.1億円 ・諸手当等支給実績の差▲3.3億円)
- 業務経費の減 202.1億円 → 202.0億円 (▲0.1億円)  
(・納付消費税の増 +8.7億円 ・紙レセプト減少による委託経費の減 ▲2.9億円)  
(・旅費、水道光熱費等の減 ▲4.4億円 ・システム関連経費の減 ▲1.6億円)
- 審査委員会費の減 114.8億円 → 113.0億円 (▲1.9億円)  
(・審査調整役(常勤)の減▲0.6億円 ・審査委員(非常勤)諸手当等の減▲1.2億円)
- 役員会費、施設費の減 4.3億円 → 3.3億円 (▲1.0億円)
- 予備費不使用 3.4億円 → - (▲3.4億円)

## ■ 差引

収入	予算 722.5億円	⇒	決算 804.8億円 (+82.3億円)
支出	722.5億円	⇒	709.7億円 (▲12.7億円)
収入支出の差	95.1億円		

※ 当該収支剰余金は、8年度以降に平準化して保険者へ計画的に還元（還元方法は、中期財政運営検討委員会で継続的に検討）

Change.Challenge.Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 審査支払会計 事務費勘定【収入支出予算と決算内訳】

## 収入

単位：億円

予算 722.5      +82.3      決算 804.8

### 事務費収入

【予算件数】 1,170百万件  
 ※うちインフルエンザ35百万件  
 花粉症201百万件

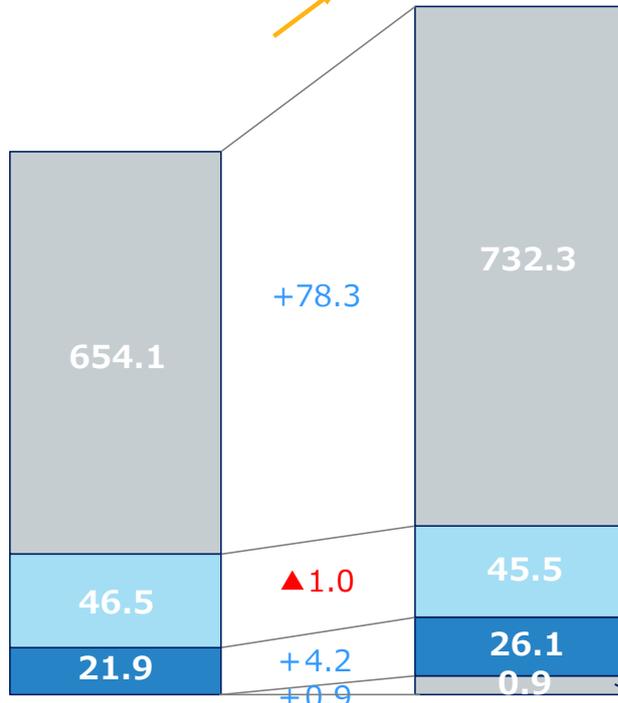
<内訳>  
 医療保険 940百万件  
 公費分 230百万件

### 受入金

別途積立預金 41.8  
 (内訳) 財政安定化預金の設置 28.0  
          保険者への計画的還元 13.8  
 IT化推進経費積立預金 0.9  
 施設及び設備準備積立預金 3.8

### 雑収入

レセプト電子データ提供料 7.0  
 電子証明書発行手数料 3.4  
 受付システム利用許諾料 9.3  
 その他 2.1



【確定件数】 1,321百万件 【+151百万件12.9%増】  
 ※うちインフルエンザ 76百万件  
 花粉症246百万件

<内訳>  
 医療保険 1,046百万件 【+107百万件11.3%増】  
 公費分 275百万件 【+44百万件19.2%増】

別途積立預金 41.8  
 IT化推進経費積立預金 0.9  
 施設及び設備準備積立預金 2.8 (▲1.0)  
 利子収入 4.0 (+4.0)  
 レセプト電子データ提供料 7.7 (+0.7)  
 電子証明書発行手数料 2.7 (▲0.7)  
 受付システム利用許諾料 9.3  
 その他 2.3 (+0.2)

前事業年度繰越金 0.9 (+0.9)  
 ※ 分析評価システムのデータ構築、移行経費 (令和5年度から継続実施)

※ 端数整理(四捨五入)の関係から、合計額が不一致となる場合がある (以下、全勘定において同じ)

Change.Challenge.Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 審査支払会計 事務費勘定【収入支出予算と決算内訳】

## 支出

単位：億円

予算 722.5      ▲12.7      決算 709.7

### 給与諸費

311.3

▲6.3

305.0

### 業務経費

202.1

▲0.1

202.0

### 退職給付引当預金への繰入

40.3

40.3

### 審査委員会費

114.8

▲1.9

113.0

### 財政安定化預金、IT化推進経費積立預金、施設及び設備準備積立預金への繰入

46.1

46.1

### 施設費、役員会費、予備費

7.7

▲4.4

3.3

職員欠員 (▲60人) 及び育休時短勤務による減 :▲6.5  
 超過勤務手当の減 :▲4.1  
 (1人当り93時間→56時間 ▲37時間)  
 人事院勧告に伴う増 :+7.7  
 (期末手当+0.1か月、月例給+2.06%)  
 諸手当 (住居手当等) の減 :▲3.3

事務費収入増加等に伴う納付消費税額の増 :+8.7  
 紙レセプト減少による委託経費の減 :▲2.9  
 経常経費の減 (旅費、水道光熱費等の減) :▲4.4  
 システム関連経費の減 :▲1.6  
 (診療報酬改定対応経費の減等▲1.5)  
 (手数料階層化に伴うシステム改修経費 (要件定義) の増+0.5)  
 (帳票電子化に伴う業務用プリンタ保守経費等の減▲1.5)  
 (分析評価システムデータ構築・移行費用の5年度からの繰越し+0.9)

審査調整役 (常勤) の欠員 (157人→154人) :▲0.6  
 審査委員 (非常勤) 諸手当等の減 :▲1.2

役員会費 :▲0.1  
 施設費 :▲1.0  
 予備費不使用 :▲3.4

※ 端数整理(四捨五入)の関係から、合計額が不一致となる場合がある (以下、全勘定において同じ)

Change.Challenge.Chance 社会保険診療報酬支払基金

指定公費負担医療費の審査支払（補助金事業）

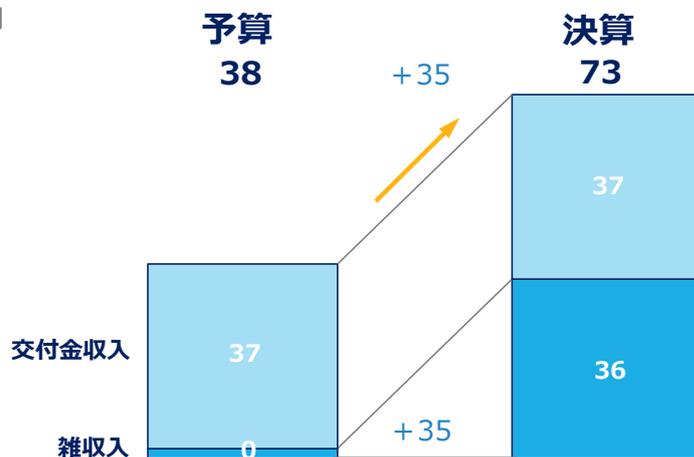
決算の概況

- 70歳代前半の一部負担金軽減特例措置として、補助金により指定公費負担医療費（一部負担金の1割相当額）を医療機関へ支払う事業
- 一部負担金軽減特例措置は、平成30年度末で制度が終了しており、以降、再審査調整を行う残務処理を継続  
※ 医療機関からの月遅れ請求は発生しない（請求権の短期消滅時効3年（旧民法適用）により令和4年3月31日まで）
- 令和6年度は、補助金37万円の交付を受け、47件の再審査調整▲36万円を実施し、これに伴う事務処理経費15万円を支出
- 事務処理経費を控除した補助金残額23万円に、医療費返還額（再審査調整額）36万円を加えた58万円を国庫に返還
- ※ 令和6年度予算で高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金が終了したことに伴い、令和6年度分国庫返還処理が完了する令和7年度をもって勘定を廃止

審査支払会計 高齢者医療制度円滑導入勘定【収入支出予算と決算内訳】

単位：万円

収入



○ 収支剰余58万円  
(収入73万円－支出15万円)

○ 交付金収入は、指定公費医療費及び事務処理経費の支払いに充てるため37万円を収納

○ 指定公費負担医療費返還金は再審査調整額36万円を返還

支出



○ 事務処理経費は、人件費（超勤手当）及びシステム経費15万円を支出

保健医療情報会計情報基盤運用勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 自 令和 5年4月 1日 至 令和 6年3月31日		② 令和6事業年度 自 令和 6年4月 1日 至 令和 7年3月31日		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
〔経常損益の部〕							<b>【事業概要】</b> 平成29年7月18日より、医療保険者等向け中間サーバー等について、社会保障・税番号制度における情報提供ネットワークを通じた情報照会・提供及び本人確認に関する事務、令和3年3月より、オンライン資格確認等システムのプレ運用及び特定健診情報閲覧を開始した。 また、令和3年10月からオンライン資格確認等システムの本格運用、レセプト振替機能及び医療費・薬剤情報閲覧を開始した以降、オンライン資格確認の利用場面の拡大に向けた機能拡充について、順次、運用を開始した。 ・令和4年度 診療情報管理機能 ・令和6年度 生活保護の医療扶助・訪問診療・柔整あはきの施術所等でオンライン資格確認開始、事業者健診情報の提供開始	
(業務損益の部)								
I 業務収益								
負担金収入	1,671,488	1,671,488	2,222,501	2,222,501	551,012	551,012		〔経常損益の部〕
II 業務費用								(業務損益の部)
1 給与手当	195,590		202,261		6,670			I 業務収益
2 賞与	39,613		37,706		▲ 1,907			負担金収入
3 賞与引当金繰入額	20,334		23,454		3,120			生保実施機関のオンライン資格確認導入及び運営負担金単価引き上げによる増 (医療保険者等向け中間サーバー等を通じた情報連携及びオンライン資格確認業務に係る運用・保守等の費用に対し、協会けんぽ、健康保険組合、共済組合等及び生保実施機関から支払われる運営負担金収入)
4 退職給付費用	17,832		19,446		1,613			
5 法定福利費	39,217		41,771		2,553			
6 保守料	1,418,938		1,955,746		536,808			
7 委託費	230,409		205,554		▲ 24,854			
8 修繕費	255,530		245,511		▲ 10,018			
9 共同運営調整金支出	110,292		113,781		3,489			
10 その他の業務費用	64,005	2,391,763	88,382	2,933,614	24,376	541,851		
業務損失		720,274		711,113		9,161		
(業務外損益の部)								II 業務費用
業務外収益								1 給与手当
1 受取利息	34		1,967		1,932			3 賞与引当金繰入額
2 雑収入	3	38	0	1,967	▲ 3	1,928		5 法定福利費
経常損失		720,236		709,146	▲ 11,090			2 賞与
当期純損失		720,236		709,146	▲ 11,090		6 保守料	
当期未処理損失		720,236		709,146	▲ 11,090		7 委託費	
							8 修繕費	
							9 共同運営調整金支出	
							10 その他の業務費用	

項目	種別	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
協会けんぽ	中間	3.1億円	3.5億円	0.4億円
	オン資	5.5億円	6.8億円	1.4億円
健保組合	中間	2.2億円	2.5億円	0.3億円
	オン資	3.8億円	4.9億円	1.0億円
共済組合等	中間	0.9億円	1.2億円	0.3億円
	オン資	1.2億円	1.7億円	0.5億円
生保実施機関	中間	-	0.4億円	0.4億円
	オン資	-	1.2億円	1.2億円
小計(中間)		6.2億円	7.6億円	1.4億円
小計(オン資)		10.5億円	14.6億円	4.1億円
合計		16.7億円	22.2億円	5.5億円

運営負担金単価				
項目	種別	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
協会けんぽ	中間	0.71円	0.82円	0.11円
	オン資	1.24円	1.58円	0.34円
健保組合	中間	0.71円	0.82円	0.11円
	オン資	1.24円	1.58円	0.34円
共済組合等	中間	0.96円	1.12円	0.16円
	オン資	1.24円	1.58円	0.34円
生保実施機関	中間	-	1.64円	1.64円
	オン資	-	5.49円	5.49円

0.1億円の増  
職員の増及び人事院勧告の影響による増  
(令和5年度：26人 → 令和6年度：28人)

支給人数及び単価差による減  
(令和5年度：26人(@1,523千円) → 令和6年度：25人(@1,508千円) )

オンライン資格確認導入の増加に伴うクラウド利用料の増

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
オンライン資格確認等システム関係	7.2億円	11.2億円	4.0億円
中間サーバー関係	6.9億円	8.3億円	1.4億円
事務機器保守等	0.0億円	0.0億円	▲0.0億円
合計	14.2億円	19.6億円	5.4億円

非現業システムのパッケージソフト使用への変更による減等

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
オンライン資格確認等システム関係	1.1億円	0.9億円	▲0.2億円
中間サーバー関係	1.1億円	1.1億円	▲0.0億円
業務システム運用等	0.1億円	0.0億円	▲0.1億円
合計	2.3億円	2.1億円	▲0.2億円

システム改修経費の減

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
オンライン資格確認等システム関係	0.8億円	1.2億円	0.4億円
中間サーバー関係	1.8億円	1.3億円	▲0.5億円
合計	2.6億円	2.5億円	▲0.1億円

共同運営を実施するにあたり国保中央会の収入が減となったことに伴う共同運営調整金支出の増  
(医療保険情報提供等実施機関(支払基金・国保中央会)が一体的に共同運営を行うために必要な資金の調整額)

文書管理システム等のパッケージソフト使用への変更による使用料及び賃借料の増等

(注) 当期未処理損失の709,146千円は、社会保険診療報酬支払基金定款第39条第2項の規定により積立金から取り崩すこととする。

保健医療情報会計情報基盤運用勘定 貸借対照表

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部				令和6事業年度 主要説明事項																												
区 分	① 令和5事業年度 (令和 6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和 7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和 6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和 7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)																													
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部)																												
I 流動資産				I 流動負債				I 流動資産																												
1 現金及び預金	3,152,157	1,268,517	▲ 1,883,640	1 未払金	603,415	1,176,846	573,431	1 現金及び預金																												
2 未収負担金	102,247	130,259	28,012	2 賞与引当金	20,334	23,454	3,120	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>差引増減(▲)額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>システム機器更新等経費積立預金</td> <td>18.2億円</td> <td>-</td> <td>▲18.2億円</td> </tr> <tr> <td>別途積立預金</td> <td>4.0億円</td> <td>-</td> <td>▲4.0億円</td> </tr> <tr> <td>未払資金等</td> <td>4.8億円</td> <td>10.3億円</td> <td>5.6億円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当預金</td> <td>0.5億円</td> <td>-</td> <td>▲0.5億円</td> </tr> <tr> <td>剰余金</td> <td>4.1億円</td> <td>2.4億円</td> <td>▲1.7億円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31.5億円</td> <td>12.7億円</td> <td>▲18.8億円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額	システム機器更新等経費積立預金	18.2億円	-	▲18.2億円	別途積立預金	4.0億円	-	▲4.0億円	未払資金等	4.8億円	10.3億円	5.6億円	退職給付引当預金	0.5億円	-	▲0.5億円	剰余金	4.1億円	2.4億円	▲1.7億円	合計	31.5億円	12.7億円	▲18.8億円
項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額																																	
システム機器更新等経費積立預金	18.2億円	-	▲18.2億円																																	
別途積立預金	4.0億円	-	▲4.0億円																																	
未払資金等	4.8億円	10.3億円	5.6億円																																	
退職給付引当預金	0.5億円	-	▲0.5億円																																	
剰余金	4.1億円	2.4億円	▲1.7億円																																	
合計	31.5億円	12.7億円	▲18.8億円																																	
3 その他の流動資産	25,304	14,730	▲ 10,573	3 その他の流動負債	5,143	5,402	259	※目的積立預金については、R6より「I 流動資産」の「1 現金及び預金」から「II 固定資産」の「3 投資その他の資産」に計上																												
流動資産合計	3,279,709	1,413,508	▲ 1,866,201	流動負債合計	628,892	1,205,702	576,810	2 未収負担金 令和7年3月分の運営負担金（単価引上げによる増）																												
II 固定資産				II 固定負債				3 その他の流動資産 還付消費税の減																												
1 有形固定資産				退職給付引当金	96,528	113,383	16,854	II 固定資産																												
(1)建物附属設備	3,196	3,196	-	固定負債合計	96,528	113,383	16,854	1 有形固定資産																												
減価償却累計額	▲ 554	▲ 759	▲ 204	負債合計	725,421	1,319,085	593,664	(2) 工具器具備品 運用管理端末、本人確認端末等の保守期限による更改に伴う増																												
	2,641	2,437	▲ 204	(資本の部)				2 無形固定資産																												
(2)工具器具備品	429	13,748	13,319	利益剰余金				ソフトウェア 減価償却に伴う減																												
減価償却累計額	▲ 149	▲ 1,712	▲ 1,562	1 任意積立金				(負債の部)																												
	279	12,036	11,757	別途積立金	3,326,337	2,606,100	▲ 720,236	I 流動負債																												
有形固定資産合計	2,921	14,473	11,552	2 当期末処理損失	720,236	709,146	11,090	1 未払金																												
2 無形固定資産				利益剰余金合計	2,606,100	1,896,954	▲ 709,146	クラウド利用料及び運用保守費用等未払債務の増																												
ソフトウェア	28,315	20,830	▲ 7,484	資本合計	2,606,100	1,896,954	▲ 709,146	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>差引増減(▲)額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オンライン資格確認等システム関係</td> <td>0.2億円</td> <td>1.9億円</td> <td>1.7億円</td> </tr> <tr> <td>中間サーバー関係</td> <td>5.8億円</td> <td>9.8億円</td> <td>4.0億円</td> </tr> <tr> <td>超過勤務手当、その他の業務経費等</td> <td>0.1億円</td> <td>0.2億円</td> <td>0.1億円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6.0億円</td> <td>11.8億円</td> <td>5.7億円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額	オンライン資格確認等システム関係	0.2億円	1.9億円	1.7億円	中間サーバー関係	5.8億円	9.8億円	4.0億円	超過勤務手当、その他の業務経費等	0.1億円	0.2億円	0.1億円	合計	6.0億円	11.8億円	5.7億円								
項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額																																	
オンライン資格確認等システム関係	0.2億円	1.9億円	1.7億円																																	
中間サーバー関係	5.8億円	9.8億円	4.0億円																																	
超過勤務手当、その他の業務経費等	0.1億円	0.2億円	0.1億円																																	
合計	6.0億円	11.8億円	5.7億円																																	
無形固定資産合計	28,315	20,830	▲ 7,484																																	
3 投資その他の資産																																				
(1)退職給付引当資産	-	55,594	55,594																																	
(2)別途積立資産	-	406,971	406,971																																	
(3)システム機器更新経費積立資産	-	1,284,273	1,284,273																																	
(4)前払年金費用	7,921	7,734	▲ 187																																	
(5)敷金・保証金	12,654	12,654	-																																	
投資その他の資産合計	20,575	1,767,227	1,746,651																																	
固定資産合計	51,812	1,802,531	1,750,719																																	
資産合計	3,331,522	3,216,040	▲ 115,481	負債・資本合計	3,331,522	3,216,040	▲ 115,481																													

保健医療情報会計情報基盤整備勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和 5年4月 1日 至 令和 6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和 6年4月 1日 至 令和 7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
〔経常損益の部〕							<b>【事業概要】</b> ○令和5年度 ・資格確認機能の拡充 ・中間サーバー加入者情報の正確性の確保 ・資格確認書の切れ目ない交付に向けた対応 ・保健医療情報提供の充実 ・診療報酬改定DX対応 ・電子カルテ情報交換サービス ・新G-Netへの移行に伴う中間サーバー改修 ・公費・地単等のオンライン資格確認の先行実施 ○令和6年度 ・多様な場面でのオンライン資格確認の導入等 ・健康保険証の新規発行終了後に向けた取組 ・共通算定モジュールの開発 ・電子カルテ情報共有サービス ・公費負担・地方単独医療費助成事業等に係る情報連携 ・保健医療情報提供の充実 ・公費・地単等のオンライン資格確認の先行実施 ・救急搬送中における医療情報閲覧機能の構築
(業務損益の部)							
I 業務収益							
1 社会保障・税番号制度システム整備費補助金収入	10,304,202		11,756,783		1,452,581		
2 地域診療情報連携推進費補助金収入	2,679,545		5,532,667		2,853,122		
3 予防接種対策費補助金収入	—		118,998		118,998		
4 高齢者医療制度円滑運営事業費補助金収入	797,315		6,630,000		5,832,685		
5 介護保険事業費補助金収入	—		350,000		350,000		
6 その他の業務収益	235,966	14,017,028	481,490	24,869,938	245,524	10,852,910	
II 業務費用							
1 給与手当	216,621		278,126		61,504		
2 賞与	23,756		40,749		16,992		
3 賞与引当金繰入額	20,451		27,969		7,518		
4 退職給付費用	19,873		26,958		7,085		
5 法定福利費	36,084		48,397		12,313		
6 委託費	1,739,127		1,998,976		259,849		
7 修繕費	1,154,836		1,846,550		691,713		
8 租税公課	866,594		1,584,078		717,484		
9 減価償却費	2,686,183		3,923,772		1,237,588		
10 補助金精算返納金	3,924,459		6,565,657		2,641,197		
11 その他の業務費用	256,185	10,944,174	413,941	16,755,178	157,755	5,811,003	
業務利益		3,072,853		8,114,760		5,041,906	
(業務外損益の部)							
業務外収益							
受取利息	0	0	28	28	28	28	
経常利益		3,072,854		8,114,789		5,041,934	
(特別損益の部)							
特別損失							
固定資産除却損	—	—	67,721	67,721	67,721	67,721	
当期純利益		3,072,854		8,047,067		4,974,212	
当期末処分利益		3,072,854		8,047,067		4,974,212	

【業務外収益】

10 補助金精算返納金 国庫へ返還する補助金剰余額の増

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
社会保障・税番号制度システム整備費補助金	26.6億円	35.7億円	9.1億円
地域診療情報連携推進費補助金	10.0億円	1.1億円	▲8.9億円
予防接種対策費補助金	0.1億円	0.3億円	0.2億円
高齢者医療制度円滑運営事業費補助金	2.5億円	27.9億円	25.4億円
介護保険事業費補助金	—	0.7億円	0.7億円
合計	39.2億円	65.7億円	26.4億円

11 その他の業務費用 オンライン資格確認等ネットワーク更改に伴うデータセンター並行稼働による保守料の増等

(注) 当期末処分利益8,047,067千円は、社会保障診療報酬支払基金定款第39条第1項の規定により積立金として積み立てることとする。

保健医療情報会計情報基盤整備勘定 貸借対照表

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部				令和6事業年度 主要説明事項																
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)																	
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>差引増減(▲)額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未払資金等</td> <td>115.1億円</td> <td>208.4億円</td> <td>93.3億円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当預金</td> <td>0.5億円</td> <td>-</td> <td>▲0.5億円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>115.6億円</td> <td>208.4億円</td> <td>92.8億円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※目的積立預金については、R6より「I 流動資産」の「1 現金及び預金」から「II 固定資産」の「3 投資その他の資産」に計上</p>	項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額	未払資金等	115.1億円	208.4億円	93.3億円	退職給付引当預金	0.5億円	-	▲0.5億円	合計	115.6億円	208.4億円	92.8億円
項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額																					
未払資金等	115.1億円	208.4億円	93.3億円																					
退職給付引当預金	0.5億円	-	▲0.5億円																					
合計	115.6億円	208.4億円	92.8億円																					
I 流動資産				I 流動負債																				
1 現金及び預金	11,556,879	20,839,459	9,282,580	1 未払金	11,715,482	21,362,371	9,646,889																	
2 その他の流動資産	212,743	529,639	316,895	2 未払消費税等	153	3,128	2,974																	
流動資産合計	11,769,623	21,369,099	9,599,476	3 賞与引当金	20,451	27,969	7,518																	
II 固定資産				4 その他の流動負債	6,192	7,766	1,574																	
1 有形固定資産				流動負債合計	11,742,279	21,401,235	9,658,956																	
(1) 工具器具備品	779,010	1,436,012	657,002	II 固定負債																				
減価償却累計額	▲ 472,463	▲ 458,243	14,220	退職給付引当金	58,178	82,584	24,405																	
	306,546	977,769	671,222	固定負債合計	58,178	82,584	24,405																	
(2) 建設仮勘定	-	710,975	710,975	負債合計	11,800,458	21,483,820	9,683,362																	
有形固定資産合計	306,546	1,688,744	1,382,197	(資本の部)																				
2 無形固定資産				利益剰余金																				
(1) ソフトウェア	12,321,225	17,961,149	5,639,924	1 任意積立金																				
(2) ソフトウェア仮勘定	1,691,005	2,731,437	1,040,432	別途積立金	11,217,894	14,290,749	3,072,854																	
無形固定資産合計	14,012,231	20,692,587	6,680,356	2 当期末処分利益	3,072,854	8,047,067	4,974,212																	
3 投資その他の資産				利益剰余金合計	14,290,749	22,337,816	8,047,067																	
(1) 退職給付引当資産	-	68,463	68,463	資本合計	14,290,749	22,337,816	8,047,067																	
(2) 前払年金費用	2,806	2,742	▲ 64																					
投資その他の資産合計	2,806	71,205	68,399																					
固定資産合計	14,321,583	22,452,537	8,130,953																					
資産合計	26,091,207	43,821,636	17,730,429	負債・資本合計	26,091,207	43,821,636	17,730,429																	

I 流動資産

1 現金及び預金

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
未払資金等	115.1億円	208.4億円	93.3億円
退職給付引当預金	0.5億円	-	▲0.5億円
合計	115.6億円	208.4億円	92.8億円

※目的積立預金については、R6より「I 流動資産」の「1 現金及び預金」から「II 固定資産」の「3 投資その他の資産」に計上

2 その他の流動資産

デジタル庁及び消防庁からの委託費の未収分

II 固定資産

1 有形固定資産

(1) 工具器具備品

オンライン資格確認等ネットワーク更改の増

(2) 建設仮勘定

年度を超える情報提供サーバー、インターフェースシステム及びネットワーク機器更改

2 無形固定資産

(1) ソフトウェア

オンライン資格確認等システムの増等

(2) ソフトウェア仮勘定

電子カルテ情報共有サービス等に係る開発中のソフトウェアの増

(負債の部)

I 流動負債

1 未払金

共通算定モジュールの開発に係る未払債務の増

保健医療情報会計情報分析活用勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
〔 経 常 損 益 の 部 〕							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>【事業概要】</b>                      令和6年度は厚生労働省からの委託により、以下の業務を実施                      ・NDB関連業務                      NDBデータの情報分析・提供等の支援及びNDBの利活用を促進するためのシステム改修                      ・健康スコアリングレポートの作成                      保険者・事業主単位に令和5年度実績に基づく健康スコアリングレポートを作成                      ・データヘルス・ポータルサイトの運用及び改修                      データヘルス計画・実績報告の収集、健康スコアリングレポート提供のためにデータヘルス・ポータルサイトを運用等                 </div> 〔 経 常 損 益 の 部 〕 ( 業 務 損 益 の 部 ) I 業 務 収 益 1 医 療 費 適 正 化 対 策 推 進 関 連 事 業 収 入 NDB関連業務の業務量増加に伴う厚生労働省からの委託費収入の増 2 保 険 者 等 委 託 費 収 入 健康スコアリングレポート改修に係る保険者等からの業務委託の減 3 補 助 金 収 入 健康スコアリング及びデータヘルスポータルサイトの改修に係る補助金収入の増 II 業 務 費 用 3 賞 与 引 当 金 繰 入 額 令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月までの費用 6 保 守 料 NDB抽出件数の増加、HIC提供開始及び為替変動の影響に伴うレセプト情報・特定健診等情報データベース分析システム運用保守料の増 7 委 託 費 匿名レセプト情報等の提供件数の増加に伴う支援業務費用の増 8 修 繕 費 NDBデータ第三者提供の申請ワークフロー等機能の構築等の増 10 そ の 他 の 業 務 費 用 ソフトウェアの増による減価償却費の増等
( 業 務 損 益 の 部 )							
I 業 務 収 益							
1 医 療 費 適 正 化 対 策 推 進 関 連 事 業 収 入	2,034,039		4,178,920		2,144,880		
2 保 険 者 等 委 託 費 収 入	6,151		4,941		▲ 1,210		
3 補 助 金 収 入	50,000	2,090,190	120,000	4,303,861	70,000	2,213,670	
II 業 務 費 用							
1 給 与 手 当	61,381		66,256		4,875		
2 賞 与	13,269		13,752		482		
3 賞 与 引 当 金 繰 入 額	7,198		7,225		27		
4 退 職 給 付 費 用	5,621		6,176		555		
5 法 定 福 利 費	12,148		12,939		790		
6 保 守 料	946,487		1,273,733		327,245		
7 委 託 費	206,729		331,457		124,727		
8 修 繕 費	91,246		1,231,486		1,140,239		
9 補 助 金 事 業 経 費	14,410		109,090		94,680		
10 そ の 他 の 業 務 費 用	19,643	1,378,136	53,092	3,105,210	33,449	1,727,074	
業 務 利 益		712,054		1,198,650		486,595	
( 業 務 外 損 益 の 部 )							
業 務 外 収 益							
受 取 利 息	0	0	168	168	168	168	
経 常 利 益		712,054		1,198,819		486,764	
当 期 純 利 益		712,054		1,198,819		486,764	
当 期 未 処 分 利 益		712,054		1,198,819		486,764	

(注) 当期末処分利益1,198,819千円は、社会保険診療報酬支払基金定款第39条第1項の規定により積立金として積み立てることとする。

保健医療情報会計情報分析活用勘定 貸借対照表

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部				令和6事業年度 主要説明事項
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	
I 流動資産				I 流動負債				
1 現金及び預金	1,047,533	1,834,300	786,767	1 未払金	1,654,556	2,769,522	1,114,966	
2 未収入金	1,065,805	2,550,215	1,484,410	2 未払消費税等	48,025	164,343	116,317	
流動資産合計	2,113,339	4,384,516	2,271,177	3 賞与引当金	7,198	7,225	27	
				4 その他の流動負債	1,630	1,723	92	
II 固定資産				流動負債合計	1,711,410	2,942,813	1,231,403	
1 有形固定資産				II 固定負債				
(1) 建物付属設備	1,862	1,862	—	退職給付引当金	9,901	15,574	5,672	
減価償却累計額	▲119	▲230	▲110	固定負債合計	9,901	15,574	5,672	
	1,742	1,632	▲110	負債合計	1,721,312	2,958,388	1,237,075	
(2) 工具器具備品	4,096	4,096	—	(資本の部)				
減価償却累計額	▲810	▲1,559	▲748	利益剰余金				
	3,285	2,537	▲748	1 任意積立金				
有形固定資産合計	5,028	4,169	▲859	別途積立金	41,772	753,827	712,054	
2 無形固定資産				2 当期末処分利益	712,054	1,198,819	486,764	
(1) ソフトウェア	57,800	150,081	92,280	利益剰余金合計	753,827	1,952,646	1,198,819	
(2) ソフトウェア仮勘定	298,971	—	▲298,971	資本合計	753,827	1,952,646	1,198,819	
無形固定資産合計	356,771	150,081	▲206,690					
3 投資その他の資産								
(1) 退職給付引当資産	—	14,066	14,066					
(2) 別途積立資産	—	358,200	358,200					
投資その他の資産合計	—	372,267	372,267					
固定資産合計	361,800	526,517	164,717					
資産合計	2,475,139	4,911,034	2,435,894	負債・資本合計	2,475,139	4,911,034	2,435,894	

項目	R5年度	R6年度	差引増減(▲)額
未払資金等	6.4億円	3.8億円	▲2.6億円
別途積立預金	0.4億円	—	▲0.4億円
退職給付引当預金	0.1億円	—	▲0.1億円
剰余金	3.6億円	14.5億円	10.9億円
合計	10.5億円	18.3億円	7.9億円

※目的積立預金については、R6より「I 流動資産」の「1 現金及び預金」から「II 固定資産」の「3 投資その他の資産」に計上

1 現金及び預金	厚生労働省及び保険者からの委託費収入の未収分
2 未収入金	同上
II 固定資産	
2 無形固定資産	
(1) ソフトウェア	特定健診等データ収集システム改修の増
(2) ソフトウェア仮勘定	システム改修完了による減
(負債の部)	
I 流動負債	
1 未払金	年度内に確定したシステム改修経費等の増
2 未払消費税等	収入増に伴う納付消費税額の増
3 賞与引当金	令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月に発生する支払債務
4 その他の流動負債	賞与引当金に計上した令和7年6月期末・勤勉手当支払債務の法定福利費に係る未払費用等
II 固定負債	
退職給付引当金	令和7年3月末日における退職給付債務見込額

# 保健医療情報会計 情報基盤運用勘定【損益計算書】

単位：億円

区分	令和5事業年度	令和6事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
<b>I 業務収益</b>	<b>16.7</b>	<b>22.2</b>	<b>5.5</b>
負担金収入	16.7	22.2	5.5
<b>II 業務費用</b>	<b>23.9</b>	<b>29.3</b>	<b>5.4</b>
1 給与費関係	2.6	2.6	0.1
2 退職給付費用	0.2	0.2	0.0
3 法定福利費	0.4	0.4	0.0
4 保守料	14.2	19.6	5.4
5 委託費	2.3	2.1	▲0.2
6 修繕費	2.6	2.5	▲0.1
7 共同運営調整金支出	1.1	1.1	0.0
8 その他の業務費用	0.6	0.9	0.2
<b>業務損失</b>	<b>7.2</b>	<b>7.1</b>	<b>▲0.1</b>
<b>業務外損益</b>			
業務外収益	0.0	0.0	0.0
<b>経常損失</b>	<b>7.2</b>	<b>7.1</b>	<b>▲0.1</b>
<b>当期純損失</b>	<b>7.2</b>	<b>7.1</b>	<b>▲0.1</b>
<b>当期未処理損失</b>	<b>7.2</b>	<b>7.1</b>	<b>▲0.1</b>

・オンライン資格確認導入の増加に伴うクラウド利用料の増等により業務費用が5.4億円増加  
 ・システム機器更新積立預金(5.4億円)及び令和4年度剰余金(4.0億円)の受入による運営負担金の単価抑制により、負担金収入が業務費用を下回るため、当期純損失は7.1億円

# 保健医療情報会計 情報基盤運用勘定【貸借対照表】

単位：億円

## 資産の部

## 負債の部

区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額	区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動資産</b>	<b>32.8</b>	<b>14.1</b>	<b>▲18.7</b>	<b>I 流動負債</b>	<b>6.3</b>	<b>12.1</b>	<b>5.8</b>
1 現金及び預金	31.5	12.7	▲18.8	1 未払金	6.0	11.8	5.7
2 未収負担金	1.0	1.3	0.3	2 賞与引当金	0.2	0.2	0.0
3 その他の流動資産	0.3	0.1	▲0.1	3 その他の流動負債	0.1	0.1	0.0
<b>II 固定資産</b>	<b>0.5</b>	<b>18.0</b>	<b>17.5</b>	<b>II 固定負債</b>	<b>1.0</b>	<b>1.1</b>	<b>0.2</b>
1 有形固定資産	0.0	0.1	0.1	退職給付引当金	1.0	1.1	0.2
2 無形固定資産	0.3	0.2	▲0.1				
3 投資その他の資産	0.2	17.7	17.5	<b>負債合計</b>	<b>7.3</b>	<b>13.2</b>	<b>5.9</b>
(1) 退職給付引当資産	-	0.6	0.6				
(2) 別途積立資産	-	4.1	4.1				
(3) システム機器更新経費積立資産	-	12.8	12.8				
(4) 前払年金費用	0.1	0.1	▲0.0				
(5) 敷金・保証金	0.1	0.1	-				
<b>資産合計</b>	<b>33.3</b>	<b>32.2</b>	<b>▲1.2</b>				
				<b>資本の部</b>			
				区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
				利益剰余金	26.1	19.0	▲7.1
				<b>資本合計</b>	<b>26.1</b>	<b>19.0</b>	<b>▲7.1</b>
				<b>負債・資本合計</b>	<b>33.3</b>	<b>32.2</b>	<b>▲1.2</b>

・令和6年度より積立預金を I 流動資産の「1 現金及び預金」から II 固定資産の「3 投資その他の資産」に分類計上したことに伴い、現預金(▲19億円)が減少し、投資その他の資産(18億円)が増加

# 保健医療情報会計 情報基盤整備勘定【損益計算書】

単位：億円

区分	令和5事業年度	令和6事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
<b>I 業務収益</b>	<b>140.2</b>	<b>248.7</b>	<b>108.5</b>
1 社会保障・税番号制度システム整備費補助金収入	103.0	117.6	14.5
2 地域診療情報連携推進費補助金収入	26.8	55.3	28.5
3 予防接種対策費補助金収入	-	1.2	1.2
4 高齢者医療制度円滑運営事業費補助金収入	8.0	66.3	58.3
5 介護保険事業費補助金収入	-	3.5	3.5
6 その他の業務収益	2.4	4.8	2.5
<b>II 業務費用</b>	<b>109.4</b>	<b>167.6</b>	<b>58.1</b>
1 給与費関係	2.6	3.5	0.9
2 退職給付費用	0.2	0.3	0.1
3 法定福利費	0.4	0.5	0.1
4 委託費	17.4	20.0	2.6
5 修繕費	11.5	18.5	6.9
6 租税公課	8.7	15.8	7.2
7 減価償却費	26.9	39.2	12.4
8 補助金精算返納金	39.2	65.7	26.4
9 その他の業務費用	2.6	4.1	1.6
<b>業務利益</b>	<b>30.7</b>	<b>81.1</b>	<b>50.4</b>
<b>業務外損益</b>			
業務外収益	0.0	0.0	0.0
<b>経常利益</b>	<b>30.7</b>	<b>81.1</b>	<b>50.4</b>
<b>特別損益</b>			
特別損失	-	0.7	0.7
<b>当期純利益</b>	<b>30.7</b>	<b>80.5</b>	<b>49.7</b>
<b>当期末処分利益</b>	<b>30.7</b>	<b>80.5</b>	<b>49.7</b>

- ・電子カルテ情報共有サービスに係るシステム開発及びオンライン資格確認ネットワーク機器更改等の資産計上により、当期純利益81億円を計上
- ・当期純利益は、翌年度以降の減価償却費として費用処理していく仕組み

Change.Challenge.Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 保健医療情報会計 情報基盤整備勘定【貸借対照表】

単位：億円

資産の部				負債の部			
区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額	区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動資産</b>	<b>117.7</b>	<b>213.7</b>	<b>96.0</b>	<b>I 流動負債</b>	<b>117.4</b>	<b>214.0</b>	<b>96.6</b>
1 <u>現金及び預金</u>	115.6	208.4	<u>92.8</u>	1 <u>未払金</u>	117.2	213.6	<u>96.5</u>
2 その他の流動資産	2.1	5.3	3.2	2 未払消費税等	0.0	0.0	0.0
<b>II 固定資産</b>	<b>143.2</b>	<b>224.5</b>	<b>81.3</b>	3 賞与引当金	0.2	0.3	0.1
1 有形固定資産	3.1	16.9	13.8	4 その他の流動負債	0.1	0.1	0.0
2 <u>無形固定資産</u>	140.1	206.9	<u>66.8</u>	<b>II 固定負債</b>	<b>0.6</b>	<b>0.8</b>	<b>0.2</b>
3 投資その他の資産	0.0	0.7	0.7	退職給付引当金	0.6	0.8	0.2
(1) 退職給付引当資産	-	0.7	0.7	<b>負債合計</b>	<b>118.0</b>	<b>214.8</b>	<b>96.8</b>
(2) 前払年金費用	0.0	0.0	▲0.0				
<b>資産合計</b>	<b>260.9</b>	<b>438.2</b>	<b>177.3</b>	<b>資本の部</b>			
				区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
				利益剰余金	142.9	223.4	80.5
				<b>資本合計</b>	<b>142.9</b>	<b>223.4</b>	<b>80.5</b>
				<b>負債・資本合計</b>	<b>260.9</b>	<b>438.2</b>	<b>177.3</b>

電子カルテ情報共有サービスに係るシステム開発及びオンライン資格確認ネットワーク機器更改等に係る現預金（未払資金）及び未払金が増加、当該システム開発等に伴うソフトウェア（仮勘定含む）計上により無形固定資産が増加

Change.Challenge.Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 保健医療情報会計 情報分析活用勘定【損益計算書】

単位：億円

区分	令和5事業年度	令和6事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
<b>I 業務収益</b>	<b>20.9</b>	<b>43.0</b>	<b>22.1</b>
1 医療費適正化対策推進関連事業収入 (委託費収入)	20.3	41.8	21.4
2 保険者等委託費収入	0.1	0.0	▲0.0
3 補助金収入	0.5	1.2	0.7
<b>II 業務費用</b>	<b>13.8</b>	<b>31.1</b>	<b>17.3</b>
1 給与費関係	0.8	0.9	0.1
2 退職給付費用	0.1	0.1	0.0
3 法定福利費	0.1	0.1	0.0
4 保守料	9.5	12.7	3.3
5 委託費	2.1	3.3	1.2
6 修繕費	0.9	12.3	11.4
7 補助金事業経費	0.1	1.1	0.9
8 その他の業務費用	0.2	0.5	0.3
<b>業務利益</b>	<b>7.1</b>	<b>12.0</b>	<b>4.9</b>
<b>業務外損益</b>			
業務外収益	0.0	0.0	0.0
<b>経常利益</b>	<b>7.1</b>	<b>12.0</b>	<b>4.9</b>
<b>当期純利益</b>	<b>7.1</b>	<b>12.0</b>	<b>4.9</b>
<b>当期末処分利益</b>	<b>7.1</b>	<b>12.0</b>	<b>4.9</b>

NDB・HICシステム改修経費に係る固定資産への計上及び収支剰余金の発生による当期純利益12億円を計上

# 保健医療情報会計 情報分析活用勘定【貸借対照表】

単位：億円

資産の部				負債の部			
区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額	区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動資産</b>	<b>21.1</b>	<b>43.8</b>	<b>22.7</b>	<b>I 流動負債</b>	<b>17.1</b>	<b>29.4</b>	<b>12.3</b>
1 現金及び預金	10.5	18.3	7.9	1 <u>未払金</u>	16.5	27.7	<u>11.1</u>
2 <u>未収入金</u>	<u>10.7</u>	<u>25.5</u>	14.8	2 未払消費税等	0.5	1.6	1.2
<b>II 固定資産</b>	<b>3.6</b>	<b>5.3</b>	<b>1.6</b>	3 賞与引当金	0.1	0.1	0.0
1 有形固定資産	0.1	0.0	▲0.0	4 その他の流動 負債	0.0	0.0	0.0
2 無形固定資産	3.6	1.5	▲2.1	<b>II 固定負債</b>	<b>0.1</b>	<b>0.2</b>	<b>0.1</b>
3 投資その他の 資産	-	3.7	3.7	退職給付引当金	0.1	0.2	0.1
(1) 退職給付引当資産	-	0.1	0.1	<b>負債合計</b>	<b>17.2</b>	<b>29.6</b>	<b>12.4</b>
(2) 別途積立資金	-	3.6	3.6				
<b>資産合計</b>	<b>24.8</b>	<b>49.1</b>	<b>24.4</b>	<b>資本の部</b>			
				区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
				利益剰余金	7.5	19.5	12.0
				<b>資本合計</b>	<b>7.5</b>	<b>19.5</b>	<b>12.0</b>
				<b>負債・資本合計</b>	<b>24.8</b>	<b>49.1</b>	<b>24.4</b>

・NDB及び健康スコアリングの委託費に係る厚生労働省への請求サイクルに伴い、4月に収納する未収入金を計上  
 ・NDB運用保守経費等システムベンダへの未払金が増加

令和6事業年度 保健医療情報会計情報基盤運用勘定収入支出内訳

(収入の部)

(単位：億円)

事項科目	予算額	決算額	差引増(▲)減額	主な増減要素																																																								
(款・項) 負担金収入	24.4	24.4	0.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">【負担金収入内訳】 (単位：億円)</th> <th colspan="4">(単位：億円)</th> </tr> <tr> <th>中間サーバー</th> <th>予算</th> <th>決算</th> <th>差引増減額</th> <th>オン資</th> <th>予算</th> <th>決算</th> <th>差引増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協会けんぽ</td> <td>3.9</td> <td>3.9</td> <td>▲0.0</td> <td>協会けんぽ</td> <td>7.5</td> <td>7.5</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>健保組合</td> <td>2.8</td> <td>2.8</td> <td>0.0</td> <td>健保組合</td> <td>5.3</td> <td>5.4</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>共済組合</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> <td>▲0.0</td> <td>共済組合</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> <td>▲0.0</td> </tr> <tr> <td>生保実施機関</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>▲0.0</td> <td>生保実施機関</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> <td>▲0.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8.4</td> <td>8.4</td> <td>0.0</td> <td>合計</td> <td>16.0</td> <td>16.1</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	【負担金収入内訳】 (単位：億円)				(単位：億円)				中間サーバー	予算	決算	差引増減額	オン資	予算	決算	差引増減額	協会けんぽ	3.9	3.9	▲0.0	協会けんぽ	7.5	7.5	0.0	健保組合	2.8	2.8	0.0	健保組合	5.3	5.4	0.0	共済組合	1.3	1.3	▲0.0	共済組合	1.9	1.9	▲0.0	生保実施機関	0.4	0.4	▲0.0	生保実施機関	1.3	1.3	▲0.0	合計	8.4	8.4	0.0	合計	16.0	16.1	0.0
【負担金収入内訳】 (単位：億円)					(単位：億円)																																																							
中間サーバー	予算	決算	差引増減額		オン資	予算	決算	差引増減額																																																				
協会けんぽ	3.9	3.9	▲0.0		協会けんぽ	7.5	7.5	0.0																																																				
健保組合	2.8	2.8	0.0		健保組合	5.3	5.4	0.0																																																				
共済組合	1.3	1.3	▲0.0		共済組合	1.9	1.9	▲0.0																																																				
生保実施機関	0.4	0.4	▲0.0		生保実施機関	1.3	1.3	▲0.0																																																				
合計	8.4	8.4	0.0		合計	16.0	16.1	0.0																																																				
(目) 協会けんぽ負担金収入	11.4	11.4	▲0.0																																																									
(目) 健保組合負担金収入	8.1	8.1	0.0																																																									
(目) 共済組合負担金収入	3.2	3.2	▲0.0																																																									
(目) 生活保護実施機関負担金収入	1.7	1.7	▲0.0																																																									
(款・項) 受入金	9.4	9.4	▲0.0																																																									
(目) 別途積立預金からの受入金	4.0	4.0	▲0.0																																																									
(目) システム機器更新等経費積立預金からの受入金	5.4	5.4	—																																																									
(款・項) 雑収入	0.0	0.2	0.2	【雑収入】 還付消費税等																																																								
収入合計	33.8	34.0	0.2																																																									

※ 各金額にあつては、端数処理の関係から横計・縦計が一致しない場合がある。

(支出の部)

(単位：億円)

事項科目	予算額	決算額	差引増(▲)減額	主な増減要素																																																
(款) 業務取扱費	32.5	30.5	▲2.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【給与諸費 ▲0.1億円】</th> <th colspan="2">0.1億円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 人事院勧告に伴う期末手当等の増</td> <td></td> <td></td> <td>▲0.2億円</td> </tr> <tr> <td>・ 支給単価差</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">【一般業務経費 ▲1.8億円】</th> <th colspan="2">▲0.6億円</th> </tr> <tr> <td>・ システム改修経費の作業工数精査等による減</td> <td></td> <td></td> <td>▲0.2億円</td> </tr> <tr> <td>・ ネットワーク費用(帯域)の縮小による減</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 中間サーバー保守運用の減</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ (PMHと共有するソフトウェアの費用按分)</td> <td></td> <td></td> <td>▲0.1億円</td> </tr> <tr> <td>・ その他(コンタクトセンター運用業務等)</td> <td></td> <td></td> <td>▲0.5億円</td> </tr> <tr> <td>・ 業務運営経費の減(システム監査経費等)</td> <td></td> <td></td> <td>▲0.3億円</td> </tr> <tr> <th colspan="2">【共同運営調整金】</th> <td colspan="2">医療保険情報提供等実施機関(支払基金・国保中央会)が一体的に共同運営を行うために必要な資金の調整額</td> </tr> <tr> <th colspan="2">【予備費】</th> <td colspan="2">予備費不使用</td> </tr> </tbody> </table>	【給与諸費 ▲0.1億円】		0.1億円		・ 人事院勧告に伴う期末手当等の増			▲0.2億円	・ 支給単価差				【一般業務経費 ▲1.8億円】		▲0.6億円		・ システム改修経費の作業工数精査等による減			▲0.2億円	・ ネットワーク費用(帯域)の縮小による減				・ 中間サーバー保守運用の減				・ (PMHと共有するソフトウェアの費用按分)			▲0.1億円	・ その他(コンタクトセンター運用業務等)			▲0.5億円	・ 業務運営経費の減(システム監査経費等)			▲0.3億円	【共同運営調整金】		医療保険情報提供等実施機関(支払基金・国保中央会)が一体的に共同運営を行うために必要な資金の調整額		【予備費】		予備費不使用	
【給与諸費 ▲0.1億円】		0.1億円																																																		
・ 人事院勧告に伴う期末手当等の増			▲0.2億円																																																	
・ 支給単価差																																																				
【一般業務経費 ▲1.8億円】		▲0.6億円																																																		
・ システム改修経費の作業工数精査等による減			▲0.2億円																																																	
・ ネットワーク費用(帯域)の縮小による減																																																				
・ 中間サーバー保守運用の減																																																				
・ (PMHと共有するソフトウェアの費用按分)			▲0.1億円																																																	
・ その他(コンタクトセンター運用業務等)			▲0.5億円																																																	
・ 業務運営経費の減(システム監査経費等)			▲0.3億円																																																	
【共同運営調整金】		医療保険情報提供等実施機関(支払基金・国保中央会)が一体的に共同運営を行うために必要な資金の調整額																																																		
【予備費】		予備費不使用																																																		
(項) 事務取扱費	32.5	30.5	▲2.0																																																	
・ 給与諸費	3.2	3.0	▲0.1																																																	
・ 業務経費	29.3	27.5	▲1.8																																																	
<内訳> 【一般業務経費】	29.2	27.4	▲1.8																																																	
[退職給付引当預金への繰入]	0.1	0.1	—																																																	
(款・項) 共同運営調整金	1.1	1.1	—																																																	
(款・項) 予備費	0.2	—	▲0.2																																																	
支出合計	33.8	31.6	▲2.2																																																	

※ 各金額にあつては、端数処理の関係から横計・縦計が一致しない場合がある。

A 収入合計	34.0
B 支出合計	31.6
A-B 収支差	2.3

※ 収支剰余は別途積立預金へ (協会けんぽ及び健保組合 2.0億円 共済組合等 0.3億円 生保実施機関 0.1億円)

令和6事業年度 保健医療情報会計情報基盤整備勘定収入支出内訳

(収入の部)

事項科目	予算額	決算額	差引増(▲)減額	事業の概要
(款) 補助金収入	260.3	243.9	▲ 16.4	【補助金収入(▲16.4億円)】
(項) 社会保障・税番号制度システム整備費等補助金	118.2	117.6	▲ 0.7	① オンライン資格確認等システム等整備事業【当初交付予定額 86.8億円 ⇒ 86.8億円(±0)】 オンライン資格確認等システム及び中間サーバーネットワーク機器更改、個人番号誤入力に係るオンライン資格確認の機能拡充、オン資導入(職域診療所・スマホ対応)、訪問診療等における暗証番号なし認証対応の機能構築、資格確認限定型の利用場面拡大、目視確認可能とする顔認証付きカードリーダー画面改修、公費併用レセプトのレセプト振替対応改修及び薬剤情報等の保存年限延長改修 ② マイナンバーカードの自衛官診療証化に関する経費【当初交付予定額 2.0億円 ⇒ 1.4億円(▲0.7億円)】 マイナンバーカードに自衛官診療証を連携するためのシステム改修 ③ マイナンバーカード健康保険証一体化システム改修等事業【当初交付予定額 29.4億円 ⇒ 29.4億円(±0)】 健康保険証の負担割合等情報の正確性確保のために月次で保険者へ情報通知する機能追加及び健康保険証新規発行終了後も本人申請によらない資格確認書の交付可能とするシステム改修 ④ 全国医療情報プラットフォーム開発事業【当初交付予定額 52.3億円 ⇒ 51.9億円(▲0.4億円)】 3文書・6情報を医療機関等で共有可能とする開発 ⑤ 保健医療情報拡充システム開発事業【当初交付予定額 3.4億円 ⇒ 3.4億円(±0)】 救急搬送時における医療情報閲覧を可能とする開発 ⑥ 予防接種事務デジタル化等事業【当初交付予定額 4.6億円 ⇒ 1.2億円(▲3.4億円)】 医療機関(大規模接種会場等含む)におけるオンライン資格確認を活用した接種記録等の登録及び閲覧を行うデジタル化に関する改修 ⑦ 診療報酬改定DX対応【当初交付予定額 78.3億円 ⇒ 66.3億円(▲12.0億円)】 マスタ・電子点数表の改善及び窓口負担計算の電子計算プログラムに係る医科・DPCの共通算定モジュールを構築 ⑧ 介護関連データ利活用に係る基盤構築事業【当初交付予定額 3.5億円 ⇒ 3.5億円(±0)】 自治体・利用者・介護事業所・医療機関等が介護情報等を電子的に閲覧できる介護情報基盤の整備
(目) オンライン資格確認等システム等整備事業	86.8	86.8	—	
(目) マイナンバーカードの自衛官診療証化に関する経費	2.0	1.4	▲ 0.7	
(目) マイナンバーカード健康保険証一体化システム改修等事業	29.4	29.4	—	
(項) 地域診療情報連携推進費補助金	55.7	55.3	▲ 0.4	
(目) 全国医療情報プラットフォーム開発事業	52.3	51.9	▲ 0.4	
(目) 保健医療情報拡充システム開発事業	3.4	3.4	—	
(項) 予防接種対策費補助金	4.6	1.2	▲ 3.4	
(目) 予防接種事務デジタル化等事業	4.6	1.2	▲ 3.4	
(項) 高齢者医療制度円滑運営事業費補助金	78.3	66.3	▲ 12.0	
(目) 診療報酬改定DX対応	78.3	66.3	▲ 12.0	
(項) 介護保険事業費補助金	3.5	3.5	—	
(目) 介護関連データ利活用に係る基盤構築事業	3.5	3.5	—	
(款) 委託費収入	9.0	5.3	▲ 3.7	【委託費収入(▲3.7億円)】
(項) デジタル社会形成推進費収入	4.2	2.1	▲ 2.1	⑨ デジタル社会形成推進費収入【当初予定額 4.2億円 ⇒ 2.1億円(▲2.1億円)】 医療費助成、予防接種、母子保健等の情報連携システムの先行実施事業拡大に向けたオンライン資格確認等システムの改修
(項) 情報通信技術調達等適正・効率化推進費収入	4.8	3.2	▲ 1.6	⑩ 情報通信技術調達等適正・効率化推進費収入【当初予定額 4.8億円 ⇒ 3.2億円(▲1.6億円)】 救急搬送中における救急時医療情報閲覧機能の構築
(款・項) 雑収入	0.0	0.0	0.0	
収入合計	269.3	249.2	▲ 20.1	

※ 各金額にあつては、端数処理の関係から横計・縦計が一致しない場合がある。

(支出の部)

事項科目	予算額	決算額	差引増(▲)減額	主な増減要素																																																																																																
(款) 業務取扱費	260.3	178.2	▲ 82.1	【支出の減額内訳 ▲65.7億円】																																																																																																
(項) 事務取扱費	260.3	178.2	▲ 82.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①予算額</th> <th>②交付額</th> <th>③差額 (②-①)</th> <th>差額理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① オンライン資格確認の用途拡大</td> <td>86.8</td> <td>86.8</td> <td>—</td> <td>【全額交付】</td> </tr> <tr> <td>② マイナンバーカードの自衛官診療証化</td> <td>2.0</td> <td>1.4</td> <td>▲0.7</td> <td>開発規模の縮小</td> </tr> <tr> <td>③ マイナンバーカードの保険証一体化</td> <td>29.4</td> <td>29.4</td> <td>—</td> <td>【全額交付】</td> </tr> <tr> <td>④ 電子カルテ情報共有サービス</td> <td>52.3</td> <td>51.9</td> <td>▲0.4</td> <td>開発規模の縮小</td> </tr> <tr> <td>⑤ 救急搬送時の医療情報閲覧機能対応</td> <td>3.4</td> <td>3.4</td> <td>—</td> <td>【全額交付】</td> </tr> <tr> <td>⑥ 予防接種事務デジタル化</td> <td>4.6</td> <td>1.2</td> <td>▲3.4</td> <td>介護情報基盤と同時開発</td> </tr> <tr> <td>⑦ 診療報酬改定DX対応</td> <td>78.3</td> <td>66.3</td> <td>▲12.0</td> <td>モジュールの品質確認の実施方法見直し</td> </tr> <tr> <td>⑧ 介護情報基盤整備</td> <td>3.5</td> <td>3.5</td> <td>—</td> <td>【全額交付】</td> </tr> <tr> <td>⑨ 医療費助成、予防接種、母子保健等の先行実施事業拡大</td> <td>4.2</td> <td>2.1</td> <td>▲2.1</td> <td>開発規模の縮小</td> </tr> <tr> <td>⑩ 救急搬送中における救急時医療情報閲覧機能構築</td> <td>4.8</td> <td>3.2</td> <td>▲1.6</td> <td>開発規模の縮小</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>269.3</td> <td>249.2</td> <td>▲20.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>④決算額</th> <th>⑤差額 (④-②)</th> <th>差額理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54.3</td> <td>▲32.5</td> <td>開発規模の縮小</td> </tr> <tr> <td>1.4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>26.2</td> <td>▲3.2</td> <td>開発規模の縮小</td> </tr> <tr> <td>51.4</td> <td>▲0.5</td> <td>他案件同時調達</td> </tr> <tr> <td>2.8</td> <td>▲0.6</td> <td>開発規模の縮小</td> </tr> <tr> <td>1.1</td> <td>▲0.1</td> <td>経常経費の減</td> </tr> <tr> <td>38.3</td> <td>▲28.0</td> <td>モジュールの品質確認の実施方法見直し 開発規模の縮小</td> </tr> <tr> <td>2.8</td> <td>▲0.7</td> <td>開発規模の縮小</td> </tr> <tr> <td>2.1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>183.5</td> <td>※ ▲65.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		①予算額	②交付額	③差額 (②-①)	差額理由	① オンライン資格確認の用途拡大	86.8	86.8	—	【全額交付】	② マイナンバーカードの自衛官診療証化	2.0	1.4	▲0.7	開発規模の縮小	③ マイナンバーカードの保険証一体化	29.4	29.4	—	【全額交付】	④ 電子カルテ情報共有サービス	52.3	51.9	▲0.4	開発規模の縮小	⑤ 救急搬送時の医療情報閲覧機能対応	3.4	3.4	—	【全額交付】	⑥ 予防接種事務デジタル化	4.6	1.2	▲3.4	介護情報基盤と同時開発	⑦ 診療報酬改定DX対応	78.3	66.3	▲12.0	モジュールの品質確認の実施方法見直し	⑧ 介護情報基盤整備	3.5	3.5	—	【全額交付】	⑨ 医療費助成、予防接種、母子保健等の先行実施事業拡大	4.2	2.1	▲2.1	開発規模の縮小	⑩ 救急搬送中における救急時医療情報閲覧機能構築	4.8	3.2	▲1.6	開発規模の縮小	計	269.3	249.2	▲20.1		④決算額	⑤差額 (④-②)	差額理由	54.3	▲32.5	開発規模の縮小	1.4	—	—	26.2	▲3.2	開発規模の縮小	51.4	▲0.5	他案件同時調達	2.8	▲0.6	開発規模の縮小	1.1	▲0.1	経常経費の減	38.3	▲28.0	モジュールの品質確認の実施方法見直し 開発規模の縮小	2.8	▲0.7	開発規模の縮小	2.1	—	—	3.2	—	—	183.5	※ ▲65.7	
	①予算額	②交付額	③差額 (②-①)		差額理由																																																																																															
① オンライン資格確認の用途拡大	86.8	86.8	—		【全額交付】																																																																																															
② マイナンバーカードの自衛官診療証化	2.0	1.4	▲0.7		開発規模の縮小																																																																																															
③ マイナンバーカードの保険証一体化	29.4	29.4	—		【全額交付】																																																																																															
④ 電子カルテ情報共有サービス	52.3	51.9	▲0.4		開発規模の縮小																																																																																															
⑤ 救急搬送時の医療情報閲覧機能対応	3.4	3.4	—		【全額交付】																																																																																															
⑥ 予防接種事務デジタル化	4.6	1.2	▲3.4		介護情報基盤と同時開発																																																																																															
⑦ 診療報酬改定DX対応	78.3	66.3	▲12.0		モジュールの品質確認の実施方法見直し																																																																																															
⑧ 介護情報基盤整備	3.5	3.5	—		【全額交付】																																																																																															
⑨ 医療費助成、予防接種、母子保健等の先行実施事業拡大	4.2	2.1	▲2.1	開発規模の縮小																																																																																																
⑩ 救急搬送中における救急時医療情報閲覧機能構築	4.8	3.2	▲1.6	開発規模の縮小																																																																																																
計	269.3	249.2	▲20.1																																																																																																	
④決算額	⑤差額 (④-②)	差額理由																																																																																																		
54.3	▲32.5	開発規模の縮小																																																																																																		
1.4	—	—																																																																																																		
26.2	▲3.2	開発規模の縮小																																																																																																		
51.4	▲0.5	他案件同時調達																																																																																																		
2.8	▲0.6	開発規模の縮小																																																																																																		
1.1	▲0.1	経常経費の減																																																																																																		
38.3	▲28.0	モジュールの品質確認の実施方法見直し 開発規模の縮小																																																																																																		
2.8	▲0.7	開発規模の縮小																																																																																																		
2.1	—	—																																																																																																		
3.2	—	—																																																																																																		
183.5	※ ▲65.7																																																																																																			
(目) 給与諸費	4.2	3.9	▲ 0.3																																																																																																	
(目) 業務経費	256.1	174.3	▲ 81.8																																																																																																	
<内訳> 【一般業務経費】	255.9	174.2	▲ 81.8																																																																																																	
[退職給付引当預金への繰入]	0.2	0.2	—																																																																																																	
(款) 委託経費	9.0	5.3	▲ 3.7																																																																																																	
(項) デジタル社会形成推進経費	4.2	2.1	▲ 2.1																																																																																																	
(項) 情報通信技術調達等適正・効率化推進経費	4.8	3.2	▲ 1.6																																																																																																	
(款・項) 予備費	0.0	—	▲ 0.0																																																																																																	
支出合計	269.3	183.5	▲ 85.8																																																																																																	

※ 各金額にあつては、端数処理の関係から横計・縦計が一致しない場合がある。

A 収入合計	249.2
B 支出合計	183.5
A-B 収支差	65.7

※ 収支剰余：65.7億円は国庫へ返還

令和6事業年度 保健医療情報会計情報分析活用勘定収入支出内訳

(収入の部)

(単位：億円)

事項科目	予算額	決算額	差引増(▲)減額	主な増減要素
(款) 委託費収入	46.0	46.0	▲ 0.0	【事業の概要】 令和6年度は厚生労働省からの委託により、以下の業務を実施した。 ・NDB関連業務の実施 ・NDBデータの情報分析・提供等の支援及びNDBの利活用を促進するためのシステム改修 ・健康スコアリングレポートの作成 ・保険者・事業主単位に令和5年度実績に基づく健康スコアリングレポートを作成 ・データヘルス・ポータルサイトの運用及び改修 ・データヘルス計画・実績報告の収集、健康スコアリングレポート提供のためにデータヘルス・ポータルサイトを運用等
(項・目) 医療費適正化対策推進関連事業収入	46.0	46.0	—	
(項・目) 保険者等委託費収入	0.1	0.1	▲ 0.0	
(款) 補助金収入	1.2	1.2	—	
(項) 高齢者医療運営円滑化等補助金	1.2	1.2	—	
(目) レセプト情報等活用データヘルス推進事業	1.2	1.2	—	
(款・項) 受入金	0.4	0.4	▲ 0.0	
(款・項) 雑収入	0.0	0.0	0.0	
収入合計	47.7	47.7	0.0	

※ 各金額にあつては、端数処理の関係から横計・縦計が一致しない場合がある。

(支出の部)

(単位：億円)

事項科目	予算額	決算額	差引増(▲)減額	主な増減要素
(款) 業務取扱費	46.5	32.0	▲ 14.5	【給与諸費 ▲0.0億円】 支給単価差 ▲0.0億円  【一般業務経費 ▲14.5億円】 ・入札効果及び開発規模の縮小等 ▲12.4億円 ・NDB運用保守の減 (外部からの提供申出が想定より少ないことによる利用量の減等) ▲2.1億円  【支出の減額内訳 ▲14.5億円】
(項) 事務取扱費	46.5	32.0	▲ 14.5	
・ 給与諸費	1.0	1.0	▲ 0.0	
・ 業務経費	45.4	31.0	▲ 14.5	
<内訳> [一般業務経費]	45.4	30.9	▲ 14.5	
[退職給付引当預金への繰入]	0.1	0.1	—	
(款) 補助金事業経費	1.2	1.2	—	
(款・項) 予備費	0.0	—	▲ 0.0	
支出合計	47.7	33.2	▲ 14.5	

	①予算額	②受領額	③差額 (②-①)	差額理由	④決算額	⑤差額 (④-②)	差額理由
① NDB	45.4	45.4	0.0	利子収入の増	30.9	▲ 14.5	入札効果
② 健康スコアリングレポート	1.4	1.4	—	【全額交付】	1.4	▲0.0	—
③ データヘルス・ポータルサイト	0.9	0.9	0.0		0.9	0.0	—
計	47.7	47.7	0.0		33.2	※ ▲ 14.5	

※ 給与諸費▲0.0億円含む

※ 各金額にあつては、端数処理の関係から横計・縦計が一致しない場合がある。

A 収入合計	47.7
B 支出合計	33.2
A-B 収支差	14.5

※ 収支剰余：14.5億円は別途積立預金へ

中間サーバー・オンライン資格確認管理業務の運営（委託事業）

決算の概況

○ 運営費用は保険者からの運営負担金により賄う（国保との共同運営）

運営負担金単価（加入者1人当り月額）

中間サーバー	R6年度	対前年比	オンライン資格確認	R6年度	対前年比
協会けんぽ・健保組合	0.82円	+0.11円	協会けんぽ・健保組合	1.58円	+0.34円
共済組合等	1.12円	+0.16円	共済組合等	1.58円	+0.34円
生活保護実施機関	1.64円	+1.64円	生活保護実施機関	5.49円	+5.49円

○ 収入は、保険者からの運営負担金収入24.4億円に加え、運営負担金の抑制に充てるシステム機器更新積立預金5.4億円及び令和4年度収支剰余金4.0億円を合わせた34.0億円

○ 支出面では、システム改修の減▲0.6億円（見積精査による減等）、マイナ保険証利用率の実態に合わせたネットワーク帯域縮小による減▲0.2億円、コンタクトセンターの運用経費の減（実態に則した席数の確保）▲0.5億円等により、業務経費が▲1.8億円低減

収入額34.0億円に対し、業務経費の減▲1.8億円及び予備費未使用▲0.2億円等により支出額が31.6億円となり、**収支剰余金は2.3億円**（令和8年度の単価抑制に活用）

保健医療情報会計 情報基盤運用勘定【収入支出予算と決算内訳】

単位：億円

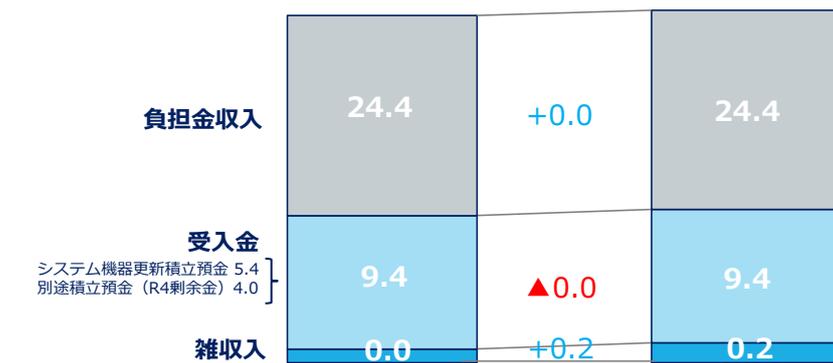
収入

予算 33.8 → 決算 34.0 (+0.2)

○ 収支剰余2.3億円  
(収入34.0億円 - 支出31.6億円)

- 保険者からの運営負担金収入24.4億円
- 運営負担金単価抑制に充てるシステム機器更新積立預金<sup>\*</sup>5.4億円及び令和4年度剰余金4.0億円を受入
- 雑収入の増0.2億円（還付消費税等）

※ 中間サーバー運用開始当初から積立ててきたシステム機器更新積立預金34.3億円については、令和2年6月の中間サーバークラウド移行に伴い、令和3年度以降の運営負担金単価抑制に活用することとして、令和8年度まで毎年5.4億円を受入（6年度末残高：12.8億円）

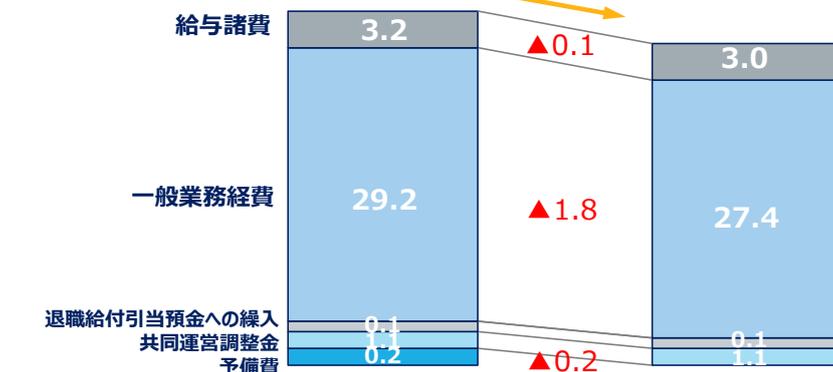


支出

予算 33.8 → 決算 31.6 (▲2.2)

○ 給与諸費の減▲0.1億円（支給単価差）

- 一般業務経費の低減▲1.8億円
  - ・システム改修経費の減（見積精査等） ▲0.6億円
  - ・マイナ保険証利用率の実態に合わせたNW帯域縮小による減 ▲0.2億円
  - ・コンタクトセンター運用経費の減（実態に則した席数の確保） ▲0.5億円等



多様な場面でのオン資の導入、共通算定モジュール及び電子カルテ情報共有サービス等の開発  
(補助金・委託事業)

## 決算の概況 (執行状況)

令和6年度においてオンライン資格確認の利用場面の拡大、マイナンバーカードと健康保険証一体化、共通算定モジュール及び電子カルテ情報共有サービス等の開発に係る補助金事業(交付額243.9億円)に加え、救急搬送中における救急時医療情報閲覧機能に係る消防庁等からの委託事業(委託費収入5.3億円)を実施

### 1. 補助金事業

(単位: 億円)

内訳	収入 予算 a	基金への 交付額 b	収入差額 b-a	交付額減額理由	支出額 c	交付額からの 支出減 c-b	交付額からの減額理由
① 多様な場面でのオンライン資格確認の導入等 (1) オンライン資格確認の利用場面の拡大 (訪問診療、スマホ対応、職権診断、限定型の利用場面拡大等)及び加入者情報の正確性の確保 (2) マイナンバーカードの自衛官診療証化	88.8 (86.8)	88.2 (86.8)	▲0.7 (-)	(1) - (2) 要件整理による開発規模縮小	55.8 (54.3)	▲32.5 (▲32.5)	(1) 要件整理による開発規模縮小 (訪問診療、スマホ対応、限定型の利用場面拡大等)、スマホ対応一部スケジュール変更等 (2) -
② 健康保険証の新規発行終了後に向けた取組 資格確認書を切れ目なく交付するため、利用登録解除申請、電子証明書失効者等の情報を保険者に月次で連携	29.4	29.4	-		26.2	▲3.2	要件整理による開発規模縮小
③ 共通算定モジュールの開発 診療報酬の算定と患者の窓口負担金計算を行うための電子計算プログラム	78.3	66.3	▲12.0	モジュールの品質確認(モデル事業)を、病院に代えて、協力レセコンベンダーに委託して実施する方法に見直したことに伴う縮減	38.3	▲28.0	・モジュールの品質確認(モデル事業)を、病院に代えて、協力レセコンベンダーに委託して実施する方法に見直したことに伴う縮減 ・要件整理による開発規模縮小
④ 電子カルテ情報共有サービス 医療機関間で、電子カルテ情報を共有するためのシステム開発	52.3	51.9	▲0.4	内容精査による開発規模縮小	51.4	▲0.5	他案件同時調達による減

Change.Challenge.Chance 社会保険診療報酬支払基金

## 決算の概況 (執行状況)

### 1. 補助金事業

(単位: 億円)

内訳	収入 予算 a	基金への 交付額 b	収入差額 b-a	交付額減額理由	支出額 c	交付額からの 支出減 c-b	交付額からの減額理由
⑤ 公費負担・地方単独医療費助成事業等に係る情報連携 (1) 予防接種事務デジタル化 (2) 介護情報基盤の整備	8.1 (4.6)	4.7 (1.2)	▲3.4 (▲3.4)	(1)と(2)の同時開発による開発規模縮小	3.9 (1.1)	▲0.8 (▲0.1)	(1) 経常経費の減 (2) 要件整理による開発規模縮小
⑥ 保健医療情報の提供の充実 救急搬送時の医療情報閲覧機能	3.4	3.4	-		2.8	▲0.6	要件整理による開発規模縮小
	260.3	243.9	▲16.4		178.2	※▲65.7	(支出減 ア+イ=▲82.1)

※ 給与諸費▲0.3億円を含む

### 2. 委託事業

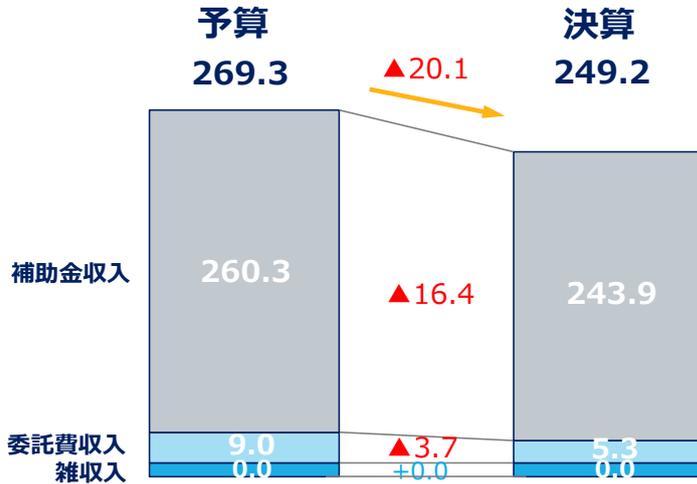
内訳	収入 予算 a	収入額 b	増減額 b-a	減額理由	支出額 c	収入額 からの支出減 c-b	委託費収入額からの 減額理由
⑦ 公費負担・地方単独医療費助成事業等に係る情報連携(デジタル庁) 医療費助成、予防接種、母子保健等に係る先行実施事業の拡大に向けたシステム改修	4.2	2.1	▲2.1	内容の精緻化による開発規模の縮小	2.1	-	
⑧ 保健医療情報の提供の充実(消防庁) 救急搬送中における救急時医療情報閲覧機能	4.8	3.2	▲1.6	要件整理による開発規模縮小	3.2	-	
	9.0	5.3	▲3.7		5.3	-	

収入額249.2億円(補助金243.9億円、委託費5.3億円)に対し、交付額からの支出減▲65.7億円により支出額が183.5億円となり、**収支剰余金は65.7億円(国庫に返還)**

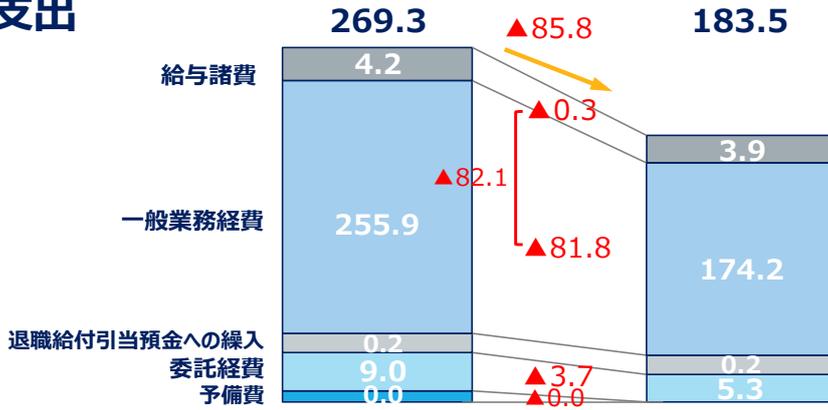
# 保健医療情報会計 情報基盤整備勘定【収入支出予算と決算内訳】

単位：億円

## 収入



## 支出



○ 収支剰余65.7億円  
(収入249.2億円-支出183.5億円)

- 【補助金収入減（交付額減額）▲16.4億円】
- ①多様な場面でのオンライン資格確認の導入等  
【予算 88.8→ 交付 88.2 (▲0.7)】
  - ②健康保険証の新規発行終了後に向けた取組  
【予算 29.4→ 交付 29.4 (-)】
  - ③共通算定モジュールの開発  
【予算 78.3→ 交付 66.3 (▲12.0)】
  - ④電子カルテ情報共有サービス  
【予算 52.3→ 交付51.9 (▲0.4)】
  - ⑤公費負担・地方単独医療費助成事業等に係る  
情報連携  
【予算 8.1→ 交付 4.7 (▲3.4)】
  - ⑥保健医療情報の提供の充実  
【予算 3.4→ 交付 3.4 (-)】
- 【委託費収入（収入減額）▲3.7億円】
- ⑦公費負担・地方単独医療費助成事業等に係る  
情報連携（デジタル庁）  
【予算 4.2→ 収入 2.1 (▲2.1)】
  - ⑧保健医療情報の提供の充実（消防庁）  
【予算 4.8→ 収入 3.2 (▲1.6)】

【交付額の減額による支出の減▲16.4億円】

- 【交付額からの支出減 ▲65.7億円※】
- ①多様な場面でのオンライン資格確認の導入等▲32.5
  - ②健康保険証の新規発行終了後に向けた取組 ▲3.2
  - ③共通算定モジュールの開発 ▲28.0
  - ④電子カルテ情報共有サービス ▲0.5
  - ⑤公費負担・地方単独医療費助成事業等に係る  
情報連携 ▲0.8
  - ⑥保健医療情報の提供の充実 ▲0.6
- ※給与諸費▲0.3億円を含む

→ 総支出減▲82.1億円

健康スコアリングレポートの作成、データヘルスポータルサイトの運用、NDB関連業務  
(委託・補助金事業)

## 決算の概況

- 収入は、NDB運用等（改修経費含む）に係る厚生労働省からの委託費収入46.0億円※、健康スコアリング及びデータヘルスポータルサイトの改修に係る補助金1.2億円に加え、令和4年度収支剰余金0.4億円を合わせた47.7億円

※ 保険者からのデータヘルスポータルサイト等の改修に係る委託費収入5百万円を含む

- 支出は、NDB・HICシステムの運用保守費用の減※<sup>1</sup>（▲2.1億円）、入札効果及び改修規模縮小によるシステム改修経費の減※<sup>2</sup>（▲12.4億円）等により、支出総額が33.2億円

※<sup>1</sup> 外部からの申し出が想定より下回ったことによるクラウド利用料の減

※<sup>2</sup> 当初予定のスケジュールを変更したことによるランニングコストの減等（詳細は次スライド）

収入額47.7億円に対し、システム運用保守及び改修費用等の減▲14.5億円により支出額が33.2億円となり、**収支剰余金は14.5億円**（令和8年度予算に受入）

## システム改修経費の減（▲12.4億円）の主な要因

- **HICセキュリティ高度化対策** 見積額 7.3億円 → 契約額 0.6億円（▲6.7億円）
  - ・ 見積は3社。最も高い額を基準として予算（7.1億円）を計上
  - ・ 当初の仕様書のスケジュールでは、構築から運用までの期間が通常よりもタイトであったことにより、入札不調となる。
  - ・ 構築作業の分割及び運用開始時期（R6年11月 ⇒ R7年3月）の変更（後ろ倒し）により、1社が応札。
  - ・ 運用開始時期の変更により、ランニングコストの減（※）

※ 【参考】 R7ランニングコスト 10,414千円/月

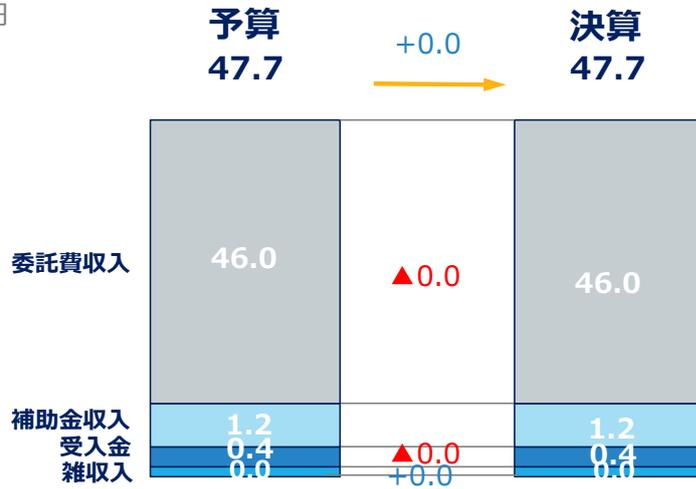
- **NDBデータ提供申請手続きのポータル化** 他3案件 見積額 12.0億円 → 契約額 7.3億円（▲4.7億円）
  - ・ 当初、個別に調達する予定であった4案件のうち3案件を1本化して調達（※）
  - ・ 残りの1案件も含め、全て同じ業者が落札することにより、費用の縮減効果

※ 「HIC解析環境拡充・汎用データセットの構築」、「NDBデータ提供申請手続きのポータル化」及び「アドバイザリープラットフォームの環境構築」を1本化。「NDB早期提供のための体制拡充」も含め、同じ業者が落札

# 保健医療情報会計 情報分析活用勘定【収入支出予算と決算内訳】

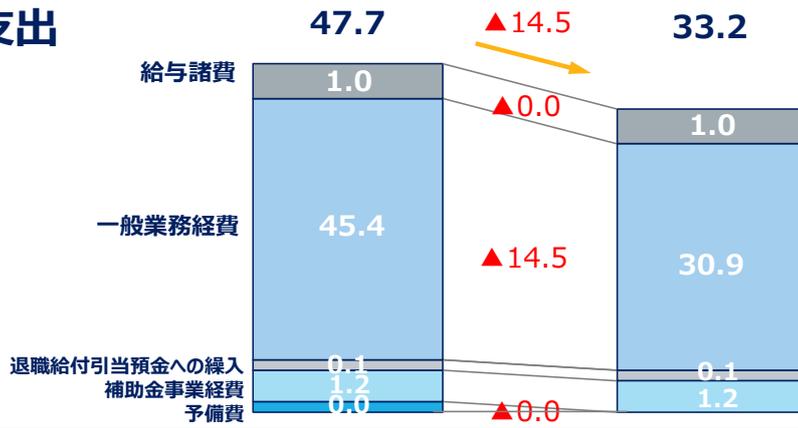
単位：億円

## 収入



○ 収支剰余14.5億円  
(収入47.7億円－支出33.2億円)

## 支出



### 【一般業務経費の減▲14.5億円】

- NDB・HICシステム運用保守費用の減  
(クラウド利用料の減) ▲2.1億円
- システム改修費の減  
(入札効果・改修規模縮小によるNDB・HICシステム改修費の減等) ▲12.4億円

前期高齢者特別会計事業費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月 1日 至 令和7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
〔経常損益の部〕							
(業務損益の部)							(業務損益の部)
I 業務収益							○ I 業務収益
1 前期高齢者納付金収入	3,590,702,684		3,455,765,938		▲ 134,936,746		前期高齢者納付金収入 令和6年度概算前期高齢者納付金、令和4年度精算額及び調整金額の合計額
2 前期高齢者特別負担調整交付金収入	9,999,984		19,999,916		9,999,932		前期高齢者特別負担調整交付金収入 国から交付される前期高齢者納付金に充てる補助金の額
3 前期高齢者関係事務費拠出金収入	343,962		330,731		▲ 13,230		前期高齢者関係事務費拠出金収入 前期高齢者関係業務に要する費用に係る事務費拠出金の額
4 前期高齢者交付金精算返還金	118,260	3,601,164,891	297,871	3,476,394,458	179,611	▲ 124,770,433	前期高齢者交付金精算返還金 令和4年度前期高齢者交付金の確定による保険者からの返還額等 (11保険者)
II 業務費用							○ II 業務費用
1 前期高齢者交付金	3,601,758,808		3,469,941,174		▲ 131,817,634		前期高齢者交付金 令和6年度概算前期高齢者交付金、令和4年度精算額及び調整金額等の合計額
2 事務費勘定へ繰入	343,962		330,731		▲ 13,230		事務費勘定へ繰入 前期高齢者関係業務に要する費用として事務費勘定へ繰り入れた額
3 前期高齢者納付金精算返還金	944,566	3,603,047,337	223,365	3,470,495,270	▲ 721,200	▲ 132,552,066	前期高齢者納付金精算返還金 令和4年度前期高齢者納付金の確定のうち、保険者へ還付した額 (20保険者)
業務利益 (▲業務損失)		▲ 1,882,445		5,899,187		7,781,632	
(業務外損益の部)							(業務外損益の部)
業務外収益							○ 業務外収益
受取利息	1,039	1,039	82,940	82,940	81,901	81,901	受取利息 普通預金利息・定期預金利息
経常利益 (▲経常損失)		▲ 1,881,405		5,982,128		7,863,534	
当期純利益 (▲当期純損失)		▲ 1,881,405		5,982,128		7,863,534	
別途積立金取崩額		2,765,245		384,905		▲ 2,380,339	別途積立金取崩額 令和4年度納付金精算額及び調整金額(▲1,088億円)から交付金精算額及び調整金額(▲1,092億円)を差引いた額
当期未処分利益		883,839		6,367,034		5,483,194	
							(注) 当期未処分利益6,367,034千円は、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)第146条第1項の規定により、積立金として整理することとする。

前期高齢者特別会計事業費勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項		
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)		② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)
	千円	千円	千円		千円	千円	千円	
(資産の部)				(負債の部)				(資産の部)
流動資産				流動負債				○流動資産
1 現金及び預金	17,590,837	31,724,044	14,133,207	未払前期高齢者 交 付 金	300,153,710	289,161,112	▲ 10,992,598	現金及び預金 普通預金及び定期預金
2 未収前期高齢者 納 付 金	291,122,055	271,976,503	▲ 19,145,552	流動負債合計	300,153,710	289,161,112	▲ 10,992,598	未収前期高齢者 納 付 金 納付期限未到来の令和6年度第12期分(令和7年4月7日納期)前期 高齢者納付金等のうちの未収分
3 未収前期高齢者関係 事務費拠出金	27,396	25,724	▲ 1,672	負債合計	300,153,710	289,161,112	▲ 10,992,598	未収前期高齢者関係 事務費拠出金 納付期限未到来の令和6年度第12期分(令和7年4月7日納期)前期 高齢者関係事務費拠出金のうちの未収分
4 未 収 収 益	-	3,546	3,546					未 収 収 益 令和7年3月以前に運用を開始し、令和7年4月以降に満期日が到来 する大口定期預金のうち、令和7年3月末日までに発生している利息
流動資産合計	308,740,288	303,729,818	▲ 5,010,469	(資本の部)				(負債の部)
				利益剰余金				○流動負債
				1 別途積立金	7,702,738	8,201,672	498,933	
				2 当期未処分利益	883,839	6,367,034	5,483,194	未払前期高齢者 交 付 金 交付日未到来の令和6年度第12期分(令和7年4月15日交付)前期 高齢者交付金
				利益剰余金合計	8,586,578	14,568,706	5,982,128	
				資本合計	8,586,578	14,568,706	5,982,128	
資産合計	308,740,288	303,729,818	▲ 5,010,469	負債・資本合計	308,740,288	303,729,818	▲ 5,010,469	

前期高齢者特別会計事務費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月 1日〕 〔至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月 1日〕 〔至 令和7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
〔経常損益の部〕								
(業務損益の部)								
I 業務収益							○ I 業務収益	
事業費勘定からの受入	343,962	343,962	330,731	330,731	▲ 13,230	▲ 13,230	事業費勘定からの受入 前期高齢者関係業務に必要な事務費を事業費勘定から受入れ	事業費勘定からの受入 ▲13百万円 加入者数の減
II 業務費用							○ II 業務費用	
1 給与手当	157,578		141,227		▲ 16,350		給与手当 職員に対して支給する給料及び諸手当等	給与手当 ▲16百万円 職員配置換えの影響による減
2 賞与	32,983		31,495		▲ 1,487		賞与 職員に対して支給する賞与	賞与 ▲1百万円 職員配置換えの影響による減
3 賞与引当金繰入額	16,744		15,927		▲ 817		賞与引当金繰入額 令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月までの費用	
4 退職給付費用	21,903		15,347		▲ 6,555		退職給付費用 職員の将来の退職手当及び年金の費用	退職給付費用 ▲6百万円 退職給付債務の減
5 法定福利費	32,044		29,695		▲ 2,348		法定福利費 事業主が負担する健康保険料等	法定福利費 ▲2百万円 職員配置換えの影響による減
6 使用料及び賃借料	17,372		20,189		2,817		使用料及び賃借料 事務所借上料及び新会計システム等	使用料及び賃借料 2百万円 新会計システム等の増
7 委託費	49,477		47,722		▲ 1,755		委託費 納付金及び交付金算定の機械処理経費等	委託費 ▲1百万円 新会計システム等への切替えによる減
8 修繕費	3,848		34,545		30,696		修繕費 システム機器の更新費用等	修繕費 30百万円 高齢者システムの機器更新による増
9 減価償却費	779		-		▲ 779		減価償却費 工具器具備品に係る減価償却額	
10 その他の業務費用	14,538	347,269	14,072	350,223	▲ 465	2,954	その他の業務費用 租税公課等	
業務損失		3,307		19,492		16,184		
(業務外損益の部)								
業務外収益							○ 業務外収益	
受取利息	2	2	187	187	184	184	受取利息 預金から生じた受取利息	
経常損失		3,304		19,304		16,000	(業務外損益の部)	
〔特別損益の部〕							○ 特別損失	
特別損失							固定資産除却損 工具器具備品の廃棄処分による除却損	
固定資産除却損	-	-	472	472	472	472		
当期純損失		3,304		19,777		16,472		
当期末処理損失		3,304		19,777		16,472		

(注) 当期末処理損失19,777千円は、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)第146条第2項の規定により積立金を減額して整理することとする。

前期高齢者特別会計事務費勘定 貸借対照表

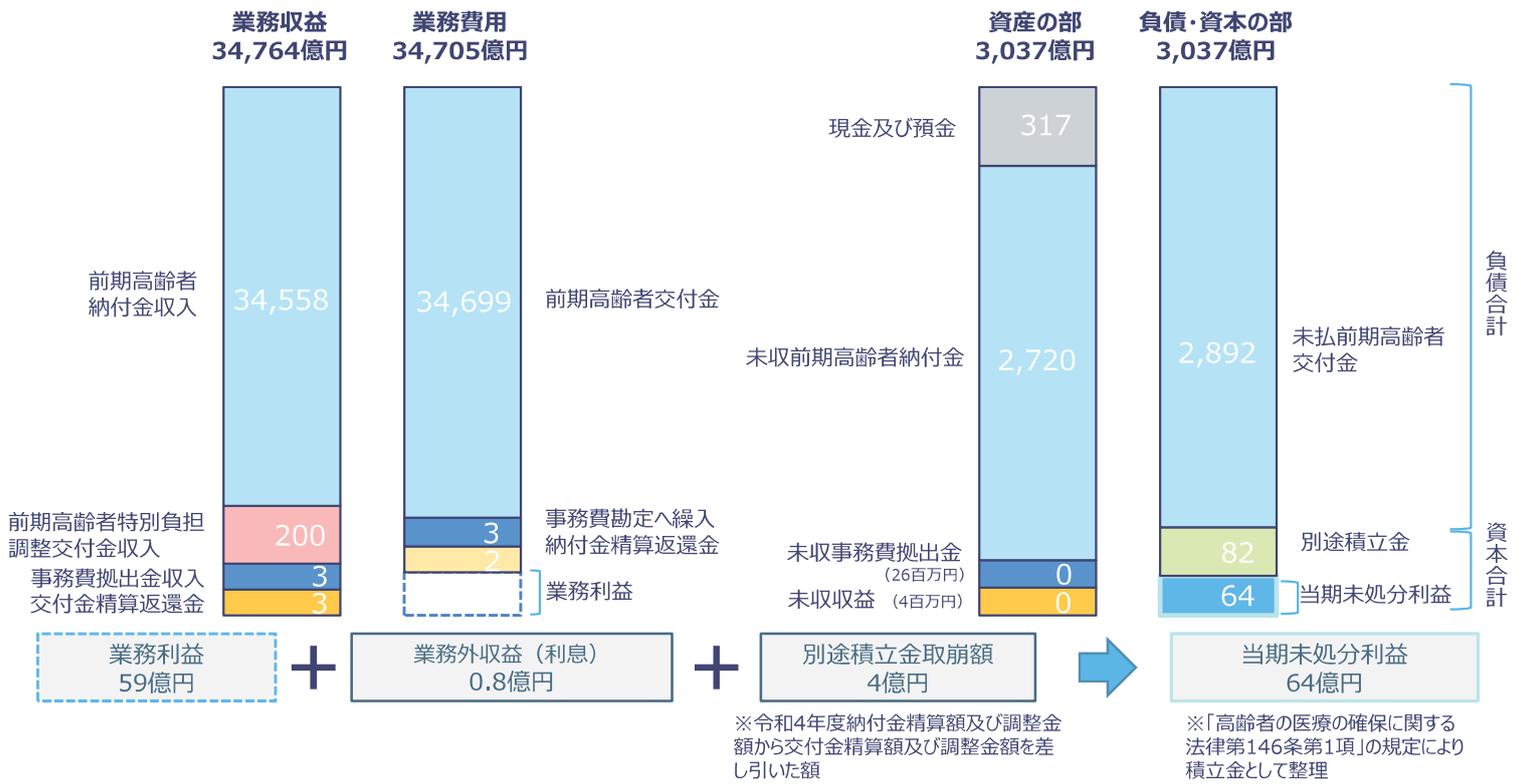
資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等		
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)			② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部)	
I 流動資産				I 流動負債				○ I 流動資産	
1 現金及び預金	311,016	104,308	▲ 206,708	1 未払金	9,050	53,541	44,490	現金及び預金	▲206百万円 資産の区分変更による減
2 未収入金	-	3,317	3,317	2 未払費用	2,578	2,373	▲ 205	未収入金	3百万円 消費税等還付金の減
流動資産合計	311,016	107,625	▲ 203,391	3 預り金	1,560	1,391	▲ 168	○ II 固定資産	
II 固定資産				4 賞与引当金	16,744	15,927	▲ 817		
1 有形固定資産				流動負債合計	29,933	73,233	43,300	退職給付引当資産	退職給付引当預金の額
工具器具備品	4,724	-	▲ 4,724	II 固定負債				別途積立資産	別途積立金の額
減価償却累計額	▲ 4,252	-	4,252	退職給付引当金	205,208	208,871	3,663	前払年金費用	年金資産が退職給付債務(年金部分)を超過した場合に資産計上する費用
有形固定資産合計	472	-	▲ 472	固定負債合計	205,208	208,871	3,663	(負債の部)	
2 投資その他の資産				負債合計	235,141	282,105	46,963	○ I 流動負債	
(1) 退職給付引当資産	-	208,028	208,028	(資本の部)				未払金	当年度内に役務の提供を受け支払が終っていないもの
(2) 別途積立資産	-	21,714	21,714	利益剰余金				未払費用	賞与引当金に計上した令和6年6月期末・勤勉手当の支払債務に係る法定福利費
(3) 前払年金費用	4,210	5,517	1,306	1 別途積立金	83,863	80,559	▲ 3,304	預り金	職員の所得税及び住民税等
投資その他の資産合計	4,210	235,261	231,050	2 当期末処理損失	3,304	19,777	16,472	賞与引当金	令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月に発生する支払債務
固定資産合計	4,683	235,261	230,577	利益剰余金合計	80,559	60,781	▲ 19,777	○ II 固定負債	
				資本合計	80,559	60,781	▲ 19,777	退職給付引当金	令和7年3月末日における退職給付債務
資産合計	315,700	342,886	27,186	負債・資本合計	315,700	342,886	27,186	退職給付引当金	3百万円 退職給付債務の増

# 前期高齢者特別会計 事業費勘定

単位：億円

## 損益計算書

## 貸借対照表



(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。以下について同じ。

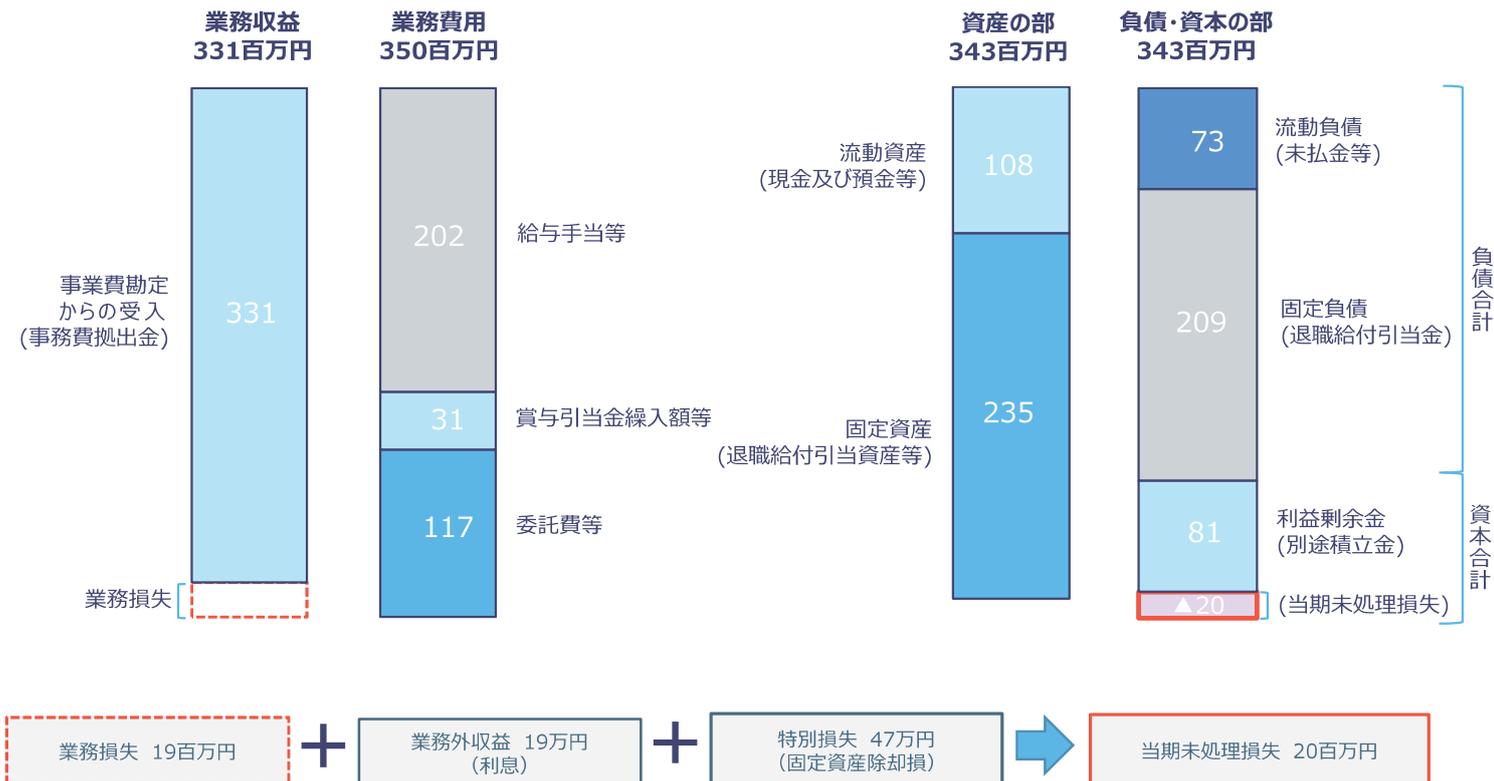
Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 前期高齢者特別会計事務費勘定

単位：百万円

## 損益計算書

## 貸借対照表



Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 前期高齢者特別会計 事業費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：億円

## 収入

予算

決算

① - ② = 収支差 64億円

37,506億円 ▲2,738億円 34,769億円 ①

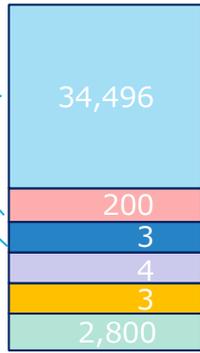
前期高齢者納付金収入 3兆4,496億円  
 R6 概算納付金額 3兆3,294億円  
 R4 納付金精算額等 1,202億円  
 R4 納付金精算額・調整金額 1,088億円  
 R4 特別負担調整交付金精算額 111億円  
 R4 納付金精算返還金 2億円

前期高齢者特別負担調整交付金収入  
 前期高齢者関係事務費拠出金収入

受入金 (別途積立金取崩額)

R4 交付金精算返還金 3億円 } 雑収入  
 利子収入 0億円 }

借入金



+62

+1

▲2,800

※借入れ実績なし

34,558

前期高齢者納付金収入 3兆4,558億円  
 R6 概算納付金額 3兆3,294億円  
 R6 新設保険者分概算納付金額 62億円  
 R4 納付金精算額等 1,202億円  
 R4 納付金精算額・調整金額 1,088億円  
 R4 特別負担調整交付金精算額 111億円  
 R4 納付金精算返還金 2億円

前期高齢者特別負担調整交付金収入  
 前期高齢者関係事務費拠出金収入

受入金 (別途積立金取崩額)  
 R4 納付金精算額・調整金額から  
 R4 交付金精算額・調整金額を差引いた額

雑収入 R4 交付金精算返還金 3億円  
 利子収入 1億円

37,506億円 ▲2,801億円 34,705億円 ②

## 支出

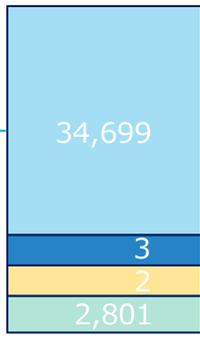
前期高齢者交付金 3兆4,699億円  
 R6 概算交付金額 3兆3,604億円  
 R4 交付金精算額等 1,095億円  
 R4 交付金精算額・調整金額 1,092億円  
 R4 交付金精算返還金 3億円

事務費勘定へ繰入

諸支出金

R4 納付金精算返還金

予備費



▲2,801



前期高齢者交付金 3兆4,699億円  
 R6 概算交付金額 3兆3,604億円  
 R4 交付金精算額等 1,095億円  
 R4 交付金精算額・調整金額 1,092億円  
 R4 交付金精算返還金 3億円

事務費勘定へ繰入

諸支出金

R4 納付金精算返還金 2億円

(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。以下について同じ。

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 前期高齢者特別会計事務費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：百万円

## 収入

予算

決算

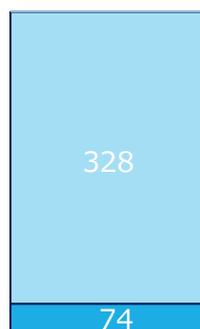
( ) 内数値は対予算差

402百万円 5百万円 407百万円 ①

① - ② = 収支差 53百万円

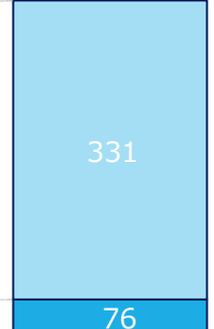
事業費勘定からの受入  
(事務費拠出金)

受入金及び雑収入



+3

+2



事業費勘定からの受入 (+ 3)

加入者数の増

事務費単価 3円20銭  
 加入者数\* 103,356千人 (+825千人)  
 (\* 医療保険に加入している、0歳から74歳までの者が対象)

## 支出

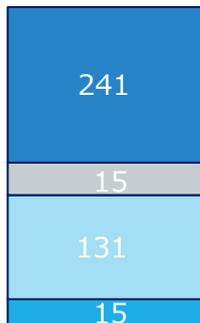
402百万円 ▲48百万円 354百万円 ②

職員諸給与

退職給付引当預金への繰入

管理諸費

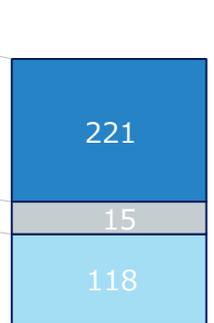
予備費



▲20

▲13

▲15



職員基本給 (▲ 9)

諸手当等 (▲ 11)

システム関連経費 (▲ 5)

その他経常経費 (▲ 8)

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

後期高齢者医療特別会計事業費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月 1日 至 令和7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
〔経常損益の部〕							
(業務損益の部)							
I 業務収益							<b>○ I 業務収益</b>
1 後期高齢者支援金収入	6,884,616,840		7,166,361,244		281,744,404		後期高齢者支援金収入 令和6年度概算後期高齢者支援金、令和4年度支援金精算額及び調整金額の合計額
2 後期高齢者関係事務費拠出金収入	406,500		403,079		▲ 3,421		後期高齢者関係事務費拠出金収入 後期高齢者関係業務に要する費用に係る事務費拠出金の額
3 出産育児支援金収入	-		13,159,664		13,159,664		出産育児支援金収入 令和6年度概算出産育児支援金の額
4 後期高齢者交付金精算返還金	22,111,127		22,434,126		322,998		後期高齢者交付金精算返還金 令和5年度後期高齢者交付金の確定に伴う広域連合からの返還額
5 拠出金事業費返還金	11,827	6,907,146,297	90,997	7,202,449,112	79,169	295,302,815	拠出金事業費返還金 老人保健施設等の整備事業に対して助成金の交付を受けた医療法人等が、事業の廃止、施設の売却などの理由により整備財産の処分を行う場合に発生する助成金の返還決定額
II 業務費用							<b>○ II 業務費用</b>
1 後期高齢者交付金	7,114,442,633		7,232,152,207		117,709,573		後期高齢者交付金 令和6年度概算後期高齢者交付金及び令和5年度追加交付の額
2 出産育児交付金	-		13,172,782		13,172,782		出産育児交付金 令和6年度概算出産育児交付金の額
3 事務費勘定へ繰入	586,019		539,952		▲ 46,066		事務費勘定へ繰入 後期高齢者関係業務に要する費用として事務費勘定へ繰り入れた額
4 後期高齢者支援金精算返還金	1,733	7,115,030,386	2,739	7,245,867,681	1,005	130,837,295	後期高齢者支援金精算返還金 令和4年度後期高齢者支援金の確定に伴い、保険者に還付した額
業務損失		207,884,088		43,418,569		▲ 164,465,519	
(業務外損益の部)							
業務外収益							<b>○ 業務外収益</b>
1 受取利息	8,099		725,954		717,855		受取利息 普通預金利息・定期預金利息
2 有価証券利息	59		-		▲ 59		
3 延滞金収入	509		-		▲ 509		
4 貸倒引当金戻入	617	9,285	431	726,386	▲ 185	717,101	貸倒引当金戻入 令和5年度に計上した貸倒引当金のうちの一部が返還された額
経常損失		207,874,803		42,692,182		▲ 165,182,621	
当期純損失		207,874,803		42,692,182		▲ 165,182,621	
別途積立金取崩額		349,260,647		214,503,257		▲ 134,757,390	<b>別途積立金取崩額</b> 令和4年度支援金精算額(概算支援金の額から確定支援金の額を差し引いた額)に調整金額を加えた額
当期未処分利益		141,385,844		171,811,075		30,425,231	

(注) 当期未処分利益171,811,075千円は、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)第146条第1項の規定により、積立金として整理することとする。

後期高齢者医療特別会計事業費勘定 貸借対照表

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部				令和6事業年度 主要説明事項
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (② - ①)	区 分	② 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	
( 資 産 の 部 )				( 負 債 の 部 )				(資産の部)
I 流 動 資 産				流 動 負 債				○流 動 資 産
1 現金及び預金	439,630,461	391,441,850	▲ 48,188,611	1 未払後期高齢者 交 付 金	574,867,323	595,022,902	20,155,579	現金及び預金 普通預金及び定期預金
2 未収後期高齢者 支 援 金	518,672,997	537,953,787	19,280,790	2 その他の未払金	27,970,916	21,676,306	▲ 6,294,610	未収後期高齢者 支 援 金 納付期限未到来の令和6年度第12期分(令和7年4月7日納期)後期高齢者支援金のうちの未収分
3 未収後期高齢者関係 事 務 費 拠 出 金	30,409	30,038	▲ 371	流 動 負 債 合 計	602,838,239	616,699,208	13,860,969	未収後期高齢者関係 事 務 費 拠 出 金 納付期限未到来の令和6年度第12期分(令和7年4月7日納期)後期高齢者関係事務費拠 出金のうちの未収分
4 未 収 収 益	-	76,978	76,978	負 債 合 計	602,838,239	616,699,208	13,860,969	未 収 収 益 令和7年3月以前に運用を開始し、令和7年4月以降に満期日が到来する大口定期預金のう ち、令和7年3月末日までに発生している利息
流 動 資 産 合 計	958,333,867	929,502,653	▲ 28,831,213	( 資 本 の 部 )				○固 定 資 産
II 固 定 資 産				利 益 剰 余 金				破産更生債権等 経営破綻又は実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権
投資その他の資産				1 別途積立金	214,109,784	140,992,370	▲ 73,117,413	貸 倒 引 当 金 将来発生すると予測される貸し倒れによる損失に備えるために計上した額
破産更生債権等	1,726	1,294	▲ 431	2 当期末処分利益	141,385,844	171,811,075	30,425,231	
貸 倒 引 当 金	▲ 1,726	-	431	利 益 剰 余 金 合 計	355,495,628	312,803,445	▲ 42,692,182	(負債の部)
投資その他の資産合計	-	-	-	資 本 合 計	355,495,628	312,803,445	▲ 42,692,182	○流 動 負 債
固 定 資 産 合 計	-	-	-					未 払 後 期 高 齢 者 交 付 金 交付日未到来の令和6年度第12期分(令和7年4月15日交付)後期高齢者交付金
資 産 合 計	958,333,867	929,502,653	▲ 28,831,213	負 債 ・ 資 本 合 計	958,333,867	929,502,653	▲ 28,831,213	そ の 他 の 未 払 金 令和7年3月31日(年度末営業日)に入金された令和6年度12期分前期高齢者納付金等 (令和7年4月1日移し替え分)

後期高齢者医療特別会計事務費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和 5年4月 1日 至 令和 6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月 1日 至 令和7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
〔経常損益の部〕							〔経常損益の部〕	
(業務損益の部)							(業務損益の部)	
I 業務収益							○ I 業務収益	
事業費勘定からの受入	586,019	586,019	539,952	539,952	▲ 46,066	▲ 46,066	事業費勘定からの受入 後期高齢者医療関係業務に必要な事務費を事業費勘定から受入れ	事業費勘定からの受入 ▲46百万円 老人保健特別会計拠出金事業費勘定から承継した別途積立金からの受入による減
II 業務費用							○ II 業務費用	
1 役員報酬	12,117		12,497		380		役員報酬 常勤役員に対して支給する手当	給与手当 1百万円 職員配置換えの影響による増
2 給与手当	130,754		131,933		1,178		給与手当 職員に対して支給する給料及び諸手当等	賞与引当金繰入額 ▲1百万円 職員配置換えの影響による減
3 賞与	32,061		31,646		▲ 414		賞与 役職員に対して支給する賞与	退職給付費用 ▲26百万円 支弁となる役員の変更による減
4 賞与引当金繰入額	16,545		15,085		▲ 1,460		賞与引当金繰入額 令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月までの費用	法定福利費 ▲2百万円 職員配置換えの影響による減
5 退職給付費用	35,623		9,030		▲ 26,592		退職給付費用 役職員の将来の退職手当及び年金の費用	保守料 1百万円 特定健診収集システムの保守料の増
6 法定福利費	30,853		28,593		▲ 2,260		法定福利費 事業主が負担する健康保険料等	委託費 ▲2百万円 新会計システム等への切替えによる減
7 保守料	36,591		38,132		1,541		保守料 システム機器等の保守料	修繕費 ▲33百万円 高齢者システムの機器更新による減
8 委託費	42,297		40,134		▲ 2,162		委託費 支援金及び交付金算定の機械処理経費等	その他の業務費用 6百万円 租税公課の増
9 修繕費	166,329		132,582		▲ 33,747		修繕費 システム機器の更新費用等	
10 減価償却費用	647		20		▲ 626		減価償却費用 工具器具備品に係る減価償却額	
11 その他の業務費用	32,403	536,224	38,963	478,620	6,559	▲ 57,603	その他の業務費用 租税公課等	
業務利益		49,794		61,332		11,537		
(業務外損益の部)							(業務外損益の部)	
業務外収益							○ 業務外収益	
受取利息	2	2	160	160	158	158	受取利息 預金から生じた受取利息	
経常利益		49,797		61,492		11,695		
〔特別損益の部〕							〔特別損益の部〕	
特別損失							○ 特別損失	
固定資産除却損	-	-	379	379	379	379	固定資産除却損 工具器具備品の廃棄処分による除却損	
当期純利益		49,797		61,113		11,315		
前期繰越損失		226,503		176,706		▲ 49,797		
当期末処理損失		176,706		115,592		▲ 61,113		
<p>(注) 当期末処理損失115,592千円は、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)第146条第2項の規定により繰越欠損金として整理することとする。 (当期末処理損失の要因については、老人保健制度から引き継いだ退職給付債務であり、令和11年度までに解消予定)</p>								

後期高齢者医療特別会計事務費勘定 貸借対照表

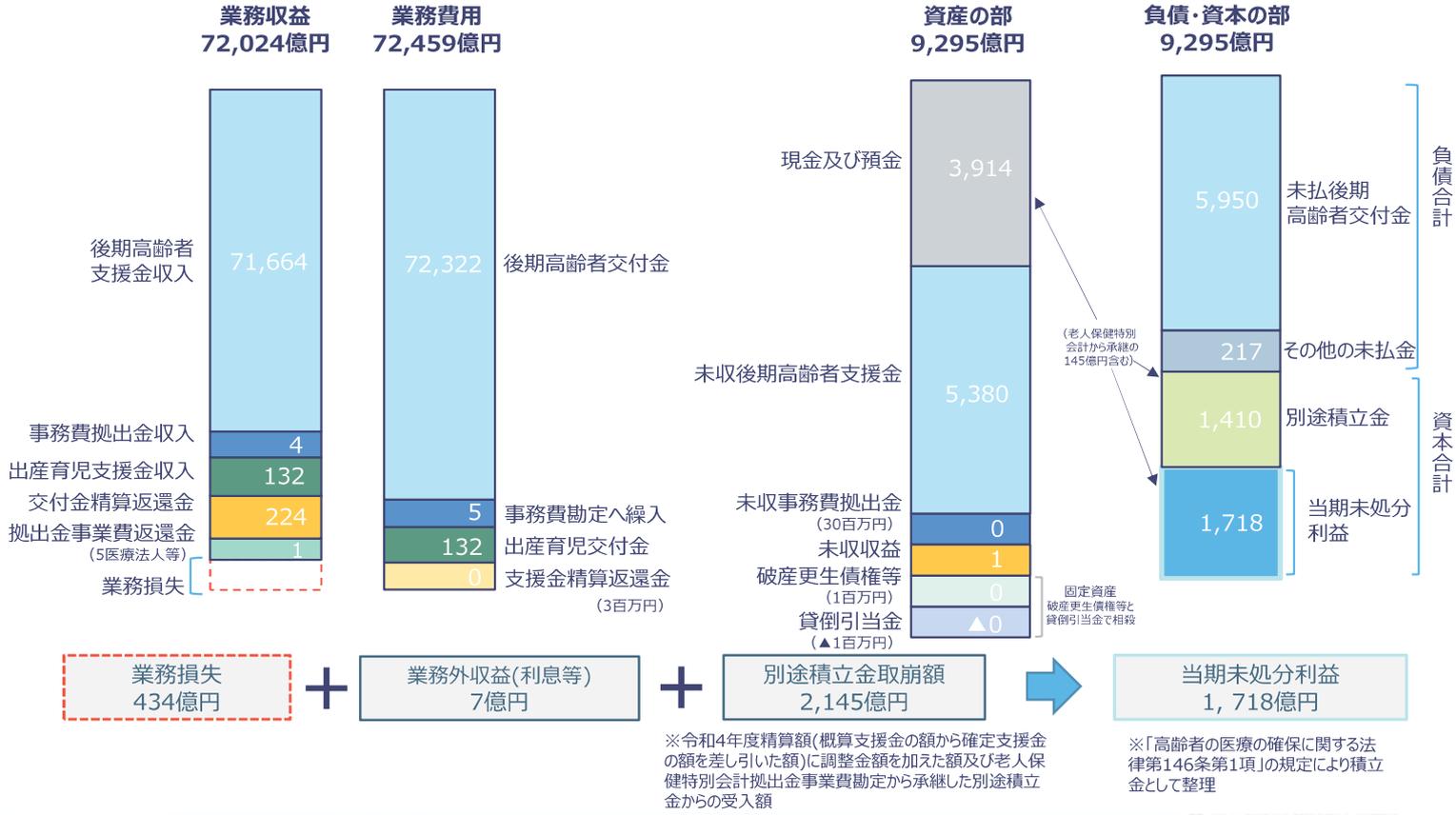
資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等			
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)			② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部)		
I 流動資産				I 流動負債				○ I 流動資産		
1 現金及び預金	437,523	214,285	▲ 223,237	1 未払金	190,578	170,919	▲ 19,658	現金及び預金	▲223百万円 資産の区分変更による減	
2 未収入金	14,352	10,534	▲ 3,818	2 未払費用	2,547	2,247	▲ 300	未収入金	▲3百万円 消費税等還付金	
流動資産合計	451,876	224,820	▲ 227,055	3 預り金	1,536	1,275	▲ 261			
II 固定資産				4 賞与引当金	16,545	15,085	▲ 1,460	○ II 固定資産		
1 有形固定資産				流動負債合計	211,207	189,527	▲ 21,680	退職給付引当資産	▲3百万円の減 サーバーの廃棄による減	
工具器具備品	6,555	2,757	▲ 3,798	II 固定負債				退職給付引当資産	184百万円 資産の区分変更による増	
減価償却累計額	▲ 5,790	▲ 2,392	3,397	退職給付引当金	453,139	415,150	▲ 37,988	別途積立資産	44百万円 資産の区分変更による増	
有形固定資産合計	764	364	▲ 400	固定負債合計	453,139	415,150	▲ 37,988			
2 投資その他の資産				負債合計	664,346	604,677	▲ 59,669	(負債の部)		
(1) 退職給付引当資産	-	184,252	184,252	(資本の部)				○ I 流動負債		
(2) 別途積立資産	-	44,647	44,647	利益剰余金				未払金	▲19百万円 高齢者システムの機器更新費用の減に伴う減	
(3) 敷金・保証金	35,000	35,000	-	当期未処理損失	176,706	115,592	▲ 61,113	未払費用	賞与引当金に計上した令和7年6月期末・勤勉手当の支払債務に係る法定福利費	
投資その他の資産合計	35,000	263,899	228,899	利益剰余金合計	▲ 176,706	▲ 115,592	61,113	預り金	役職員の所得税及び住民税等	
固定資産合計	35,764	264,264	228,499	資本合計	▲ 176,706	▲ 115,592	61,113	賞与引当金	令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月に発生する支払債務	
資産合計	487,640	489,084	1,443	負債・資本合計	487,640	489,084	1,443	○ II 固定負債		
								退職給付引当金	令和7年3月末日における退職給付債務	
									退職給付引当金	▲37百万円 退職給付債務の減

# 後期高齢者医療特別会計 事業費勘定

単位：億円

## 損益計算書

## 貸借対照表



(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。以下について同じ。

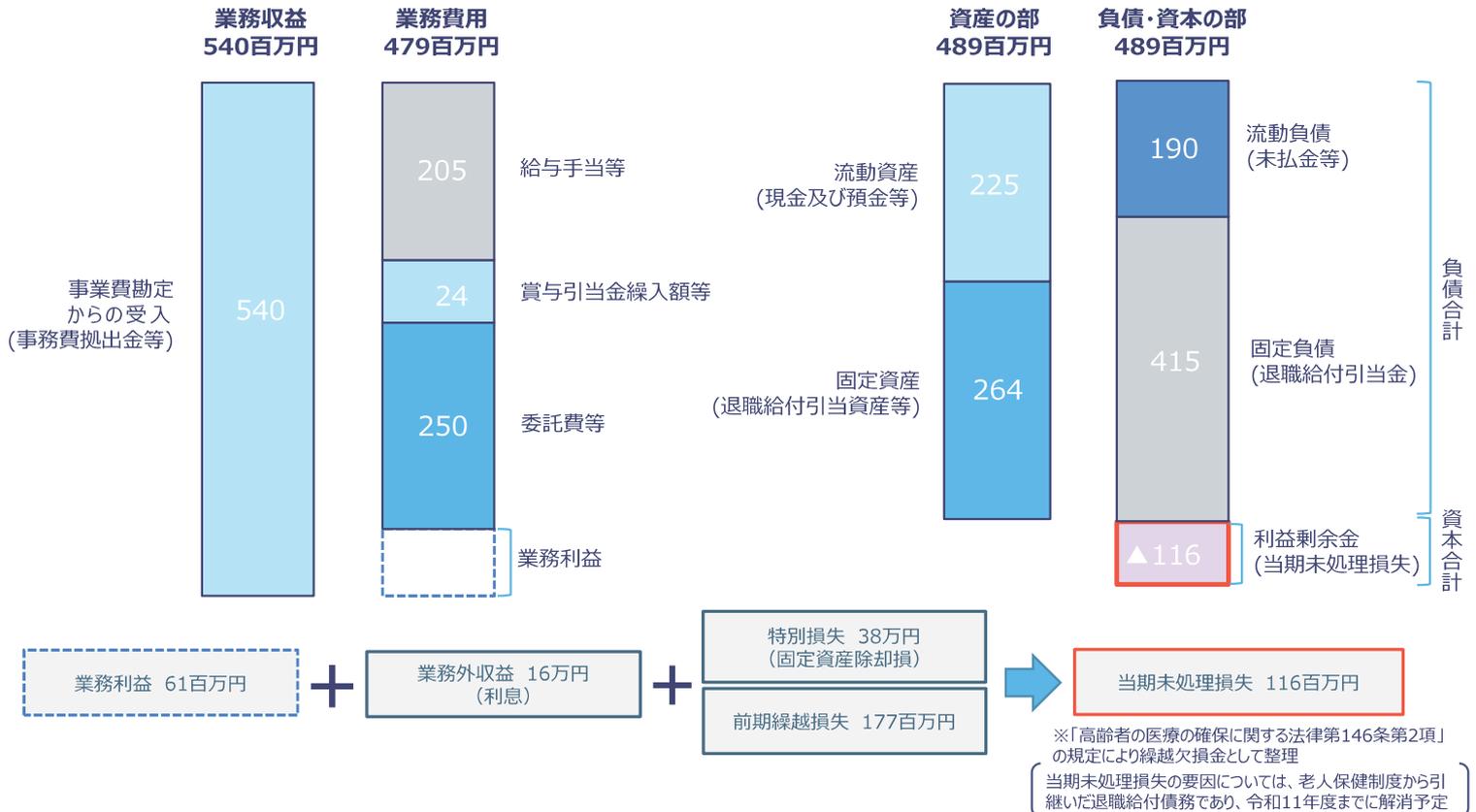
Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 後期高齢者医療特別会計事務費勘定

単位：百万円

## 損益計算書

## 貸借対照表



Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 後期高齢者医療特別会計 事業費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：億円

## 収入

**後期高齢者支援金収入** 7兆1,589億円

- R6 概算支援金額 7兆3,733億円
- R4 支援金精算額等 ▲2,144億円
- R4 支援金精算額・調整金額 ▲2,144億円
- R4 支援金精算返還金 3百万円

**後期高齢者関係事務費拠出金収入**

**出産育児支援金収入**

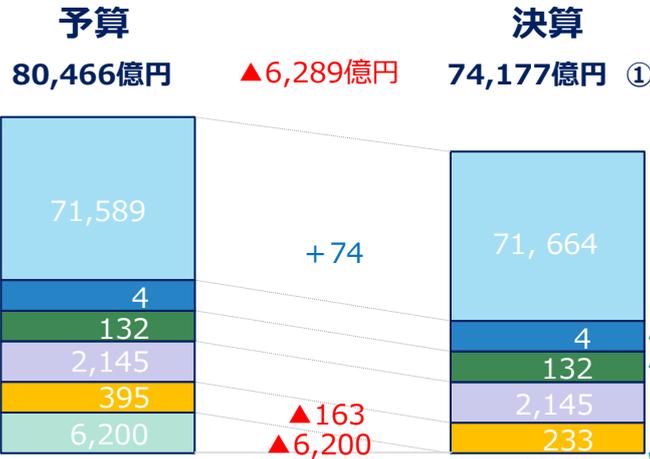
**受入金** (別途積立金取崩額)

- R4 支援金精算額・調整金額 2,144億円
- 老人保健特別会計拠出金事業費勘定から承継した別途積立金からの受入額 (高齢者システムクラウド化) 1億円

**雑収入**

- R5交付金精算返還金 395億円
- 拠出金事業費返還金 1千円
- 利子収入 2千万円

**借入金**



**後期高齢者支援金収入** 7兆1,664億円

- R6 概算支援金額 7兆3,733億円※
- R6 新設保険者分概算支援金額 74億円※
- R4 支援金精算額等 ▲2,144億円
- R4 支援金精算額・調整金額 ▲2,144億円
- R4 支援金精算返還金 3百万円

**後期高齢者関係事務費拠出金収入**

**出産育児支援金収入**

**受入金** (別途積立金取崩額)

- R4 支援金精算額・調整金額 2,144億円
- 老人保健特別会計拠出金事業費勘定から承継した別途積立金からの受入額 (高齢者システムクラウド化) 1億円

**雑収入**

- R5交付金精算返還金 224億円
- 拠出金事業費返還金 1億円
- 利子収入 7億円

## 支出

**後期高齢者交付金** 7兆3,732億円

- R6 概算交付金額 7兆3,732億円
- R5 追加交付額 2千万円

**事務費勘定へ繰入**

- 後期高齢者関係業務に要する事務費 4億円
- 老人保健特別会計拠出金事業費勘定から承継した別途積立金からの受入額 (高齢者システムクラウド化) 1億円

**出産育児交付金**

**諸支支出金**

- R4 支援金精算返還金 3百万円

**予備費**



**後期高齢者交付金** 7兆2,322億円

- R6 概算交付金額 7兆3,732億円※
- R6 変更決定額 (年4回) ▲1,420億円
- R5 追加交付 9億円

**事務費勘定へ繰入**

- 後期高齢者関係業務に要する事務費 4億円
- 老人保健特別会計拠出金事業費勘定から承継した別途積立金からの受入額 (高齢者システムクラウド化) 1億円

**出産育児交付金**

**諸支支出金**

- R4 支援金精算返還金 3百万円

※ 概算支援金額及び概算交付金額は、出産育児交付金及び出産育児支援金の相殺前の金額

(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。以下について同じ。

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 後期高齢者医療特別会計 事務費勘定 収入支出予算と決算内訳

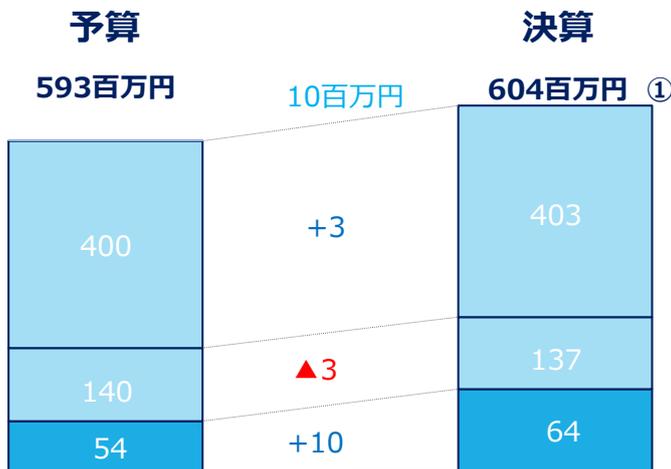
単位：百万円

## 収入

**事業費勘定からの受入** (事務費拠出金) 400

**事業費勘定からの受入** (老人保健特別会計拠出金事業費勘定から承継した別途積立金からの受入) 140

**受入金及び雑収入** 54



事業費勘定からの受入 (+ 3)

加入者数の増

事務費単価 3円90銭

加入者数※ 103,356千人 (+825千人)

(※ 医療保険に加入している、0歳から74歳までの者が対象)

事務費拠出金及び老人保健特別会計拠出金事業費勘定から承継した別途積立金からの受入 (▲ 3)

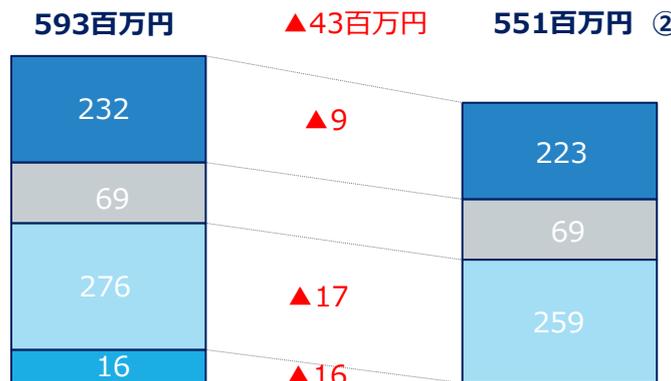
## 支出

**役職員諸給与** 232

**退職給付引当預金への繰入** 69

**管理諸費** 276

**予備費** 16



職員基本給 (▲ 5)

諸手当等 (▲ 4)

システム関連経費 (▲ 10)

その他経常経費 (▲ 7)

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

退職者医療特別会計事業費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔 自 令和 5年4月 1日 至 令和 6年3月31日 〕		② 令和6事業年度 〔 自 令和 6年4月 1日 至 令和 7年3月31日 〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
〔経常損益の部〕 (業務損益の部)							(業務損益の部)
I 業務収益							○ I 業務収益
1 療養給付費等拠出金収入	2		-		▲ 2		
2 事務費拠出金収入	67,643		25,844		▲ 41,799		事務費拠出金収入 退職者医療関係業務に要する費用に係る事務費拠出金の額
3 交付金精算返還金	487,981	555,627	70,223	96,068	▲ 417,757	▲ 459,559	交付金精算返還金 令和5年度療養給付費等交付金に対する保険料相当額等の都道府県からの返還額
II 業務費用							○ II 業務費用
1 療養給付費等交付金	21,010		22		▲ 20,988		療養給付費等交付金 令和5年度療養給付費等交付金に対する保険料相当額等の都道府県に追加交付した額
2 事務費勘定へ繰入	67,643		25,844		▲ 41,799		事務費勘定へ繰入 退職者医療関係業務に要する費用として事務費勘定へ繰り入れた額
3 拠出金精算返還金	3,837,940	3,926,594	541,435	567,302	▲ 3,296,504	▲ 3,359,292	拠出金精算返還金 ・ 令和4年度療養給付費等拠出金の確定に伴い、保険者に還付した額 ・ 令和5年度療養給付費等交付金精算返還金として返還された都道府県からの保険料相当額等を保険者に還付した額
業務損失		3,370,966		471,234		▲ 2,899,732	
(業務外損益の部)							(業務外損益の部)
業務外収益							○ 業務外収益
受取利息	64	64	32	32	▲ 31	▲ 31	受取利息 普通預金利息・定期預金利息
経常損失		3,370,902		471,201		▲ 2,899,700	
当期純損失		3,370,902		471,201		▲ 2,899,700	
別途積立金取崩額		3,842,517		471,234		▲ 3,371,283	別途積立金取崩額 ・ 令和4年度療養給付費等拠出金精算額(概算拠出金の額から確定拠出金の額を差し引いた額) ・ 令和5年度療養給付費等交付金精算額の差(交付金精算返還金額から追加交付金額を差し引いた額)
当期末処分利益		471,615		32		▲ 471,582	
							(注) 当期末処分利益32千円は、全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律(令和5年法律第31号)附則第5条第3項において、なお効力を有するものとされた改正前国民健康保険法附則第19条において準用する高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)第146条第1項の規定により積立金として整理し、権利及び義務については前期高齢者特別会計に承継する。

退職者医療特別会計事業費勘定 貸借対照表

資 産 の 部			資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項		
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)		② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)
(資産の部)	千円	千円	千円	(資本の部)	千円	千円	千円	(資産の部)
流動資産				利益剰余金				○ 流動資産
現金及び預金	473,110	1,909	▲ 471,201	1 別途積立金	1,495	1,876	380	現金及び預金 普通預金
				2 当期末処分利益	471,615	32	▲ 471,582	
				利益剰余金合計	473,110	1,909	▲ 471,201	
流動資産合計	473,110	1,909	▲ 471,201	資本合計	473,110	1,909	▲ 471,201	
資産合計	473,110	1,909	▲ 471,201	資本合計	473,110	1,909	▲ 471,201	

退職者医療特別会計事務費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月 1日〕 〔至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月 1日〕 〔至 令和7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
〔経常損益の部〕							〔経常損益の部〕	
(業務損益の部)							(業務損益の部)	
I 業務収益							○ I 業務収益	
事業費勘定からの受入	67,643	67,643	25,844	25,844	▲ 41,799	▲ 41,799	事業費勘定からの受入 退職者医療関係業務に必要な事務費を事業費勘定から受入れ	事業費勘定からの受入 ▲41百万円 予算定員2名減に伴う事務費拠出金収入の減
II 業務費用							○ II 業務費用	
1 給与手当	14,992		1,695		▲ 13,296		給与手当 職員に対して支給する給料及び諸手当等	給与手当 ▲13百万円 予算定員2名減による減
2 賞与	2,539		-		▲ 2,539		賞与 職員に対して支給する賞与	賞与 ▲2百万円 予算定員2名減による減
3 退職給付費用	15,807		▲ 2,217		▲ 18,025		退職給付費用 職員の将来の退職手当及び年金の費用	退職給付費用 ▲18百万円 退職給付債務の減
4 法定福利費	2,185		-		▲ 2,185		法定福利費 事業主が負担する健康保険料等	法定福利費 ▲2百万円 予算定員2名減による減
5 通信費	717		242		▲ 475		通信費 後納郵便料等	通信費 ▲11百万円 システム運用保守料の減
6 消耗器材費	23		152		129		消耗器材費 コピー用紙等	消耗器材費 ▲11百万円 システム運用保守料の減
7 保守料	13,987		2,008		▲ 11,978		保守料 システム機器の保守料	保守料 ▲6百万円 ノートPC経費等の減
8 委託費	6,854		769		▲ 6,084		委託費 拠出金及び交付金算定の機械処理経費等	委託費 ▲1百万円 委託費等の減に伴う減
9 租税公課	1,597		317		▲ 1,280		租税公課 委託費等にかかる消費税	租税公課 ▲2百万円 予算定員2名減に伴う賃借料等の減
10 減価償却費	534		-		▲ 534		減価償却費 工具器具備品等に係る減価償却額	
11 その他の業務費用	2,306	61,546	0	2,968	▲ 2,306	▲ 58,577	その他の業務費用 保険料	
業務利益		6,097		22,875		16,778		
(業務外損益の部)							(業務外損益の部)	
業務外収益							○ I 業務外収益	
受取利息	2	2	130	130	127	127	受取利息 預金から生じた受取利息	
経常利益		6,099		23,005		16,906		
〔特別損益の部〕							〔特別損益の部〕	
特別損失							○ 特別損失	
固定資産除却損	-	-	348	348	348	348	固定資産除却損 工具器具備品の廃棄処分による除却損	
当期純利益		6,099		22,656		16,557		
前期繰越損失		16,060		9,961		▲ 6,099		
当期末処分利益 (▲当期末処理損失)		▲ 9,961		12,695		22,656		

(注) 全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律(令和5年法律第31号)附則第5条第3項において、なお効力を有するものとされた改正前国民健康保険法附則第19条において準用する高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)第146条第1項の規定により積立金として整理し、権利及び義務については前期高齢者特別会計に承継する。

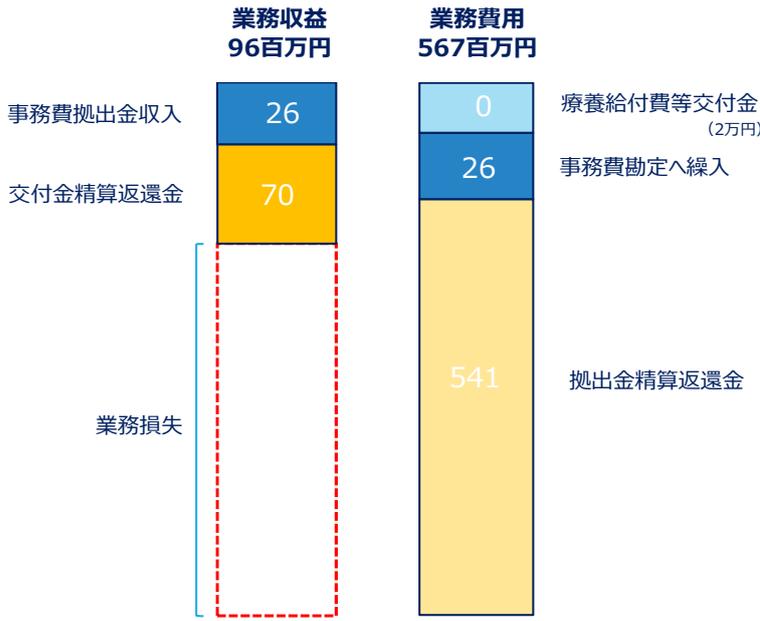
退職者医療特別会計事務費勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等		
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)			② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部)	
I 流動資産				I 流動負債				○ I 流動資産	
1 現金及び預金	235,289	1,099	▲ 234,190	1 未払金	2,981	205	▲ 2,776		現金及び預金 ▲234百万円 資産の区分変更による減
2 未収入金	1,725	-	▲ 1,725	2 預り金	80	-	▲ 80	未収入金 消費税等還付金等	未収入金 ▲1百万円 消費税等還付金の減
流動資産合計	237,014	1,099	▲ 235,915	流動負債合計	3,062	205	▲ 2,857	○ II 固定資産	
II 固定資産				II 固定負債					工具器具備品 ▲3百万円の減 サーバーの廃棄による減
1 有形固定資産				退職給付引当金	244,262	219,763	▲ 24,499	退職給付引当資産 退職給付引当預金の額	退職給付引当資産 230百万円 資産の区分変更による増
工具器具備品	3,488	-	▲ 3,488					別途積立資産 別途積立金の額	別途積立資産 1百万円 資産の区分変更による増
減価償却累計額	▲ 3,139	-	3,139	固定負債合計	244,262	219,763	▲ 24,499		
有形固定資産合計	348	-	▲ 348	負債合計	247,325	219,968	▲ 27,357		
2 投資その他の資産				(資本の部)				○ I 流動負債	
(1) 退職給付引当資産	-	230,070	230,070	利益剰余金				未払金 当年度内に役務の提供を受け 支払が終わっていないもの	未払金 ▲2百万円 制度終了に伴う減
(2) 別途積立資産	-	1,493	1,493	当期末処分利益 (▲当期末処理損失)	▲ 9,961	12,695	22,656	預り金 職員の所得税及び住民税等	
投資その他の資産合計	-	231,564	231,564	利益剰余金合計	▲ 9,961	12,695	22,656		
固定資産合計	348	231,564	231,215	資本合計	▲ 9,961	12,695	22,656	○ II 固定負債	
								退職給付引当金 令和7年3月末日における退職 給付債務	退職給付引当金 ▲24百万円 退職給付債務の減
資産合計	237,363	232,663	▲ 4,700	負債・資本合計	237,363	232,663	▲ 4,700		

# 退職者医療特別会計 事業費勘定

単位：百万円

## 損益計算書



## 貸借対照表



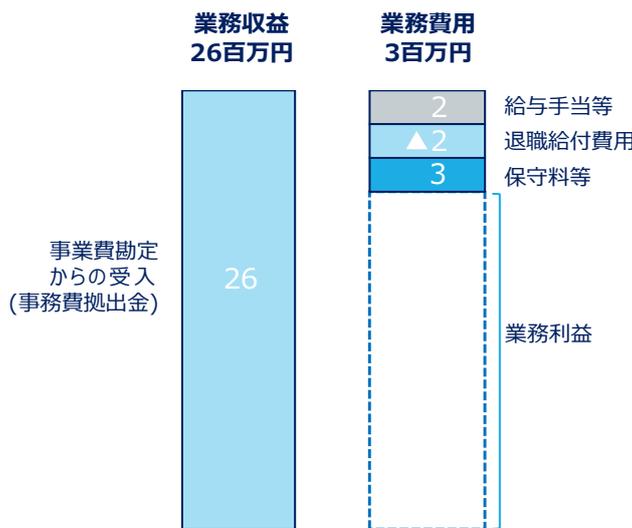
※令和4年度精算額（概算拠出金の額から確定拠出金の額を差し引いた額）に調整金額を加えた額及び令和5年度拠出金精算返還金と交付金精算返還金の差額

※全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律附則第5条第3項において、なお効力を有するものとされた改正前国民健康保険法附則第19条において準用する高齢者の医療の確保に関する法律第146条第1項の規定により積立金として整理し、権利及び義務については前期高齢者特別会計に承継

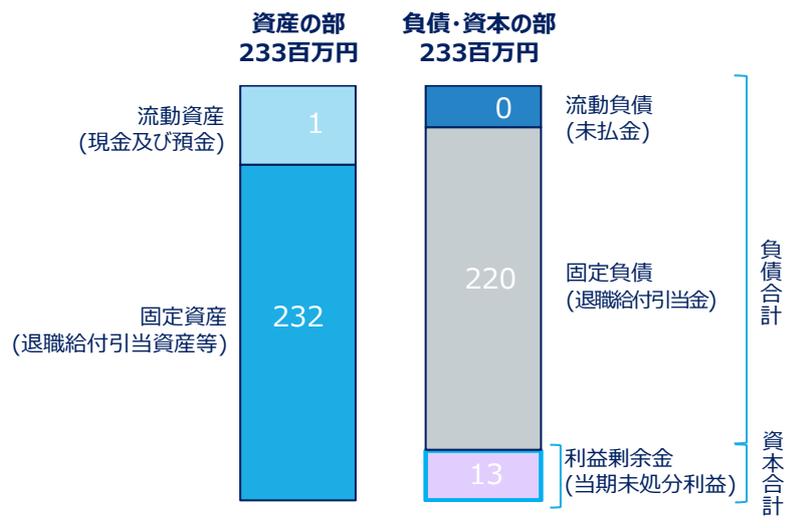
# 退職者医療特別会計事務費勘定

単位：百万円

## 損益計算書



## 貸借対照表



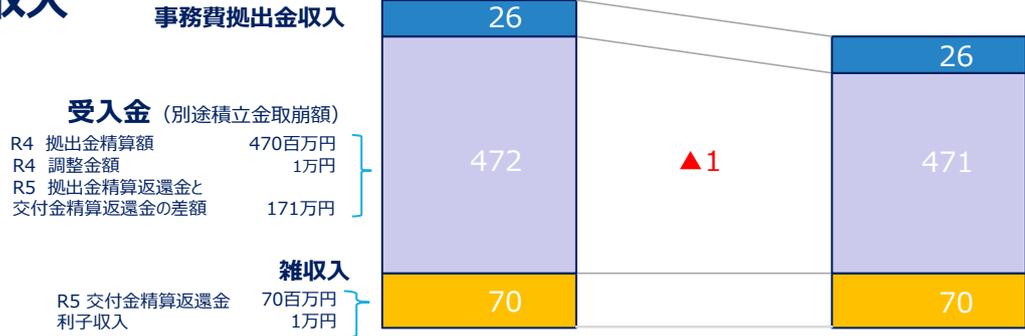
※全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律附則第5条第3項において、なお効力を有するものとされた改正前国民健康保険法附則第19条において準用する高齢者の医療の確保に関する法律第146条第1項の規定により積立金として整理し、権利及び義務については前期高齢者特別会計に承継

# 退職者医療特別会計 事業費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：百万円

① - ② = 収支差 3万円

## 収入



## 事務費拠出金収入

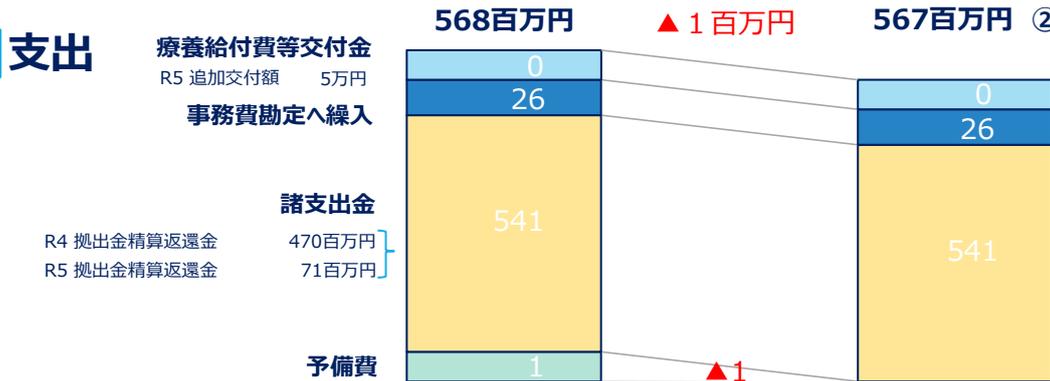
### 受入金 (別途積立金取崩額)

R4 拠出金精算額	470百万円
R4 調整金額	1万円
R5 拠出金精算返還金と 交付金精算返還金の差額	79万円

### 雑収入

R5 交付金精算返還金	70百万円
利子収入	3万円

## 支出



## 療養給付費等交付金

R5 追加交付額	2万円
----------	-----

## 事務費勘定へ繰入

### 諸支出金

R4 拠出金精算返還金	470百万円
R5 拠出金精算返還金	71百万円

### 退職被保険者年度平均人数 ( )内は特定健保再掲

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
概算	21万人 (8千人)	5万人 (504人)	207人	49人	21人	9.7人
確定	14万人 (4千人)	2万人 (241人)	71人	34人	15人	-

(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。以下について同じ。

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金  
Health Insurance Claim Provider & Reimbursement Society

# 退職者医療特別会計事務費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：百万円

( )内数値は対予算差

① - ② = 収支差 1百万円

## 収入



## 支出



システム関連経費 (▲ 1)  
その他経常経費 (▲ 0)

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金  
Health Insurance Claim Provider & Reimbursement Society

介護保険特別会計事業費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和 5年4月 1日 至 令和 6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和 6年4月 1日 至 令和 7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
〔経常損益の部〕							(業務損益の部)
(業務損益の部)							○ I 業務収益
I 業務収益							介護給付費・地域支援事業支援納付金収入 令和6年度概算介護給付費・地域支援事業支援納付金、令和4年度納付金精算額及び調整金額の合計額
1 介護給付費・地域支援事業支援納付金収入	3,140,495,390		3,157,782,713		17,287,323		
2 介護給付費交付金精算返還金	17,733,729		17,688,589		▲ 45,140		介護給付費交付金精算返還金 令和5年度介護給付費交付金の確定に伴う市町村からの返還額
3 地域支援事業支援交付金精算返還金	6,894,450	3,165,123,570	5,761,541	3,181,232,843	▲ 1,132,909	16,109,273	地域支援事業支援交付金精算返還金 令和5年度地域支援事業支援交付金の確定に伴う市町村からの返還額
II 業務費用							○ II 業務費用
1 介護給付費交付金	2,937,817,801		3,049,945,811		112,128,010		介護給付費交付金 令和6年度概算介護給付費交付金及び令和5年度介護給付費交付金の確定に伴う追加交付の合計額
2 地域支援事業支援交付金	96,937,998		98,825,923		1,887,925		地域支援事業支援交付金 令和6年度概算地域支援事業支援交付金及び令和5年度地域支援事業支援交付金の確定に伴う追加交付の合計額
3 介護給付費・地域支援事業支援納付金精算返還金	1,901	3,034,757,701	5,010	3,148,776,745	3,108	114,019,044	
業務利益		130,365,868		32,456,097	▲ 97,909,770		介護給付費・地域支援事業支援納付金精算返還金 令和4年度納付金精算額及び調整金額のうち、医療保険者へ還付した額
(業務外損益の部)							(業務外損益の部)
業務外収益							○ 業務外収益
1 受取利息	11,479		1,596,832		1,585,352		受取利息 普通預金利息・定期預金利息
2 雑収入	24,200	35,680	31,629	1,628,461	7,428	1,592,780	雑収入 過年度(平成30～令和4年度)分の介護給付費交付金及び地域支援事業支援交付金返還額
経常利益		130,401,549		34,084,559	▲ 96,316,989		
当期純利益		130,401,549		34,084,559	▲ 96,316,989		
別途積立金取崩額		426,851,176		514,887,040		88,035,864	別途積立金取崩額 令和4年度介護給付費・地域支援事業支援納付金精算額(概算納付金の額から確定納付金の額を差し引いた額)に調整金額を加えた額
当期未処分利益		557,252,725		548,971,599	▲ 8,281,125		

(注) 当期未処分利益 548,971,599千円は、介護保険法(平成9年法律第123号)第167条第1項の規定により、積立金として整理することとする。

介護保険特別会計事業費勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項		
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)		② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部)
流動資産				流動負債				○流動資産
1 現金及び預金	877,315,239	928,500,696	51,185,456	1 未払介護給付費 交 付 金	54,569,482	77,750,244	23,180,762	現金及び預金 普通預金及び定期預金
2 未収介護給付費・地域 支援事業支援納付金	235,003,387	241,479,189	6,475,802	2 未払地域支援事業支 援 交 付 金	7,070,519	7,666,445	595,926	未収介護給付費・地域 支援事業支援納付金 納付期限未到来の令和6年度第12期分(令和7年4月7日納 期)介護給付費・地域支援事業支援納付金のうちの未収分
3 未 収 収 益	-	199,988	199,988					未 収 収 益 令和7年3月以前に運用を開始し、令和7年4月以降に満期日 が到来する大口定期預金のうち、令和7年3月末日までに発生し ている利息
流動資産合計	1,112,318,626	1,170,179,873	57,861,247	流動負債合計	61,640,001	85,416,689	23,776,688	
				負債合計	61,640,001	85,416,689	23,776,688	(負債の部)
				(資本の部)				○流動負債
				利益剰余金				未払介護給付費 交 付 金 交付日未到来の令和6年度第12期分(令和7年4月18日交付) 介護給付費交付金
				1 別途積立金	493,425,899	535,791,584	42,365,684	
				2 当期末処分利益	557,252,725	548,971,599	▲ 8,281,125	未払地域支援事業 支 援 交 付 金 交付日未到来の令和6年度第12期分(令和7年4月18日交付) 地域支援事業支援交付金
				利益剰余金合計	1,050,678,625	1,084,763,184	34,084,559	
				資本合計	1,050,678,625	1,084,763,184	34,084,559	
資産合計	1,112,318,626	1,170,179,873	57,861,247	負債・資本合計	1,112,318,626	1,170,179,873	57,861,247	

介護保険特別会計事務費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月 1日〕 〔至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月 1日〕 〔至 令和7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
[ 経常損益の部 ]							[ 経常損益の部 ]	
( 業務損益の部 )							( 業務損益の部 )	
I 業務収益							○ I 業務収益	
事務費補助金収入	319,948	319,948	227,856	227,856	▲ 92,092	▲ 92,092	事務費補助金収入 介護保険関係業務の運営に必要な事務費の国庫補助金	事務費補助金収入 ▲92百万円 介護保険システム改修費用の減に伴う減
II 業務費用							○ II 業務費用	
1 事務費補助金精算返納金	6,442		280		▲ 6,162		事務費補助金精算返納金 消費税等還付金等の国への返還金	事務費補助金精算返納金 ▲6百万円 補助金の減に伴う返還金の減
2 給与手当	54,057		59,440		5,383		給与手当 職員に対して支給する給料及び諸手当等	給与手当 5百万円 職員配置換えの影響による増
3 賞与	11,927		13,241		1,313		賞与 職員に対して支給する賞与	賞与 1百万円 支給月数の変更に伴う増
4 賞与引当金繰入額	6,630		6,799		169		賞与引当金繰入額 令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月までの費用	退職給付費用 ▲2百万円 退職給付債務の減
5 退職給付費用	8,281		5,454		▲ 2,827		退職給付費用 職員の将来の退職手当及び年金の費用	法定福利費 1百万円 職員配置換えの影響による増
6 法定福利費	11,382		12,441		1,058		法定福利費 事業主が負担する健康保険料等	使用料及び賃借料 1百万円 新会計システム等への切替えによる増
7 使用料及び賃借料	11,779		12,809		1,029		使用料及び賃借料 使用料及び賃借料等	委託費 ▲82百万円 介護保険システム改修費用の減
8 委託費	178,959		96,814		▲ 82,144		委託費 納付金及び交付金算定の機械処理経費等	租税公課 ▲8百万円 委託費等の減に伴う消費税の減
9 租税公課	19,710		11,489		▲ 8,220		租税公課 委託費等にかかる消費税	その他の業務費用 ▲1百万円 新会計システム等への切替えによる減
10 その他の業務費用	5,020	314,192	3,572	222,344	▲ 1,447	▲ 91,848	その他の業務費用 保守料等	
業務利益		5,755		5,511		▲ 243		
( 業務外損益の部 )							( 業務外損益の部 )	
業務外収益							○ 業務外収益	
受取利息	1	1	81	81	80	80	受取利息 預金から生じた受取利息	
経常利益		5,756		5,593		▲ 163		
[ 特別損益の部 ]							[ 特別損益の部 ]	
特別損失							○ 特別損失	
固定資産除却損	-	-	75	75	75	75	固定資産除却損 工具器具備品の廃棄処分による除却損	
当期純利益		5,756		5,517		▲ 239		
前期繰越損失		19,060		13,303		▲ 5,756		
当期末処理損失		13,303		7,785		▲ 5,517		

(注) 当期末処理損失7,785千円は、介護保険法(平成9年法律第123号)第167条第2項の規定により繰越欠損金として整理することとする。  
(当期末処理損失の要因については、退職給付債務であり、令和7年度までに解消予定)

介護保険特別会計事務費勘定 貸借対照表

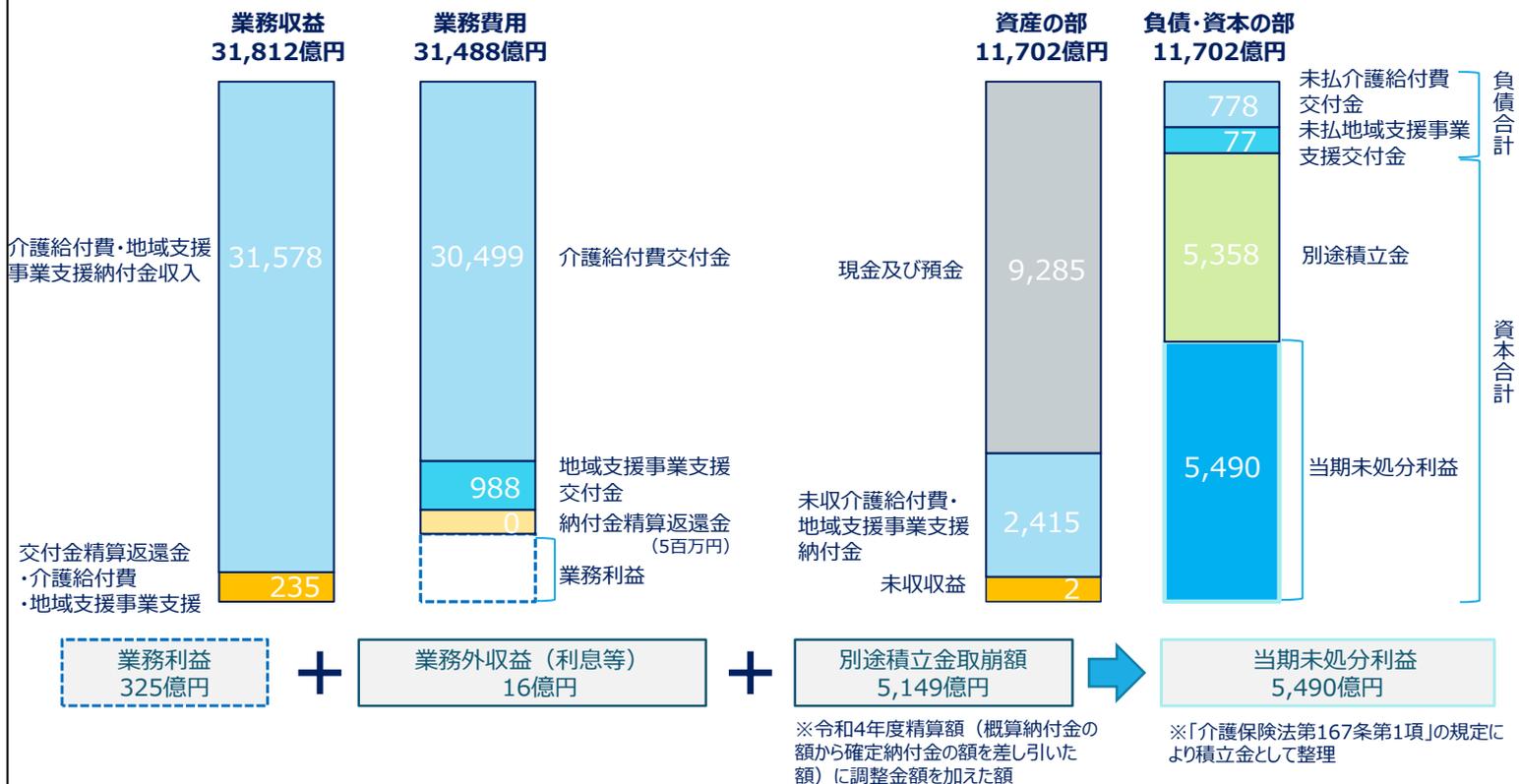
資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部				令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)		
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部)	
I 流動資産				I 流動負債				○ I 流動資産	
1 現金及び預金	110,702	18,661	▲ 92,041	1 未払金	18,069	18,099	29	現金及び預金 ▲92百万円 資産の区分変更による減	
2 未収入金	138	-	▲ 138	2 未払費用	1,021	1,013	▲ 7		
流動資産合計	110,840	18,661	▲ 92,179	3 預り金	472	561	89	○ II 固定資産	
II 固定資産				4 賞与引当金	6,630	6,799	169	退職給付引当資産 退職給付引当預金の額 前払年金費用 年金資産が退職給付債務(年金部分)を超過した場合に資産計上する費用	
1 有形固定資産				流動負債合計	26,193	26,473	279	(負債の部)	
工具器具備品	2,759	2,001	▲ 758	II 固定負債				○ I 流動負債	
減価償却累計額	▲ 2,483	▲ 1,801	682	退職給付引当金	98,226	92,513	▲ 5,713	未払金 当年度内に役務の提供を受け 支払が終わっていないもの	
有形固定資産合計	275	200	▲ 75	固定負債合計	98,226	92,513	▲ 5,713	未払費用 賞与引当金に計上した令和7年 6月期末・勤勉手当の支払債務 に係る法定福利費	
2 投資その他の資産				負債合計	124,420	118,986	▲ 5,434	預り金 職員の所得税及び住民税等	
(1) 退職給付引当資産	-	92,224	92,224	(資本の部)				賞与引当金 令和7年6月期末・勤勉手当に 係る令和6年12月から令和7年3 月に発生する支払債務	
(2) 前払年金費用	-	114	114	利益剰余金				○ II 固定負債	
投資その他の資産合計	-	92,339	92,339	当期末処理損失	13,303	7,785	▲ 5,517	退職給付引当金 令和7年3月末日における退職 給付債務	
固定資産合計	275	92,539	92,263	利益剰余金合計	▲ 13,303	▲ 7,785	5,517	退職給付引当金 ▲5百万円 退職給付債務の減	
				資本合計	▲ 13,303	▲ 7,785	5,517		
資産合計	111,116	111,200	83	負債・資本合計	111,116	111,200	83		

# 介護保険特別会計事業費勘定

単位：億円

## 損益計算書

## 貸借対照表



(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。以下について同じ。

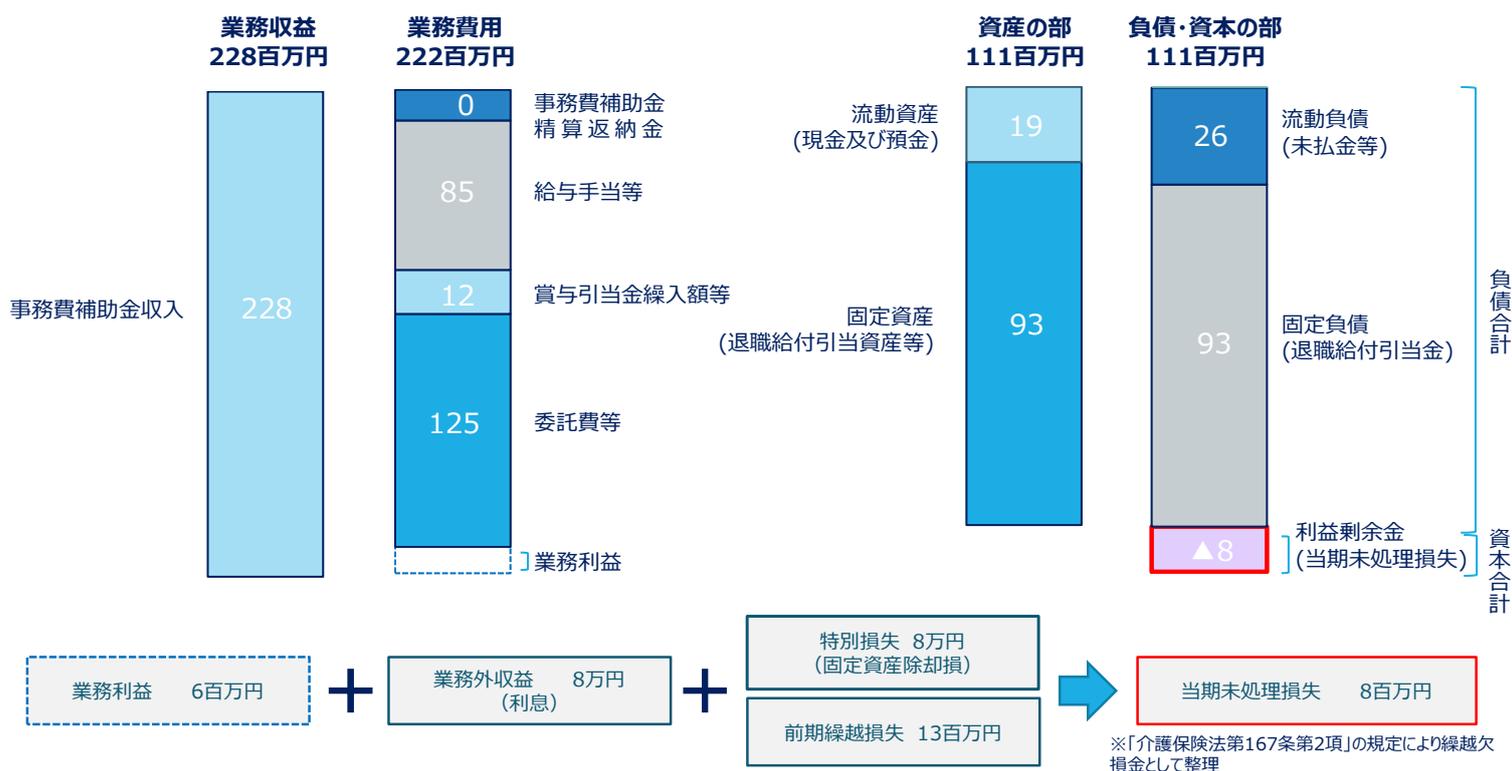
Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 介護保険特別会計事務費勘定

単位：百万円

## 損益計算書

## 貸借対照表



Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 介護保険特別会計事業費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：億円

## 収入

介護給付費・地域支援  
事業支援納付金収入 3兆1,540億円

R6 概算納付金額 3兆6,689億円  
R4 納付金精算額等 ▲5,149億円  
R4 納付金精算額・調整金額 ▲5,149億円  
R4 納付金精算返還金 5百万円

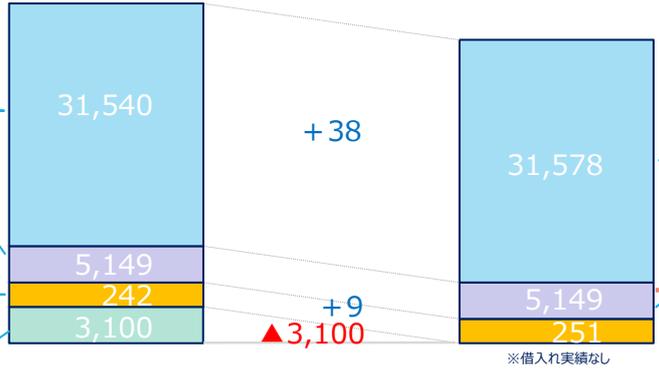
受入金（別途積立金取崩額）  
R4 納付金精算額・調整金額

雑収入  
R5 介護交付金精算返還金 164億円  
R5 地域交付金精算返還金 77億円  
利子収入 0.8億円

借入金

予算 40,031億円 ▲3,053億円 決算 36,977億円 ①

① - ② = 収支差 5,490億円



介護給付費・地域支援  
事業支援納付金収入 3兆1,578億円

R6 概算納付金額 3兆6,689億円  
R6 新設保険者分概算納付金額 38億円  
R4 納付金精算額等 ▲5,149億円  
R4 納付金精算額・調整金額 ▲5,149億円  
R4 納付金精算返還金 5百万円

受入金（別途積立金取崩額）  
R4 納付金精算額・調整金額

雑収入  
R5 介護交付金精算返還金額 177億円  
R5 地域交付金精算返還金額 58億円  
利子収入 16億円  
過年度返還金 0.3億円

## 支出

介護給付費交付金 3兆5,607億円

R6 概算交付金額 3兆5,575億円  
R5 追加交付額 32億円

地域支援事業支援交付金 1,115億円

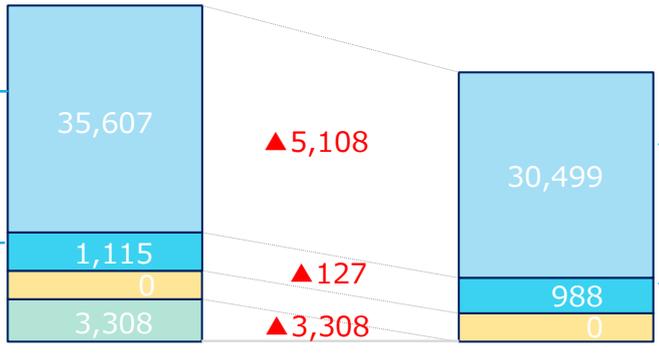
R6 概算交付金額 1,114億円  
R5 追加交付額 2億円

諸支出金

R4 納付金精算返還金 5百万円

予備費

予算 40,031億円 ▲8,543億円 決算 31,488億円 ②



介護給付費交付金 3兆499億円

R6 概算交付金額 3兆5,575億円  
R6 変更決定額 ▲5,146億円  
R5 追加交付額 71億円

地域支援事業支援交付金 988億円

R6 概算交付金額 1,013億円 ※  
R6 変更決定額 ▲26億円  
R5 追加交付額 2億円

諸支出金

R4 納付金精算返還金 5百万円

※ 地域支援事業支援交付金の概算交付金額の決算額は（1,013億円）は、市町村から厚生労働省に報告（報告期限3月15日）された額を基に決定しているため、予算額（1,114億円）より101億円減

（注） 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。以下について同じ。

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 介護保険特別会計事務費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：百万円

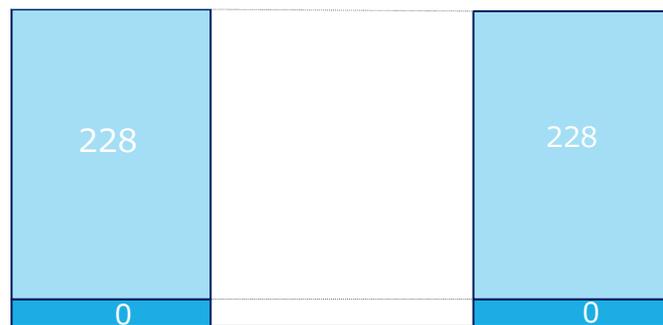
## 収入

介護保険業務補助金

雑収入

予算 228百万円 0百万円 決算 228百万円 ①

① - ② = 収支差 0百万円



## 支出

職員諸給与

退職給付引当預金への繰入

管理諸費

予備費

予算 228百万円 ▲0百万円 決算 228百万円 ②



システム関連経費 (▲ 2)  
その他経常経費 ( 2)

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

認可事業特別会計特定健診等決済代行業務費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月 1日〕 〔至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月 1日〕 〔至 令和7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項																
	千円	千円	千円	千円	千円	千円																	
〔経常損益の部〕							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>【事業の概要】</b>                      「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく事業として、保険者からの委託を受けて特定健診・保健指導の費用決済及びデータ授受等に係る代行業務を行っている。(平成20年4月から事業開始)                 </div> <p>〔経常損益の部〕                      (業務損益の部)                      I 業務収益</p> <p>1 特定健診等費用収入 : 取扱件数の増</p> <p>2 事務費収入 : 取扱件数の増</p> <p>「事務費収入」</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>差引増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務費単価(税抜き)</td> <td>140.00円</td> <td>140.00円</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>取扱件数</td> <td>1,541千件</td> <td>1,558千件</td> <td>17千件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>215,837千円</td> <td>218,252千円</td> <td>2,414千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>II 業務費用</p> <p>1 特定健診等費用支出</p> <p>2 給与手当 }                      3 賞与 } 635千円 人事院勧告による増 1,411千円                      4 賞与引当金繰入額 } 住居手当等の減 ▲776千円                      6 法定福利費</p> <p>8 その他の業務費用 : 郵便料金値上げによる配送経費等の増</p> <p>(注) 当期末処分利益115,199千円は、次期に繰越すこととする。</p>	区分	令和5年度	令和6年度	差引増減額	事務費単価(税抜き)	140.00円	140.00円	-	取扱件数	1,541千件	1,558千件	17千件	計	215,837千円	218,252千円	2,414千円
区分	令和5年度	令和6年度	差引増減額																				
事務費単価(税抜き)	140.00円	140.00円	-																				
取扱件数	1,541千件	1,558千件	17千件																				
計	215,837千円	218,252千円	2,414千円																				
I 業務収益																							
1 特定健診等費用収入	11,851,110		11,995,077		143,966																		
2 事務費収入	215,837	12,066,948	218,252	12,213,329	2,414	146,381																	
II 業務費用																							
1 特定健診等費用支出	11,851,110		11,995,077		143,966																		
2 給与手当	29,254		29,232		▲ 21																		
3 賞与	6,146		6,438		291																		
4 賞与引当金繰入額	3,055		3,414		359																		
5 退職給付費用	4,327		3,318		▲ 1,009																		
6 法定福利費	5,880		5,887		6																		
7 減価償却費	6,829		6,829		-																		
8 その他の業務費用	170,553	12,077,157	190,271	12,240,468	19,718	163,311																	
業務損失		10,208		27,139		16,930																	
(業務外損益の部)																							
業務外収益																							
受取利息	1	1	56	56	55	55																	
経常損失		10,207		27,082		16,875																	
当期純損失		10,207		27,082		16,875																	
前期繰越利益		152,490		142,282		▲ 10,207																	
当期末処分利益		142,282		115,199		▲ 27,082																	

認可事業特別会計特定健診等決済代行事業費勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項				
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)			
	千円	千円	千円		千円	千円	千円			
<b>(資産の部)</b>				<b>(負債の部)</b>				<b>(資産の部)</b>		
<b>I 流動資産</b>				<b>I 流動負債</b>				<b>I 流動資産</b>		
1 現金及び預金	177,724	30,471	▲ 147,252	1 未払特定健診等費用	1,073,068	1,108,379	35,310	1 現金及び預金		
2 未収特定健診等費用	1,072,677	1,108,165	35,487	2 過請求特定健診等費用	520	353	▲ 167			
3 未収事務費	21,481	22,221	740	3 未払金	28,803	35,643	6,839			
4 過払特定健診等費用	520	353	▲ 167	4 未払費用	470	508	38			
5 その他の未収入金	20	-	▲ 20	5 未払消費税等	4,968	3,556	▲ 1,412			
				6 預り金	238	223	▲ 14	2 未収特定健診等費用	: 令和7年2月実施分に係る取扱件数の増	
流動資産合計	1,272,424	1,161,212	▲ 111,212	7 仮受金	1,952	2,020	67	3 未収事務費	: 令和7年2月実施分に係る取扱件数の増	
				8 賞与引当金	3,055	3,414	359			
<b>II 固定資産</b>				流動負債合計			1,113,077	1,154,098	41,020	
1 有形固定資産				<b>II 固定負債</b>				<b>II 固定資産</b>		
工具器具備品	301	301	-	退職給付引当金	38,033	41,198	3,165	2 無形固定資産		
減価償却累計額	▲ 271	▲ 271	-	固定負債合計			38,033	41,198	3,165	
有形固定資産合計	30	30	-	負債合計			1,151,111	1,195,297	44,186	
				<b>(資本の部)</b>				<b>(負債の部)</b>		
2 無形固定資産				<b>利益剰余金</b>				<b>I 流動負債</b>		
ソフトウェア	19,918	13,089	▲ 6,829	当期末処分利益	142,282	115,199	▲ 27,082	1 未払特定健診等費用		
無形固定資産合計	19,918	13,089	▲ 6,829	利益剰余金合計			142,282	115,199	▲ 27,082	
3 投資その他の資産				資本合計			142,282	115,199	▲ 27,082	
退職給付引当資産	-	41,032	41,032	負債・資本合計			1,293,393	1,310,497	17,103	
別途積立資産	-	25,157	25,157							
システム機器更新等経費積立資産	-	68,835	68,835							
前払年金費用	1,020	1,140	119							
投資その他の資産合計	1,020	136,165	135,144							
固定資産合計	20,968	149,284	128,315							
資産合計	1,293,393	1,310,497	17,103							

「現金及び預金」 (単位:千円)

項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額
剰余金	65,864	10,699	▲ 55,164
機器更新経費積立金	58,500	-	▲ 58,500
退職給付引当預金	38,103	-	▲ 38,103
未払資金等	15,256	19,772	4,516
計	177,724	30,471	▲ 147,252

※目的別積立預金については、R6より「I 流動資産」の「1 現金及び預金」から「II 固定資産」の「3 投資その他の資産」に計上

未払金の内訳 (単位:千円)

項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額
業務システム関連経費	25,181	30,237	5,056
超過勤務手当・その他業務費用	3,621	5,405	1,783
計	28,803	35,643	6,839

認可事業特別会計被扶養者情報通知經由事業費勘定 損益計算書

区分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月1日〕 〔至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月1日〕 〔至 令和7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
〔経常損益の部〕							〔経常損益の部〕	
(業務損益の部)							(業務損益の部)	
I 業務収益							○ I 業務収益	
事務委託費収入	33,751	33,751	32,298	32,298	▲ 1,452	▲ 1,452	事務委託費収入 後期高齢者医療広域連合からの事務費手数料	事務委託費収入 ▲1百万円 取扱件数の減
II 業務費用							○ II 業務費用	
1 給与手当	5,182	4,874	4,874	4,874	▲ 308	▲ 308	給与手当 職員に対して支給する給料及び諸手当等	
2 賞与	1,017	1,190	1,190	1,190	172	172	賞与 職員に対して支給する賞与	
3 賞与引当金繰入額	559	293	293	293	▲ 266	▲ 266	賞与引当金繰入額 令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月までの費用	
4 退職給付費用	1,105	566	566	566	▲ 539	▲ 539	退職給付費用 職員の将来の退職手当及び年金の費用	
5 法定福利費	1,148	1,001	1,001	1,001	▲ 147	▲ 147	法定福利費 事業主が負担する健康保険料等	
6 通信費	1,069	1,251	1,251	1,251	181	181	通信費 後納郵便料等	
7 委託費	10,109	8,896	8,896	8,896	▲ 1,212	▲ 1,212	委託費 被扶養者データ提供電子媒体作成経費等	委託費 ▲1百万円 システム運用経費の減
8 その他の業務費用	1,887	22,080	1,524	19,598	▲ 362	▲ 2,482	その他の業務費用 使用料及び賃借料等	
業務利益		11,670		12,700		1,029		
(業務外損益の部)							(業務外損益の部)	
業務外収益							○ 業務外収益	
受取利息	0	0	38	38	38	38	受取利息 預金から生じた受取利息	
経常利益		11,671		12,738		1,067		
当期純利益		11,671		12,738		1,067		
前期繰越利益		31,744		43,415		11,671		
当期末処分利益		43,415		56,154		12,738		

(注) 当期末処分利益56,154千円は、次期に繰越すこととする。

認可事業特別会計被扶養者情報通知經由事業費勘定 貸借対照表

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部				令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等
区 分	① 平成5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 平成5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)		
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部)	
I 流動資産				I 流動負債				○ I 流動資産	
1 現金及び預金	64,338	4,495	▲ 59,843	1 未払金	1,607	1,314	▲ 293	現金及び預金 ▲59百万円 資産の区分変更による減	
2 その他の未収入金	3	0	▲ 2	2 未払費用	86	43	▲ 42	その他の未収入金 労働保険料精算金	
流動資産合計	64,341	4,495	▲ 59,846	3 未払消費税等	2,075	2,098	23		
II 固定資産				4 預り金	9	40	31	○ II 固定資産	
投資その他の資産				5 賞与引当金	559	293	▲ 266	退職給付引当資産 退職給付引当預金の額	
(1) 退職給付引当資産	-	16,994	16,994	流動負債合計	4,337	3,790	▲ 546	財政安定化資産 財政安定化のための額	
(2) 財政安定化資産	-	37,883	37,883	II 固定負債				別途積立資産 別途積立金の額	
(3) 別途積立資産	-	976	976	退職給付引当金	16,588	17,158	569	システム機器更新等経費積立資産 システム機器更新等の経費積立額	
(4) システム機器更新等経費積立資産	-	16,697	16,697	固定負債合計	16,588	17,158	569	前払年金費用 年金資産が退職給付債務(年金部分)を超過した場合に資産計上する費用	
(5) 前払年金費用	-	56	56	負債合計	20,926	20,949	22	(負債の部)	
投資その他の資産合計	-	72,608	72,608	(資本の部)				○ I 流動負債	
固定資産合計	-	72,608	72,608	利益剰余金				未払金 当年度内に役務の提供を受け支払が終わっていないもの	
				当期未処分利益	43,415	56,154	12,738	未払費用 賞与引当金に計上した令和7年6月期末・勤勉手当の支払債務に係る法定福利費	
				利益剰余金合計	43,415	56,154	12,738	未払消費税等 令和6年度消費税及び地方消費税の精算額	
				資本合計	43,415	56,154	12,738	預り金 職員の所得税及び住民税等	
								賞与引当金 令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月に発生する支払債務	
								○ II 固定負債	
								退職給付引当金 令和7年3月末日における退職給付債務	
資産合計	64,341	77,103	12,761	負債・資本合計	64,341	77,103	12,761		

認可事業特別会計特別保健福祉事業費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月 1日 至 令和7年3月31日〕		③ 増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
〔経常損益の部〕 (業務損益の部)								
I 業務収益							○ I 業務収益	
1 高齢者医療制度円滑 運営事業費補助金収入	616,471		185,434		▲ 431,037		高齢者医療制度円滑 運営費補助金収入	▲431百万円 システム改修規模の縮小に伴う減
2 高齢者医療運営円滑化 等補助金収入	1,075,705		552,407		▲ 523,298		高齢者医療円滑化 運営費補助金収入	▲523百万円 システム改修規模の縮小に伴う減
3 医療施設運営費等 補助金収入	731,904		111,770		▲ 620,134		医療施設運営費等 補助金収入	▲620百万円 システム改修規模の縮小に伴う減
4 審査支払関係業務費 補助金収入	10,661	2,434,741	47,049	896,660	36,388	▲ 1,538,081	審査支払関係業務費 補助金収入	36百万円 システム改修規模の拡大に伴う増
II 業務費用							○ II 業務費用	
1 高齢者医療運営円滑化等 補助金精算返納金	6,586		77,862		71,276		高齢者医療円滑化運営 費補助金精算返納金	71百万円 改修規模の縮小に伴う返納金の増
2 医療施設運営費等 補助金精算返納金	115,397		24,592		▲ 90,805		医療施設運営費等 補助金精算返納金	▲90百万円 過年度の返納金の増
3 審査支払関係業務費 補助金精算返納金	15		829		814		審査支払関係業務費 補助金精算返納金	
4 給与手当	7,357		4,702		▲ 2,654		給与手当	▲2百万円 改修規模の縮小に伴う人件費の減
5 法定福利費	1,062		723		▲ 339		法定福利費	
6 租税公課	209,483		71,631		▲ 137,852		租税公課	▲137百万円 システム改修費用の減に伴う消費税の減
7 減価償却費	269,431		740,858		471,427		減価償却費	471百万円 ソフトウェアによる増
8 修繕費	229,449		398,857		169,407		修繕費	169百万円 システム改修費用の増
9 その他の業務費用	62,505	901,288	22,710	1,342,766	▲ 39,795	441,478	その他の業務費用	▲39百万円 クラウド利用料の減
業務利益 (▲業務損失)		1,533,452		▲ 446,106		▲ 1,979,559		
経常利益 (▲経常損失)		1,533,452		▲ 446,106		▲ 1,979,559		
当期純利益 (▲当期純損失)		1,533,452		▲ 446,106		▲ 1,979,559		
前期繰越利益		2,531,887		4,065,340		1,533,452		
当期末処分利益		4,065,340		3,619,233		▲ 446,106	(注) 当期末処分利益3,619,233千円は、次期に繰越すこととする。	

認可事業特別会計特別保健福祉事業費勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等		
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)			② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 増(▲)減額 (②-①)
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部)	
I 流動資産				I 流動負債				○ I 流動資産	
1 現金及び預金	2,253,064	312,488	▲ 1,940,575	1 未払特別事業 助成費返還金	79	112	32	未収特別事業 助成費返還金	保健施設等に対し返還を求めた特別 事業助成費の収入未済額
2 未収特別事業 助成費返還金	32	32	-	2 未 払 金	2,240,207	267,692	▲ 1,972,514	立 替 金	他会計への立替金
3 立 替 金	-	64,775	64,775	3 その他の未払金	6,601	103,283	96,682		
流動資産合計	2,253,097	377,297	▲ 1,875,800	流動負債合計	2,246,887	371,087	▲ 1,875,800		
II 固定資産				II 固定負債				○ II 固定資産	
1 有形固定資産				長期未払金	6,307	6,275	▲ 32	工具器具備品	特定健診等関連システム
工具器具備品	3,002	3,002	-	固定負債合計	6,307	6,275	▲ 32	ソフトウェア	突合点検結果連絡書電子化に係る プログラム
減価償却累計額	▲ 2,702	▲ 2,702	-	負債合計	2,253,195	377,362	▲ 1,875,832	ソフトウェア	制作途中にある訪問看護レセプト電 子化に係るプログラム
有形固定資産合計	300	300	-	(資本の部)				仮 勘 定	1年を越える未収入金
2 無形固定資産				利益剰余金				長期未収入金	1年を越える未収入金
(1) ソフトウェア	1,676,642	3,618,933	1,942,291	当期未処分利益	4,065,340	3,619,233	▲ 446,106		
(2) ソフトウェア仮勘定	2,388,397	-	▲ 2,388,397	利益剰余金合計	4,065,340	3,619,233	▲ 446,106	○ 流動負債	
無形固定資産合計	4,065,040	3,618,933	▲ 446,106	資本合計	4,065,340	3,619,233	▲ 446,106	未払特別事業 助成費返還金	保健施設等に対し返還を求めた特別 事業助成費に係る国への支払未済 額
3 投資その他の 資産								未 払 金	当年度内に役務の提供を受け支払 が終わっていないもの
長期未収入金	97	65	▲ 32					そ の 他 の 未 払 金	高齢者医療運営円滑化等補助金等 の剰余分に係る国への支払未済額
投資その他の資産 合計	97	65	▲ 32					長 期 未 払 金	1年を越える未払金
固定資産合計	4,065,438	3,619,299	▲ 446,139						
資産合計	6,318,535	3,996,596	▲ 2,321,939	負債・資本合計	6,318,535	3,996,596	▲ 2,321,939		

現金及び預金 ▲1,940百万円  
未払金の減に伴う減

ソフトウェア 1,942百万円  
流行初期医療確保措置に係るシス  
テム開発等による増

ソフトウェア ▲2,388百万円  
仮勘定 システム開発に伴う減

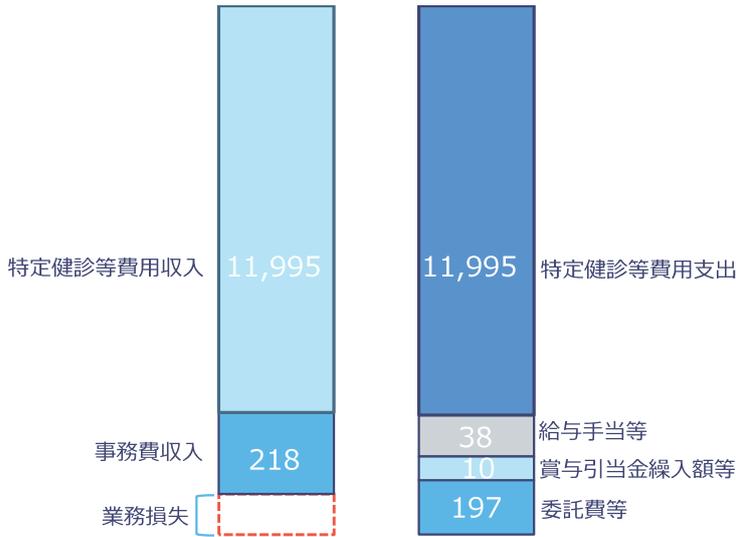
未払金 ▲1,972百万円  
システム改修費用の減

# 認可事業特別会計 特定健診等決済代行事業費勘定

単位：百万円

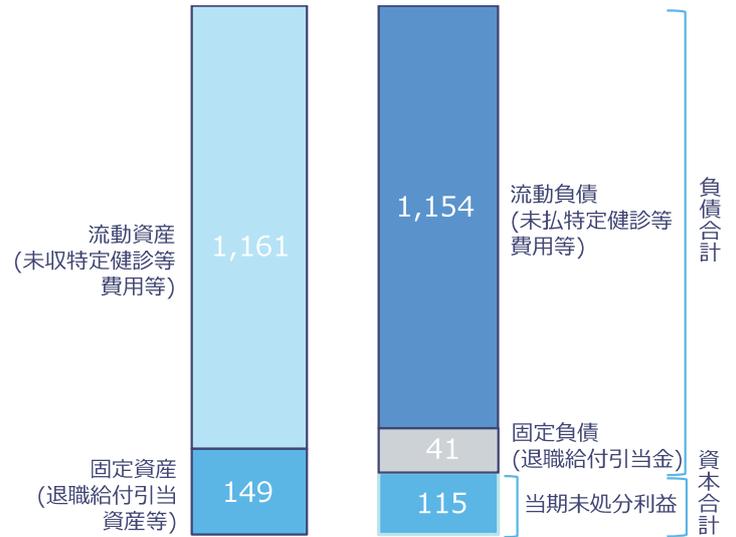
## 損益計算書

業務収益 12,213百万円  
業務費用 12,240百万円



## 貸借対照表

資産の部 1,310百万円  
負債・資本の部 1,310百万円



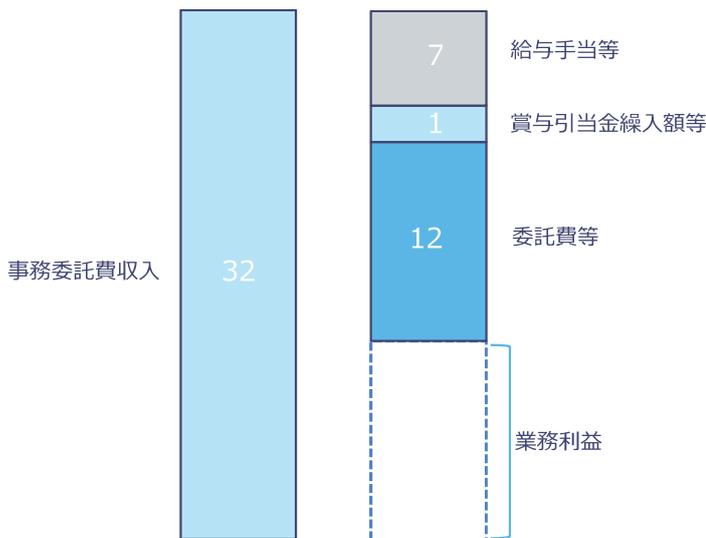
(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。以下について同じ。

# 認可事業特別会計 被扶養者情報通知経由事業費勘定

単位：百万円

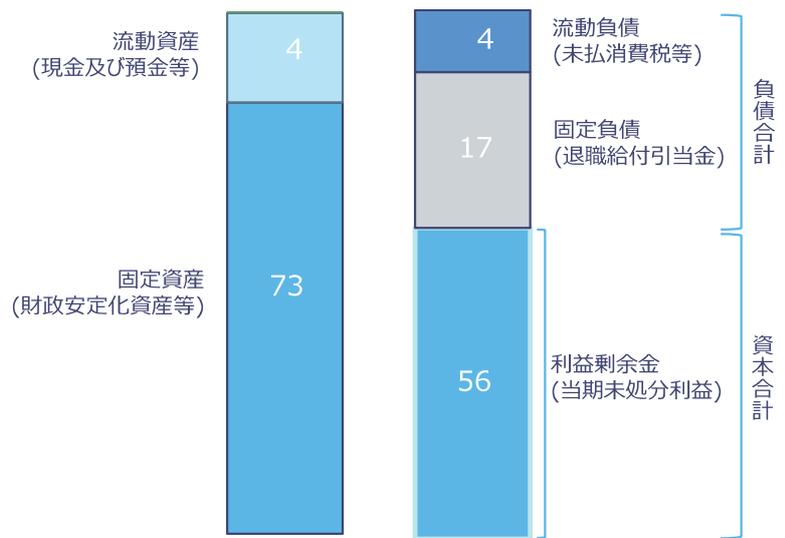
## 損益計算書

業務収益 32百万円  
業務費用 20百万円



## 貸借対照表

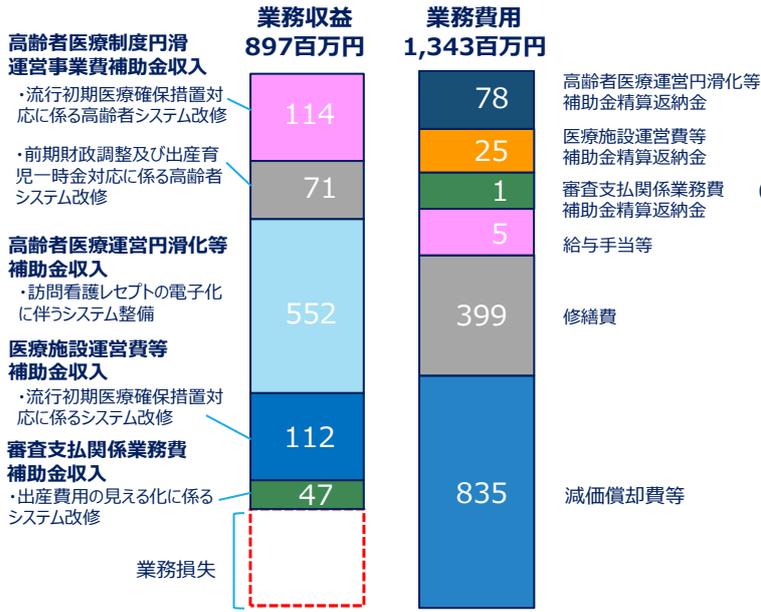
資産の部 77百万円  
負債・資本の部 77百万円



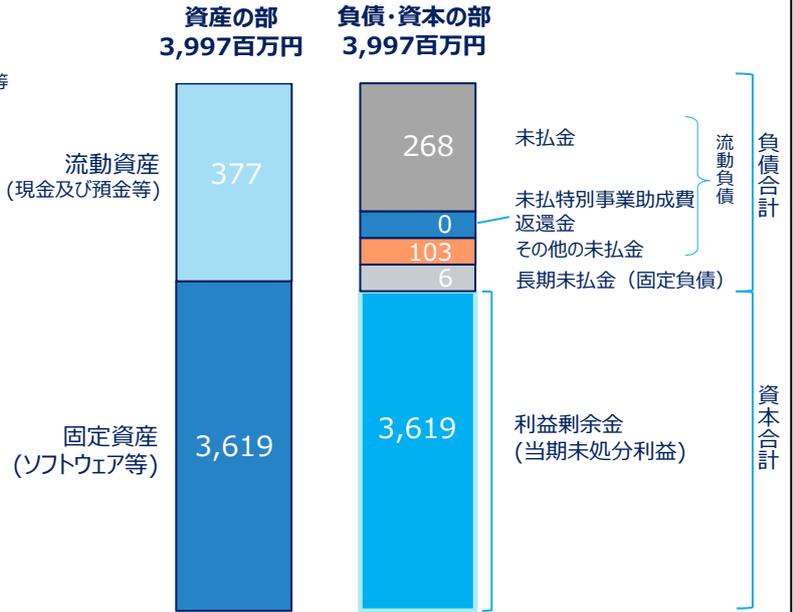
# 認可事業特別会計 特別保健福祉事業費勘定

単位：百万円

## 損益計算書



## 貸借対照表



業務損失 446百万円
 + 
 前期繰越利益 4,065百万円
 → 
 当期末処分利益 3,619百万円

※次期に繰越し

# 認可事業特別会計 特定健診等決済代行事業費勘定 収入支出予算と決算内訳

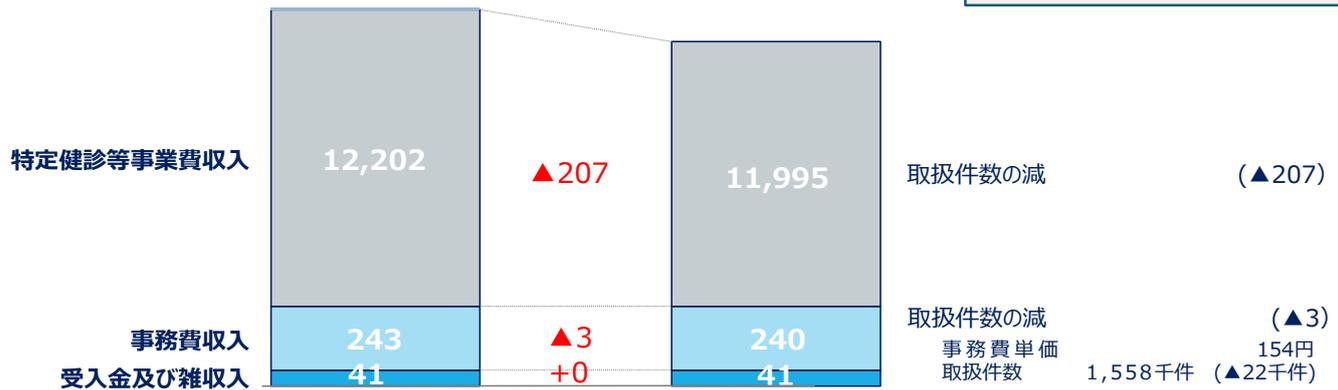
単位：百万円

( ) 内数値は対予算差

## 収入

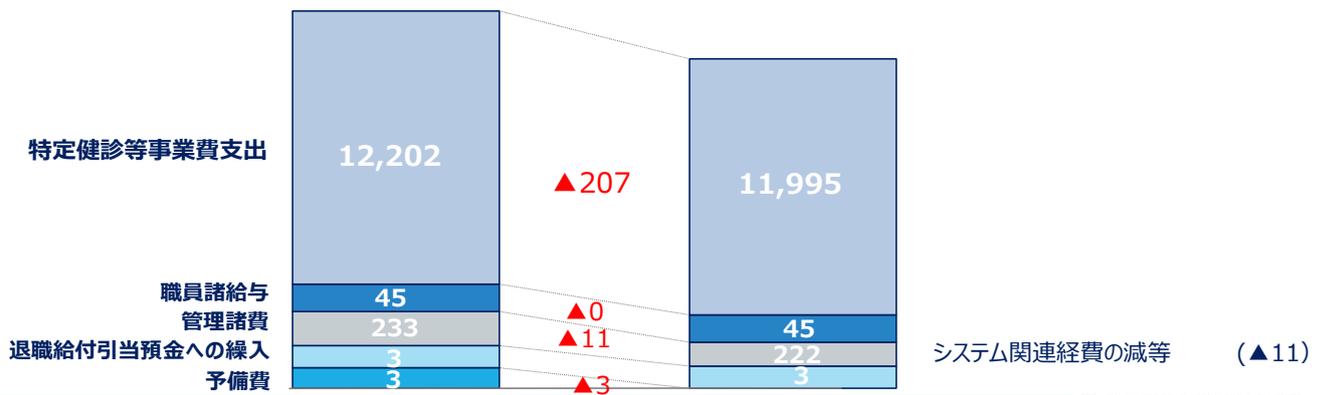
予算 12,486百万円 ▲210百万円 決算 12,276百万円 ①

① - ② = 収支差 11百万円



## 支出

12,486百万円 ▲221百万円 12,265百万円 ②



(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。以下について同じ。

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 認可事業特別会計 被扶養者情報通知経由事業費勘定 収入支出予算と決算内訳

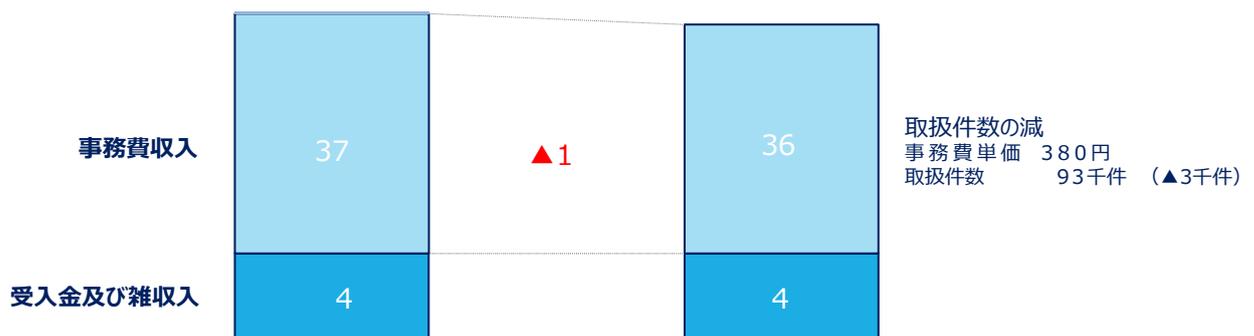
単位：百万円

( ) 内数値は対予算差

## 収入

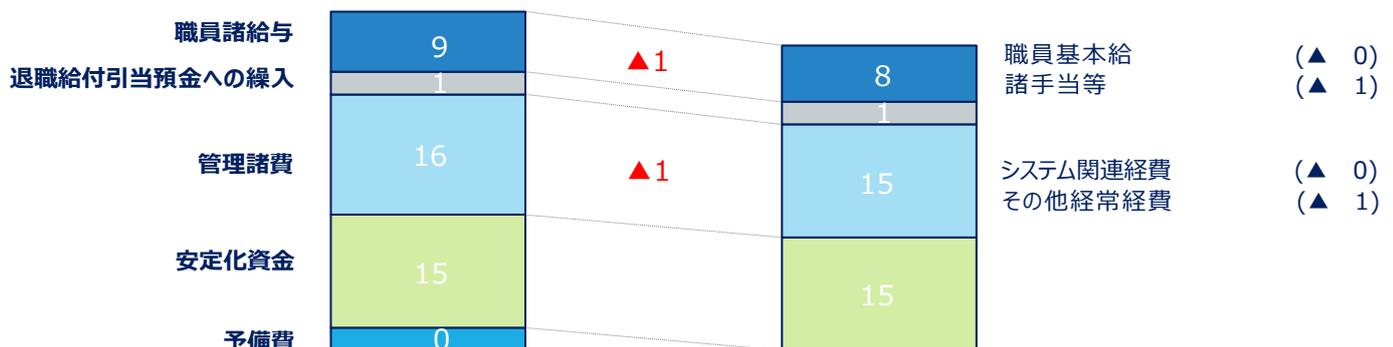
予算 40百万円 ▲1百万円 決算 39百万円 ①

① - ② = 収支差 1百万円



## 支出

40百万円 ▲2百万円 38百万円 ②



Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 認可事業特別会計 特別保健福祉事業費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：百万円

## 収入

### 高齢者医療制度円滑運営事業費補助金

・流行初期医療確保措置対応に係る高齢者システム改修  
・前期財政調整及び出産育児一時金対応に係る高齢者システム改修

### 高齢者医療運営円滑化等補助金

・訪問看護レセプトの電子化に伴うシステム整備

### 医療施設運営費等補助金

・流行初期医療確保措置対応に係るシステム改修

### 審査支払関係業務費補助金

・出産費用の見える化に係るシステム改修

雑収入

予算  
941百万円

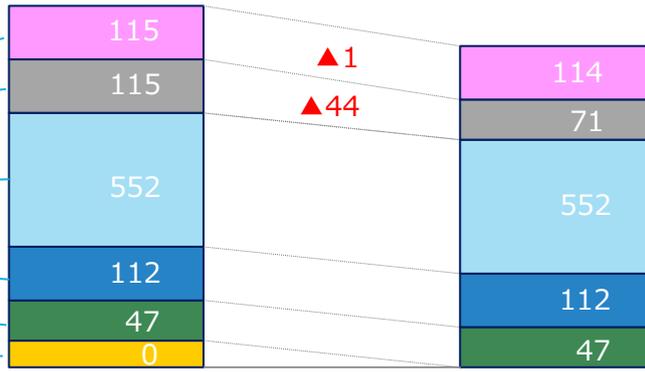
▲45百万円

決算  
897百万円 ①

( ) 内数値は対予算差

① - ② = 収支差 103百万円※

※ 103百万円は返納予定



・流行初期医療確保措置対応に係る高齢者システム改修経費の減 (▲1)  
・前期財政調整及び出産育児一時金対応に係る高齢者システム改修経費の減 (▲44)

## 支出

### 高齢者医療制度円滑運営費

・流行初期医療確保措置対応に係る高齢者システム改修  
・前期財政調整及び出産育児一時金対応に係る高齢者システム改修

### 高齢者医療円滑化運営費

・訪問看護レセプトの電子化に伴うシステム整備

### 医療施設運営費

・流行初期医療確保措置対応に係るシステム改修

### 審査支払関係業務費

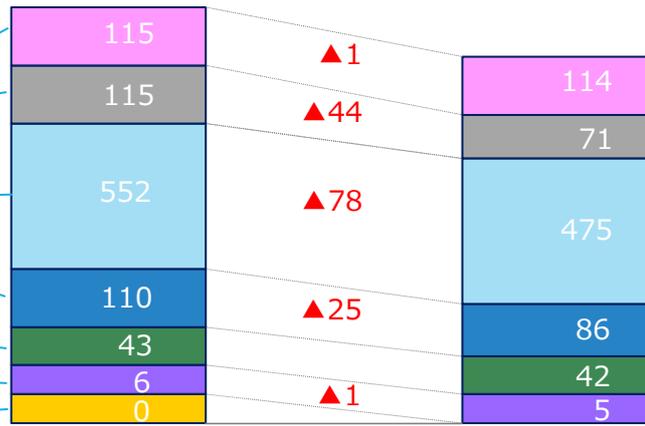
・出産費用の見える化に係るシステム改修

事務取扱費  
予備費

予算  
941百万円

▲148百万円

793百万円 ②



・流行初期医療確保措置対応に係る高齢者システム改修経費の減 (▲1)  
・前期財政調整及び出産育児一時金対応に係る高齢者システム改修経費の減 (▲44)  
・訪問看護レセプトの電子化に伴うシステム整備経費の減 (▲78)  
・流行初期医療確保措置対応に係るシステム改修経費の減 (▲25)  
・出産費用の見える化に係るシステム改修経費の減 (▲0)  
・超過勤務手当等の減 (▲1)

病床転換助成事業特別会計事業費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
<b>[経常損益の部]</b> <b>(業務損益の部)</b>							
<b>I 業務収益</b>							<b>(業務損益の部)</b> <b>○ I 業務収益</b>
1 病床転換助成関係 事務費拠出金収入	10,422		3,099		▲ 7,322		病床転換助成関係 事務費拠出金収入 病床転換助成事業関係業務に要する費用として保険者から徴収した額
2 病床転換助成 交付金返還金	4,201	14,623	3,974	7,074	▲ 226	▲ 7,549	病床転換助成 交付金返還金 令和5年度の病床転換助成交付金変更による都道府県からの返還額 (14道県)
<b>II 業務費用</b>							<b>○ II 業務費用</b>
1 病床転換助成交付金	113,774		4,221		▲ 109,553		病床転換助成交付金 令和6年度病床転換助成交付金の額 (4県)
2 事務費勘定へ繰入	10,422	124,196	3,099	7,320	▲ 7,322	▲ 116,875	事務費勘定へ繰入 病床転換助成事業関係業務に要する費用として事務費勘定へ繰り入れた額
<b>業務損失</b>		109,573		246		▲ 109,326	
<b>(業務外損益の部)</b> <b>業務外収益</b>							<b>(業務外損益の部)</b> <b>○ 業務外収益</b>
受取利息	450	450	8,720	8,720	8,269	8,269	受取利息 普通預金利息・定期預金利息
経常利益 (▲経常損失)		▲ 109,122		8,473		117,595	
当期純利益 (▲当期純損失)		▲ 109,122		8,473		117,595	
別途積立金取崩額		109,573		3,916		▲ 105,656	<b>別途積立金取崩額</b> 令和6年度病床転換助成交付金額(4,221千円)から病床転換助成交付金返還金の相殺を希望する3県の病床転換助成交付金返還金額(304千円)を差し引いた額
当期未処分利益		450		12,390		11,940	
							(注) 当期未処分利益12,390千円は、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)附則第11条第2項において準用する第146条第1項の規定により、積立金として整理することとする。

病床転換助成事業特別会計事業費勘定 貸借対照表

資 産 の 部			資 本 の 部			区 分		
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)		② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)
( 資 産 の 部 )	千円	千円	千円	( 資 本 の 部 )	千円	千円	千円	( 資 産 の 部 )
流 動 資 産				利 益 剰 余 金				○ 流 動 資 産
1 現 金 及 び 預 金	4,474,331	4,482,436	8,105	1 別 途 積 立 金	4,473,880	4,470,414	▲ 3,465	現金及び預金 定期預金
2 未 収 収 益	-	368	368	2 当 期 未 処 分 利 益	450	12,390	11,939	未 収 収 益 令和7年3月以前に運用を開始し、令和7年4月以降に満期日が到来する大口定期預金のうち、令和7年3月末日までに発生している利息
流 動 資 産 合 計	4,474,331	4,482,804	8,473	利 益 剰 余 金 合 計	4,474,331	4,482,804	8,473	
				資 本 合 計	4,474,331	4,482,804	8,473	
資 産 合 計	4,474,331	4,482,804	8,473	資 本 合 計	4,474,331	4,482,804	8,473	

病床転換助成事業特別会計事務費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月 1日 至 令和7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
〔経常損益の部〕							〔経常損益の部〕	
(業務損益の部)							(業務損益の部)	
I 業務収益							○ I 業務収益	
事業費勘定からの受入	10,422	10,422	3,099	3,099	▲ 7,322	▲ 7,322	(事業費勘定からの受入) 病床転換助成事業関係業務に必要な事務費を事業費勘定から受入れ	(事業費勘定からの受入) ▲7百万円 事務費単価の減による事務費拠出金の減
II 業務費用							○ II 業務費用	
1 給与手当	3,507		461		▲ 3,046		(給与手当) 職員に対して支給する給料及び諸手当等	(給与手当) ▲3百万円 超過勤務手当の減
2 賞与	-		-		-		(賞与) 職員に対して支給する賞与	
3 退職給付費用	431		78		▲ 352		(退職給付費用) 職員の将来の退職手当及び年金の費用	
4 法定福利費	-		-		-		(法定福利費) 事業主が負担する健康保険料等	
5 委託費	7,738		2,404		▲ 5,333		(委託費) 納付金及び交付金算定の機械処理経費等	(委託費) ▲5百万円 新会計システム等への切替えによる減
6 減価償却費	122		-		▲ 122		(減価償却費) 工具器具備品に係る減価償却額	
7 その他の業務費用	1,528	13,328	136	3,081	▲ 1,391	▲ 10,246	(その他の業務費用) 租税公課等	(その他の業務費用) ▲1百万円 修繕費等の減
業務利益 (▲業務損失)		▲ 2,906		18		2,924		
(業務外損益の部)							(業務外損益の部)	
業務外収益							○ 業務外収益	
受取利息	0	0	19	19	18	18	(受取利息) 預金から生じた受取利息	
経常利益 (▲経常損失)		▲ 2,905		37		2,943		
〔特別損益の部〕							〔特別損益の部〕	
特別損失							○ 特別損失	
固定資産除却損	-	-	74	74	74	74	(固定資産除却損) 工具器具備品の廃棄処分による除却損	
当期純損失		2,905		36		▲ 2,868		
当期未処理損失		2,905		36		▲ 2,868		

(注) 当期未処分利益36千円は、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)附則第11条第2項において準用する第146条第2項の規定により積立金を減額して整理することとする。

病床転換助成事業特別会計事務費勘定 貸借対照表

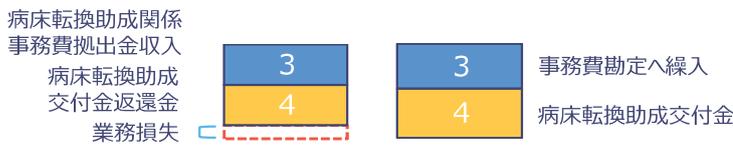
資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等		
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)			② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部)	
I 流動資産				I 流動負債				○ I 流動資産	現金及び預金 ▲18百万円 資産の区分変更による減
1 現金及び預金	36,173	18,111	▲ 18,062	未払金	2,218	494	▲ 1,723	未収入金 消費税等還付金等	
2 未収入金	648	160	▲ 488	流動負債合計	2,218	494	▲ 1,723	○ II 固定資産	
流動資産合計	36,822	18,271	▲ 18,550	II 固定負債				退職給付引当資産 退職給付引当預金の額	退職給付引当資産 12百万円 資産の区分変更による増
II 固定資産				退職給付引当金	13,222	12,067	▲ 1,154	別途積立資産	別途積立資産 2百万円 資産の区分変更による増
1 有形固定資産				固定負債合計	13,222	12,067	▲ 1,154	前払年金費用 年金資産が退職給付債務 (年金部分)を超過した場合 に資産計上する費用	
工具器具備品	741	-	▲ 741	負債合計	15,440	12,562	▲ 2,877	(負債の部)	
減価償却累計額	▲ 666	-	666	(資本の部)				○ I 流動負債	
有形固定資産合計	74	-	▲ 74	利益剰余金				未払金 当年度内に役務の提供を受け 支払が終っていないもの	未払金 ▲1百万円 高齢者システムの機器更新費用の 減に伴う減
2 投資その他の資産				1 別途積立金	24,610	21,705	▲ 2,905		
(1) 退職給付引当資産	-	12,572	12,572	2 当期未処理損失	2,905	36	▲ 2,868		
(2) 別途積立資産	-	2,998	2,998	利益剰余金合計	21,705	21,668	▲ 36		
(3) 前払年金費用	249	389	139	資本合計	21,705	21,668	▲ 36		
投資その他の資産合計	249	15,959	15,710					○ II 固定負債	
固定資産合計	323	15,959	15,635					退職給付引当金 令和7年3月末日における退職 給付債務	退職給付引当金 ▲1百万円 退職給付債務の減
資産合計	37,145	34,230	▲ 2,914	負債・資本合計	37,145	34,230	▲ 2,914		

# 病床転換助成事業特別会計事業費勘定

単位：百万円

## 損益計算書

業務収益 7百万円  
業務費用 7百万円

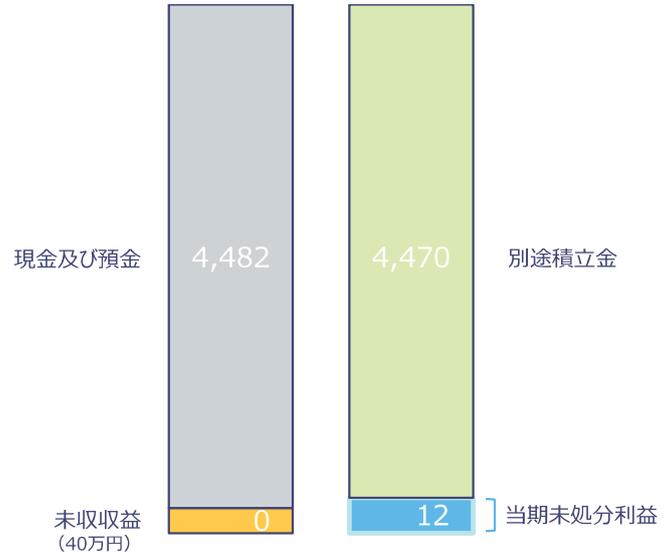


※病床転換助成交付金の交付に充てた額

※「高齢者の医療の確保に関する法律附則第11条第2項において準用する第146条第1項」の規定により積立金として整理

## 貸借対照表

資産の部 4,483百万円  
資本の部 4,483百万円



(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。以下について同じ。

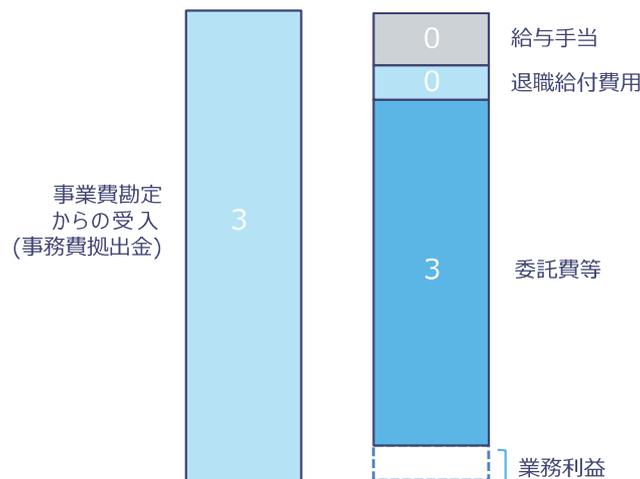
Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 病床転換助成事業特別会計事務費勘定

単位：百万円

## 損益計算書

業務収益 3百万円  
業務費用 3百万円

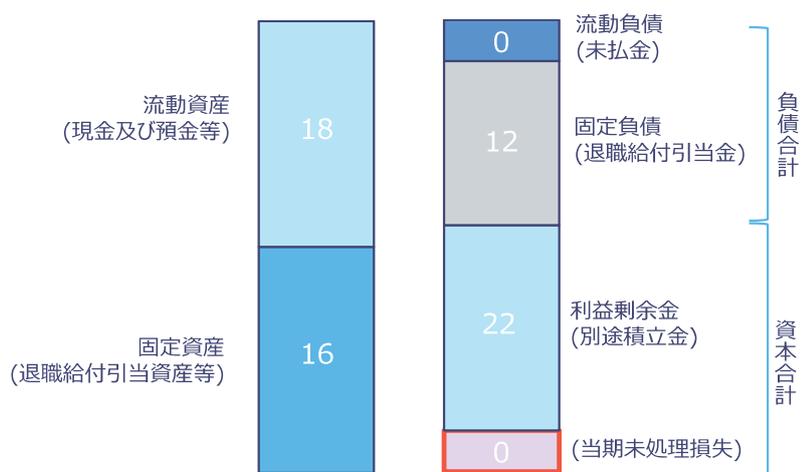


※「高齢者の医療の確保に関する法律附則第11条第2項において準用する第146条第2項」の規定により積立金を減額して整理

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

## 貸借対照表

資産の部 34百万円  
負債・資本の部 34百万円



負債合計  
資本合計

# 病床転換助成事業特別会計事業費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：百万円

## 収入

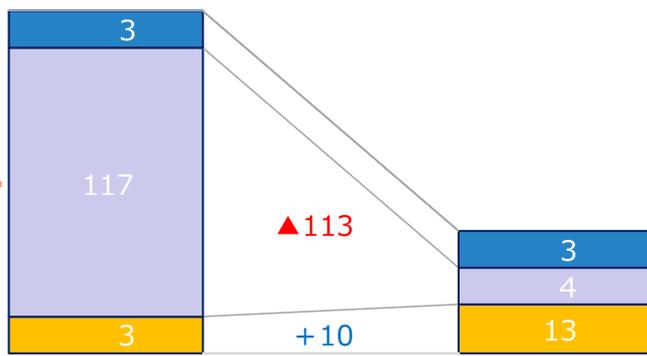
予算 122百万円 ▲103百万円 決算 20百万円 ①

① - ② = 収支差 12百万円

病床転換助成関係  
事務費拠出金収入

受入金（別途積立金取崩額）  
病床転換助成交付金と同額

病床転換助成交付金返還金  
利息収入  
雑収入  
2百万円  
0.4百万円



病床転換助成関係  
事務費拠出金収入

受入金（別途積立金取崩額）

病床転換助成交付金 4百万円

病床転換助成交付金返還金と相殺 ▲0.3百万円

雑収入

病床転換助成交付金返還金 4百万円

利息収入 9百万円

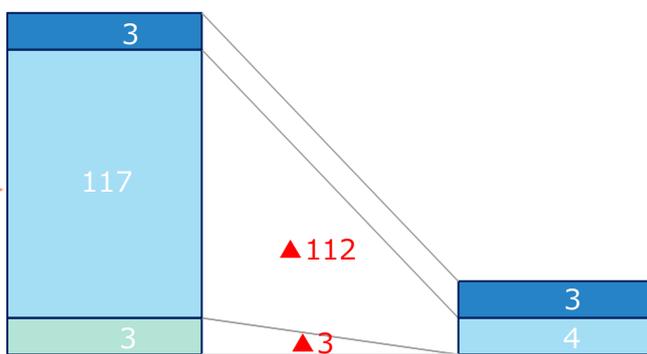
## 支出

予算 122百万円 ▲115百万円 決算 7百万円 ②

事務費勘定へ繰入

病床転換助成交付金  
(事業総額 2億6,221万円の27分の12)  
(対象:23道府県)

(雑収入と同額) 予備費



費用負担割合(保険者12 国10 県5)

事務費勘定へ繰入

病床転換助成交付金

(事業総額 950万円の27分の12)

(対象:4県)

(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。以下について同じ。

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 病床転換助成事業特別会計事務費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：百万円

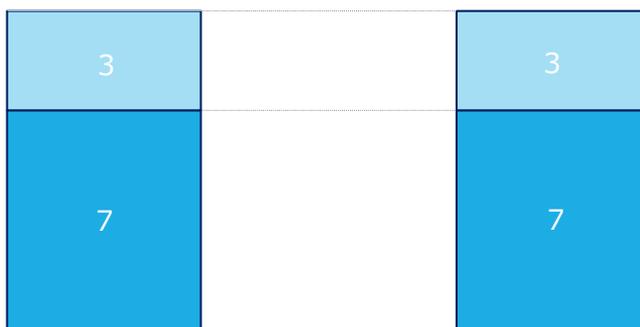
## 収入

予算 10百万円 0百万円 決算 10百万円 ①

① - ② = 収支差 7百万円

事業費勘定からの受入  
(事務費拠出金)

受入金及び雑収入



事務費単価 0円3銭  
加入者数※ 103,356千人 (+825千人)  
(※ 医療保険に加入している、0歳から74歳までの者が対象)

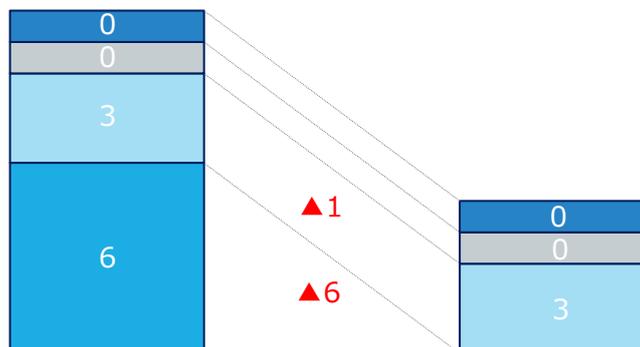
## 支出

予算 10百万円 ▲7百万円 決算 3百万円 ②

職員諸給与  
退職給付引当預金への繰入

管理諸費

予備費



システム関連経費 (▲ 0)  
その他の経常経費 (▲ 0)

Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計事業費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和 5年4月 1日 至 令和 6年3月31日 〕		② 令和6事業年度 〔自 令和 6年4月 1日 至 令和 7年3月31日 〕		③ 差引増(△)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
〔経常損益の部〕							
(業務損益の部)							(業務損益の部)
I 業務収益							○ I 業務収益
1 業務費交付金収入	117,712,652		138,703,481		20,990,829		業務費交付金収入 政府から交付される交付金
2 支給基金からの受入・元本	137,090,000		132,180,000		△ 4,910,000		支給基金からの受入・元本 支給基金からの受入金
3 支給基金からの受入・利子収入	941		164,339		163,397		支給基金からの受入・利子収入 支給基金の運用による利子収入
4 事務費勘定からの受入	4,528	254,808,122	4,956	271,052,777	427	16,244,654	事務費勘定からの受入 審査支払の事務費を事務費勘定から受け入れた額
II 業務費用							○ II 業務費用
1 給付金等支出	137,114,340		132,317,800		△ 4,796,540		給付金等支出 給付金、訴訟手当金、追加給付金、定期検査費、母子感染防止医療費、世帯内感染防止医療費及び定期検査手当の支給
2 支給基金への繰入	117,686,152		138,687,481		21,001,329		支給基金への繰入 支給基金へ繰り入れた額
3 審査支払の事務費支出	4,528	254,805,021	4,956	271,010,237	427	16,205,216	審査支払の事務費支出 審査支払に要する事務費
業務利益 (△業務損失)		3,101		42,539		39,438	
(業務外損益の部)							(業務外損益の部)
業務外収益							○ 業務外収益
雑収入	21	21	11	11	△ 10	△ 10	雑収入 審査支払機関からの返還金
経常利益 (△経常損失)		3,122		42,550		39,428	
当期純利益 (△当期純損失)		3,122		42,550		39,428	
別途積立金取崩額		109,497		112,620		3,122	別途積立金取崩額 前年度の当期未処分利益
当期未処分利益		112,620		155,171		42,550	
							(注) 当期未処分利益155,171千円は、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法(平成23年法律第126号)第31条第1項の規定により、積立金として整理することとする。

特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計事業費勘定 貸借対照表

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部				令和6事業年度 主要説明事項
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(△)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(△)減額 (②-①)	
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部)
流動資産				I 流動負債				<b>○ 流動資産</b>
1 現金及び預金	65,871,288	72,377,602	6,506,314	未払給付金等	12,860	390	△ 12,470	<b>現金及び預金</b> 普通預金及び定期預金
2 未収収益	-	31,247	31,247	流動負債合計	12,860	390	△ 12,470	<b>未収収益</b> 令和6年3月以前に運用を開始し、令和6年4月以降に満期日が到来する定期預金のうち、3月末日までに発生している利息
流動資産合計	65,871,288	72,408,850	6,537,561	II 固定負債				(負債の部)
				支給基金	65,745,808	72,253,289	6,507,481	<b>○ I 流動負債</b>
				固定負債合計	65,745,808	72,253,289	6,507,481	<b>未払給付金等</b> 支給決定した給付金等のうち、振込不能となった未払金
				負債合計	65,758,668	72,253,679	6,495,011	(負債の部)
				(資本の部)				<b>○ II 固定負債</b>
				利益剰余金				<b>支給基金</b> 翌年度以降の特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等に充てるための資金
				当期末処分利益	112,620	155,171	42,550	
				利益剰余金合計	112,620	155,171	42,550	
				資本合計	112,620	155,171	42,550	
資産合計	65,871,288	72,408,850	6,537,561	負債・資本合計	65,871,288	72,408,850	6,537,561	

特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計事務費勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月 1日〕 〔至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和6年4月 1日〕 〔至 令和7年3月31日〕		③ 差引増(△)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
〔経常損益の部〕								
(業務損益の部)								
I 業務収益							○ I 業務収益	
事務費交付金収入	200,713	200,713	188,813	188,813	△ 11,900	△ 11,900	事務費交付金収入 特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係業務の運営に必要な経費	事務費交付金収入 11百万円の減 事務費交付金収入の減
II 業務費用							○ II 業務費用	
1 事務費交付金精算返納金	370		1,282		911		事務費交付金精算返納金 国への返還金	
2 給与手当	62,319		52,613		△ 9,706		給与手当 職員に対して支給する給料及び諸手当等	給与手当 9百万円の減 定員削減による減
3 雑給	12,384		15,445		3,061		雑給 臨時職員、継続雇用職員に支給する給与等	雑給 3百万円の増 臨時職員の新規雇用による増
4 賞与	13,232		11,750		△ 1,481		賞与 職員に対して支給する賞与	賞与 1百万円の減 定員の減少に伴う減
5 賞与引当金繰入額	6,680		7,249		569		賞与引当金繰入額 令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月までの費用	
6 退職給付費用	6,792		5,364		△ 1,427		退職給付費用 職員の将来の退職手当及び年金の費用	退職給付費用 1百万円の減 定員の減少に伴う減
7 法定福利費	12,991		12,038		△ 952		法定福利費 事業主が負担する健康保険料等	
8 通信費	19,635		24,159		4,524		通信費 後納郵便料等	通信費 4百万円の増 後納郵便料等の増
9 使用料及び賃借料	14,233		17,875		3,642		使用料及び賃借料 事務所借上料	使用料及び賃借料 3百万円の増 新会計システム等への切替えによる増
10 委託費	26,563		18,437		△ 8,126		委託費 給付金算定の機械処理経費等	委託費 8百万円の減 新会計システム等への切替えによる減
11 減価償却費	1,620		1,385		△ 235		減価償却費 工具器具備品等に係る減価償却額	
12 その他の業務費用	19,812	196,635	23,268	190,871	3,456	△ 5,764	その他の業務費用 租税公課等	
業務利益 (△業務損失)		4,077		△ 2,058		△ 6,135		
(業務外損益の部)							(業務外損益の部)	
業務外収益							○ 業務外収益	
1 受取利息	2		63		60		受取利息 預金から生じた受取利息	
2 雑収入	0	2	137	200	137	197	雑収入 事務費再審査返還金(国保分)	
経常利益 (△経常損失)		4,080		△ 1,857		△ 5,937		
〔特別損益の部〕								
特別損失 固定資産除却損	403	403	-	-	△ 403	△ 403		
当期純利益 (△当期純損失)		3,677		△ 1,857		△ 5,534		
当期末処分利益 (△当期末処理損失)		3,677		△ 1,857		△ 5,534		

(注) 当期末処理損失1,857千円は、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法(平成23年法律第126号)第31条第2項の規定により積立金を減額して整理することとする。

特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計事務費勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項	令和6事業年度 主な増減事由等
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(△)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)		
	千円	千円	千円		千円	千円	千円
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産				I 流動負債			
1 現金及び預金	80,252	11,785	△ 68,466	1 未払金	13,534	11,391	△ 2,143
2 未収入金	-	122	122	2 未払費用	1,028	1,080	51
				3 預り金	581	517	△ 64
流動資産合計	80,252	11,908	△ 68,344	4 賞与引当金	6,680	7,249	569
II 固定資産				流動負債合計	21,824	20,237	△ 1,586
1 有形固定資産				II 固定負債			
(1) 建物付属設備	2,479	2,479	-	退職給付引当金	66,409	65,923	△ 486
減価償却累計額	△ 429	△ 576	△ 147	固定負債合計	66,409	65,923	△ 486
(2) 工具器具備品	14,044	14,044	-	負債合計	88,233	86,160	△ 2,073
減価償却累計額	△ 8,415	△ 9,441	△ 1,025	(資本の部)			
有形固定資産合計	7,679	6,505	△ 1,173	利益剰余金			
2 無形固定資産				1 別途積立金	698	4,375	3,677
ソフトウェア	1,060	848	△ 212	2 当期末処分利益 (△当期末処理損失)	3,677	△ 1,857	△ 5,534
無形固定資産合計	1,060	848	△ 212	利益剰余金合計	4,375	2,518	△ 1,857
3 投資その他の資産				資本合計	4,375	2,518	△ 1,857
(1) 退職給付引当資産	-	65,944	65,944				
(2) 前払年金費用	3,617	3,472	△ 145				
投資その他の資産合計	3,617	69,417	65,799				
固定資産合計	12,356	76,770	64,414				
資産合計	92,609	88,679	△ 3,930	負債・資本合計	92,609	88,679	△ 3,930

(資産の部)  
○ I 流動資産

未収入金 労働保険料精算金

○ II 固定資産  
退職給付引当資産 退職給付引当金の額

前払年金費用 年金資産が退職給付債務(年金部分)を超過した場合に資産計上する費用

(負債の部)  
○ I 流動負債

未払金 当年度内に役務の提供を受け支払が終っていないもの

未払費用 賞与引当金に計上した令和7年6月期末・勤勉手当の支払債務に係る法定福利費

預り金 職員の所得税及び住民税

賞与引当金 令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月に発生する支払債務

○ II 固定負債

退職給付引当金 令和7年3月末日における退職給付債務

現金及び預金 68百万円の減  
資産の区分変更による減

退職給付引当資産 65百万円の増  
資産の区分変更による増

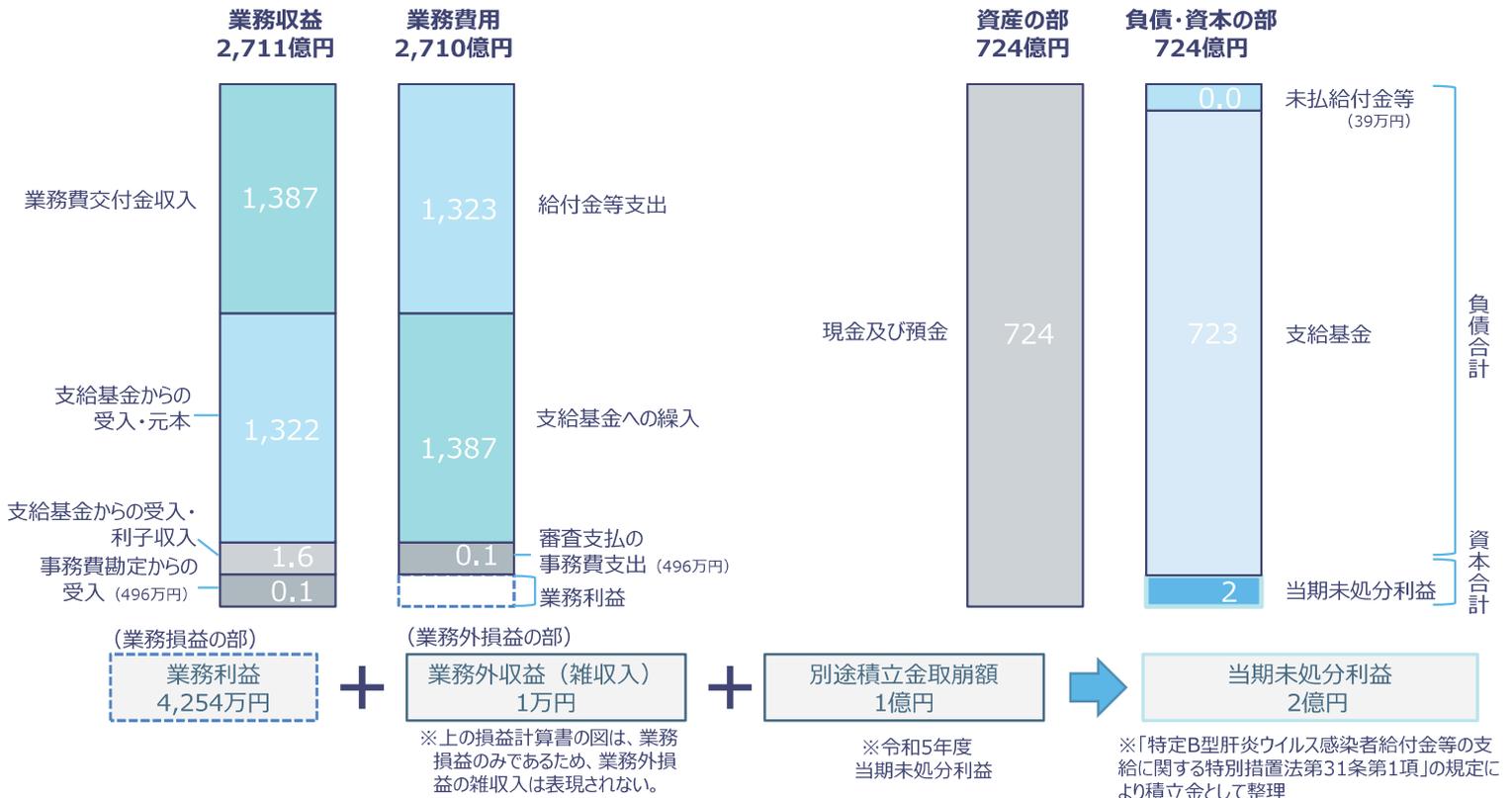
未払金 2百万円の減  
機器購入経費の減

# 特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計事業費勘定

単位：億円

## 損益計算書

## 貸借対照表



※ 端数整理（四捨五入）の関係から、合計等が不一致となる場合があります。以下について同じ。

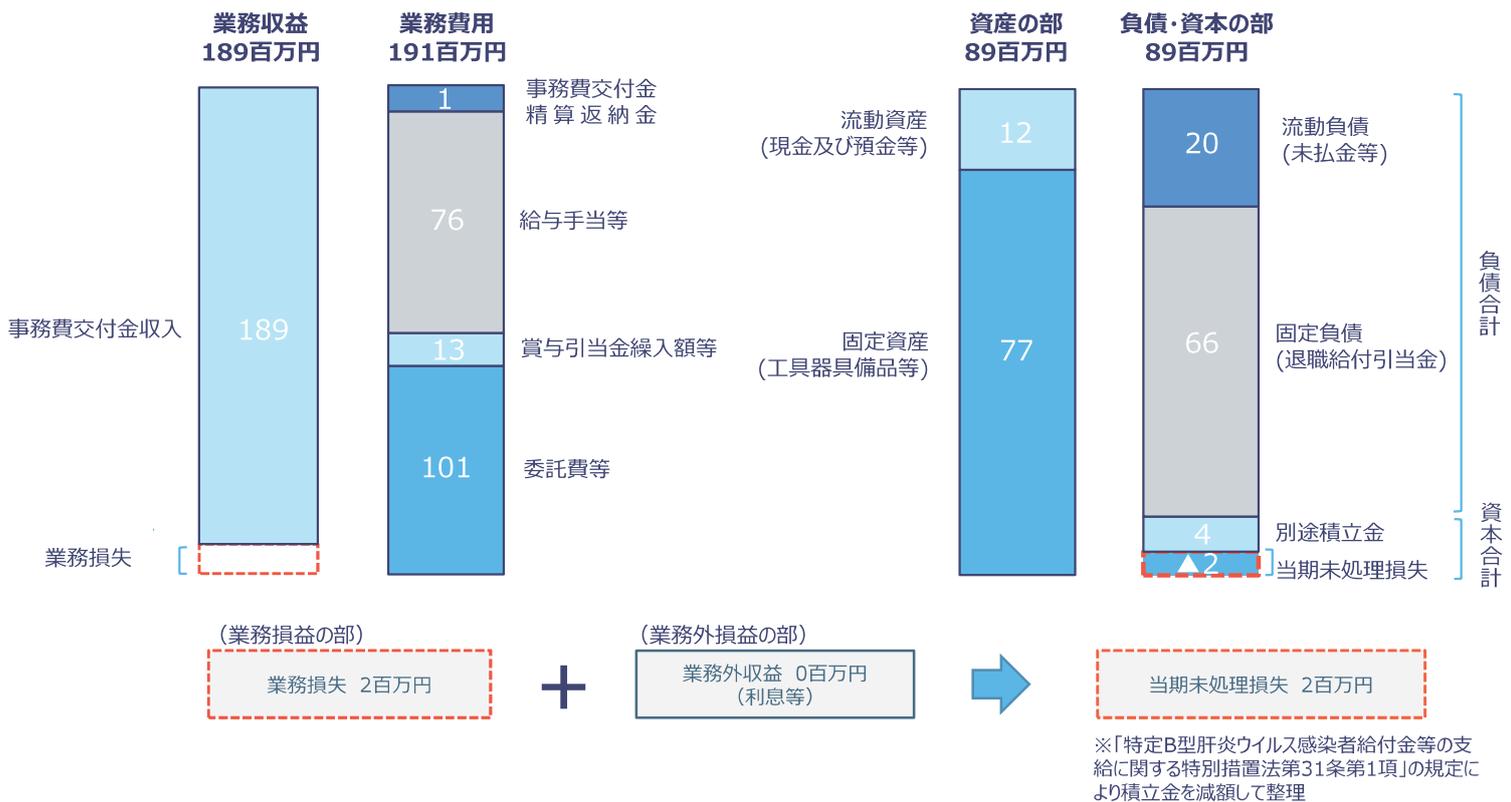
Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

# 特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計事務費勘定

単位：百万円

## 損益計算書

## 貸借対照表

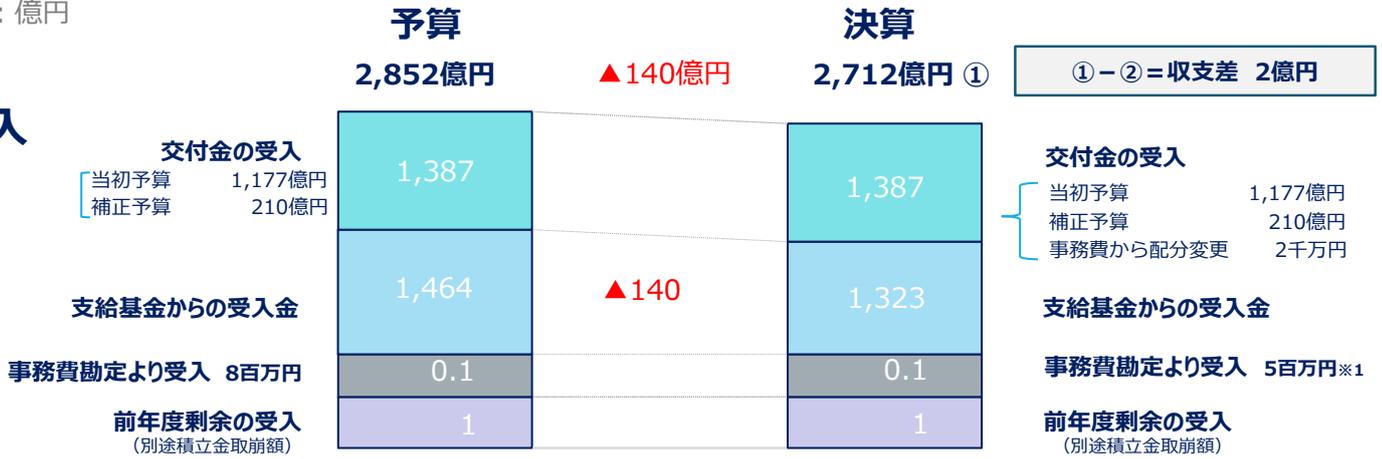


Change, Challenge, Chance 社会保険診療報酬支払基金

特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計事業費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：億円

収入



支出



※1 事務費勘定より受入の金額が、予算8百万円から決算5百万円(▲3百万円)へ減となった要因は、定期検査に係るレセプト件数を予算91,306件と見込んでいたが、決算61,664件(▲29,642件)となったことによるもの。

※ 端数整理(四捨五入)の関係から、合計等が不一致となる場合があります。

特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計事務費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：百万円

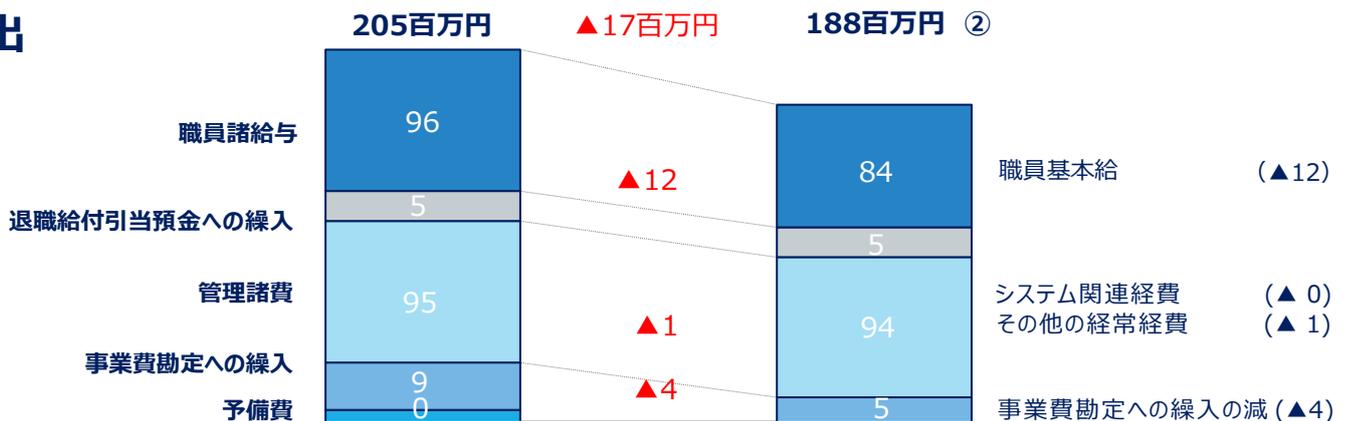
収入



( ) 内数値は対予算差

※1,282千円  
国庫返還

支出



医療介護情報化等特別会計医療情報化支援基金勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和 5年4月 1日〕 〔至 令和 6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和 6年4月 1日〕 〔至 令和 7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
〔経常損益の部〕							<b>【事業の概要】</b> 「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」に基づき、国から交付金の交付を受けてオンライン資格確認の導入に係る補助金の交付及び顔認証付きカードリーダーの調達・提供する事業(令和2年1月1日から事業開始) 当該事業は、「医療情報化支援基金」を造成し、国からの交付金を積み増し、これを財源として必要な額を取り崩して支出を行う。 また、令和6年度は、令和5年度から引き続き、オンライン資格確認の用途拡大及びマイナンバーカード利用促進に向けた支援業務として別に交付された国庫補助金により実施。  <b>〔経常損益の部〕</b> <b>(業務損益の部)</b> <b>I 業務収益</b> 1 交付金収入 2 補助金収入 3 支援基金からの受入・整備費 4 支援基金からの受入・事務費  <b>II 業務費用</b> 1 支援基金への繰入 2 給与手当 3 賞与 4 賞与引当金繰入額 5 退職給付費用 6 法定福利費 7 電子資格確認用物品提供費 8 減価償却費 9 システム整備費補助金支出 10 補助金精算返納金 11 その他の業務費用  業務利益 (▲業務損失)  <b>(業務外損益の部)</b> 業務外収益 受取利息  経常利益  当期純利益  前期繰越利益  当期末処分利益
I 業務収益							
1 交付金収入	28,909,113		17,199,587		▲ 11,709,526		
2 補助金収入	19,387,517		52,075,195		32,687,678		
3 支援基金からの受入・整備費	52,928,468		13,238,274		▲ 39,690,194		
4 支援基金からの受入・事務費	2,277,366	103,502,464	1,401,671	83,914,727	▲ 875,694	▲ 19,587,736	
II 業務費用							
1 支援基金への繰入	28,910,189		17,343,476		▲ 11,566,713		
2 給与手当	105,629		106,955		1,326		
3 賞与	19,200		21,846		2,645		
4 賞与引当金繰入額	12,932		13,312		380		
5 退職給付費用	8,916		9,274		358		
6 法定福利費	19,907		21,702		1,795		
7 電子資格確認用物品提供費	130,500		90		▲ 130,410		
8 減価償却費	69,001		234,330		165,329		
9 システム整備費補助金支出	54,500,161		29,063,980		▲ 25,436,180		
10 補助金精算返納金	17,173,208		33,901,968		16,728,759		
11 その他の業務費用	1,792,148	102,741,795	3,206,091	83,923,028	1,413,943	▲ 18,818,767	
業務利益 (▲業務損失)		760,668		▲ 8,300		▲ 768,969	
(業務外損益の部)							
業務外収益							
受取利息	1,078	1,078	143,908	143,908	142,830	142,830	
経常利益		761,747		135,608		▲ 626,138	
当期純利益		761,747		135,608		▲ 626,138	
前期繰越利益		172,566		934,313		761,747	
当期末処分利益		934,313		1,069,921		135,608	

【事業の概要】  
 「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」に基づき、国から交付金の交付を受けてオンライン資格確認の導入に係る補助金の交付及び顔認証付きカードリーダーの調達・提供する事業(令和2年1月1日から事業開始)  
 当該事業は、「医療情報化支援基金」を造成し、国からの交付金を積み増し、これを財源として必要な額を取り崩して支出を行う。  
 また、令和6年度は、令和5年度から引き続き、オンライン資格確認の用途拡大及びマイナンバーカード利用促進に向けた支援業務として別に交付された国庫補助金により実施。

「交付金収入」 (単位: 億円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
オンライン資格確認導入	150.0	768.0	-	351.8	102.0	-
電子カルテ標準化	150.0	-	-	-	-	-
電子処方箋導入	-	-	-	383.3	130.9	172.0
訪問看護等オン資導入	-	-	-	-	56.3	-
計	300.0	768.0	-	735.1	289.1	172.0

「補助金収入」 (単位: 億円)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪問診療等オン資導入	-	150.0	169.8
医療扶助オン資導入	-	42.3	17.2
マイナ保険証利用促進(R6.1~)	-	0.4	199.2
カードリーダー増設(R6.1~)	-	0.5	16.9
公費受給者証等一体化(R6.1~)	-	0.5	41.7
電子処方箋機能拡充(R6.1~)	-	0.3	76.0
計	-	193.9	520.8

I 業務収益  
 1 交付金収入  
 2 補助金収入  
 3 支援基金からの受入・整備費

II 業務費用  
 1 支援基金への繰入 : オンライン資格確認に係る交付金収入の減に伴う支援基金への繰入額の減  
 2 給与手当  
 3 賞与  
 4 賞与引当金繰入額 } 新たな補助金事業実施に伴う職員の増  
 6 法定福利費 (令和5年度 14人 → 令和6年度 16名)

7 電子資格確認用物品提供費 : 顔認証付きカードリーダー提供事業の終了  
 8 減価償却費 : 柔整あはき等のポータルサイト改修に係るソフトウェア取得による増

9 システム整備費補助金支出 (単位: 億円)

区分	令和5年度	令和6年度	差引増減額
オンライン資格確認導入	521.2	27.7	▲ 493.5
電子カルテ標準化	-	0.0	0.0
電子処方箋導入	8.1	76.2	68.1
訪問看護等オン資導入	-	28.5	28.5
合計	529.3	132.4	▲ 396.9

補助金 (単位: 億円)

区分	令和5年度	令和6年度	差引増減額
訪問診療等オン資導入	0.0	27.7	27.7
医療扶助	15.7	8.3	▲ 7.4
マイナ保険証利用促進	-	99.5	99.5
カードリーダー増設	-	4.2	4.2
公費受給者証等一体化	-	12.4	12.4
電子処方箋機能拡充	-	6.1	6.1
合計	15.7	158.3	142.5

11 その他の業務費用 : 実態に即した席数の確保によるコンタクトセンター運用経費の増等

(注) 当期末処分利益1,069,921千円は、次期に繰越すこととする。

医療介護情報化等特別会計医療情報化支援基金勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項																																					
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)																																				
	千円	千円	千円		千円	千円	千円																																				
(資産の部)				(負債の部)				(資産の部)																																			
I 流動資産				I 流動負債				I 流動資産																																			
現金及び預金	109,317,438	128,437,594	19,120,156	1 未払金	18,304,262	34,745,623	16,441,361	1 現金及び預金																																			
流動資産合計	109,317,438	128,437,594	19,120,156	2 未払電子資格確認用物品提供費	1,089	-	▲1,089	<table border="1"> <caption>「現金及び預金」 (単位:億円)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>差引増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援基金</td> <td>909.9</td> <td>936.9</td> <td>27.0</td> </tr> <tr> <td>未払資金等</td> <td>183.1</td> <td>347.5</td> <td>164.4</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当預金</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td>▲0.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,093.2</td> <td>1,284.4</td> <td>191.2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額	支援基金	909.9	936.9	27.0	未払資金等	183.1	347.5	164.4	退職給付引当預金	0.2	-	▲0.2	計	1,093.2	1,284.4	191.2															
項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額																																								
支援基金	909.9	936.9	27.0																																								
未払資金等	183.1	347.5	164.4																																								
退職給付引当預金	0.2	-	▲0.2																																								
計	1,093.2	1,284.4	191.2																																								
II 固定資産				3 未払費用	1,991	1,983	▲8	II 固定資産																																			
1 有形固定資産				4 預り金	1,160	992	▲168	2 無形固定資産																																			
(1) 建物付属設備	1,238	1,851	613	5 賞与引当金	12,932	13,312	380	ソフトウェア																																			
減価償却累計額	▲208	▲306	▲98	流動負債合計	18,321,435	34,761,911	16,440,476	: 柔整あはき等のポータルサイト改修に係るソフトウェア取得による増																																			
(2) 工具器具備品	1,455	1,874	418	II 固定負債				(負債の部)																																			
減価償却累計額	▲491	▲664	▲172	1 支援基金	90,987,447	93,690,977	2,703,530	I 流動負債																																			
有形固定資産合計	1,994	2,754	760	2 退職給付引当金	24,297	31,673	7,376	1 未払金																																			
2 無形固定資産				固定負債合計	91,011,744	93,722,651	2,710,906	: 補助金精算返納金の増																																			
ソフトウェア	948,061	1,084,085	136,024	負債合計	109,333,180	128,484,563	19,151,382	<table border="1"> <caption>「未払金」 (単位:億円)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>差引増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務システム関連経費</td> <td>10.8</td> <td>7.8</td> <td>▲3.0</td> </tr> <tr> <td>超過勤務手当・その他の業務費用</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>補助金精算返納金</td> <td>171.7</td> <td>339.0</td> <td>167.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>183.0</td> <td>347.5</td> <td>164.4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額	業務システム関連経費	10.8	7.8	▲3.0	超過勤務手当・その他の業務費用	0.6	0.6	0.1	補助金精算返納金	171.7	339.0	167.3	計	183.0	347.5	164.4															
項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額																																								
業務システム関連経費	10.8	7.8	▲3.0																																								
超過勤務手当・その他の業務費用	0.6	0.6	0.1																																								
補助金精算返納金	171.7	339.0	167.3																																								
計	183.0	347.5	164.4																																								
無形固定資産合計	948,061	1,084,085	136,024	(資本の部)				2 未払電子資格確認用物品提供費																																			
3 投資その他の資産				利益剰余金				: 顔認証付きカードリーダー提供事業の終了																																			
退職給付引当資産	-	30,050	30,050	当期末処分利益	934,313	1,069,921	135,608	II 固定負債																																			
投資その他の資産合計	-	30,050	30,050	利益剰余金合計	934,313	1,069,921	135,608	1 支援基金																																			
固定資産合計	950,055	1,116,890	166,834	資本合計	934,313	1,069,921	135,608	: 令和7年3月末日における支援基金の残高																																			
資産合計	110,267,494	129,554,484	19,286,990	負債・資本合計	110,267,494	129,554,484	19,286,990	<table border="1"> <caption>「支援基金」 (単位:億円)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度残高</td> <td>-</td> <td>299.8</td> <td>1,023.5</td> <td>799.1</td> <td>1,172.8</td> <td>909.9</td> </tr> <tr> <td>交付金</td> <td>300.0</td> <td>768.0</td> <td>-</td> <td>735.1</td> <td>289.1</td> <td>173.4</td> </tr> <tr> <td>取崩額</td> <td>0.2</td> <td>44.3</td> <td>224.4</td> <td>361.4</td> <td>552.1</td> <td>146.4</td> </tr> <tr> <td>年度末残高</td> <td>299.8</td> <td>1,023.5</td> <td>799.1</td> <td>1,172.8</td> <td>909.9</td> <td>936.9</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度残高	-	299.8	1,023.5	799.1	1,172.8	909.9	交付金	300.0	768.0	-	735.1	289.1	173.4	取崩額	0.2	44.3	224.4	361.4	552.1	146.4	年度末残高	299.8	1,023.5	799.1	1,172.8	909.9	936.9
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																					
前年度残高	-	299.8	1,023.5	799.1	1,172.8	909.9																																					
交付金	300.0	768.0	-	735.1	289.1	173.4																																					
取崩額	0.2	44.3	224.4	361.4	552.1	146.4																																					
年度末残高	299.8	1,023.5	799.1	1,172.8	909.9	936.9																																					

医療介護情報化等特別会計連結情報提供勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和 5年4月 1日 至 令和 6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和 6年4月 1日 至 令和 7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項																								
	千円	千円	千円	千円	千円	千円																									
〔経常損益の部〕							<p>【事業の概要】</p> <p>「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(以下「法」という。)に基づき、連結情報照会者からの連結情報の求めに応じて、履歴照会・回答システムにより被保険者番号の履歴を活用した連結情報を提供する事業(令和4年3月22日から事業開始)</p> <p>〔経常損益の部〕</p> <p>(業務損益の部)</p> <p>I 業務収益</p> <p>1 手数料収入 : 連結情報提供件数の増 (1000件ごとに55円)</p> <table border="1"> <caption>「連結情報提供件数」</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>前年度対比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NDB(レセプト)</td> <td>10.1 億件</td> <td>10.8 億件</td> <td>6.65%</td> </tr> <tr> <td>(特定健診)</td> <td>24 百万件</td> <td>26 百万件</td> <td>5.78%</td> </tr> <tr> <td>DPC-DB</td> <td>-</td> <td>9 百万件</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>難病・小児慢性-DB</td> <td>-</td> <td>582 件</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10.3 億件</td> <td>11.1 億件</td> <td>7.49%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 補助金収入 : 政府予算の減少による減</p> <p>3 共同運営調整金収入 : 共同運営を実施するにあたり支払基金の手数料収入が増となったことに伴う共同運営調整金収入の減 (実施機関(支払基金・国保中央会)が一体的に共同運営を行うために必要な資金の調整額)</p> <p>II 業務費用</p> <p>3 賞与引当金繰入額 : 人事院勧告による増等</p> <p>6 保守料 : 履歴照会・回答システム運用経費の増</p> <p>7 補助金精算返納金 : 政府予算の減少による減</p> <p>8 その他の業務費用 : 非現業システム保守・運用費からパッケージソフト使用料への変更等による委託費の減</p> <p>※当期末処理損失605千円は、次期に繰越すこととする。</p>	区分	令和5年度	令和6年度	前年度対比	NDB(レセプト)	10.1 億件	10.8 億件	6.65%	(特定健診)	24 百万件	26 百万件	5.78%	DPC-DB	-	9 百万件	-	難病・小児慢性-DB	-	582 件	-	計	10.3 億件	11.1 億件	7.49%
区分	令和5年度	令和6年度	前年度対比																												
NDB(レセプト)	10.1 億件	10.8 億件	6.65%																												
(特定健診)	24 百万件	26 百万件	5.78%																												
DPC-DB	-	9 百万件	-																												
難病・小児慢性-DB	-	582 件	-																												
計	10.3 億件	11.1 億件	7.49%																												
(業務損益の部)																															
I 業務収益																															
1 手数料収入	56,878		61,137		4,258																										
2 補助金収入	24,066		9,240		▲ 14,826																										
3 共同運営調整金収入	11,497	92,442	3,005	73,383	▲ 8,492	▲ 19,059																									
II 業務費用																															
1 給与手当	14,329		9,808		▲ 4,521																										
2 賞与	2,849		1,822		▲ 1,027																										
3 賞与引当金繰入額	1,174		1,434		260																										
4 退職給付費用	1,203		1,170		▲ 33																										
5 法定福利費	2,658		1,850		▲ 808																										
6 保守料	34,998		50,240		15,242																										
7 補助金精算返納金	24,066		5,250		▲ 18,816																										
8 その他の業務費用	10,153	91,433	5,849	77,425	▲ 4,303	▲ 14,008																									
業務利益 (▲業務損失)		1,009		▲ 4,041		▲ 5,051																									
(業務外損益の部)																															
業務外収益																															
受取利息	0	0	20	20	20	20																									
経常利益 (▲経常損失)		1,009		▲ 4,021		▲ 5,030																									
当期純利益 (▲当期純損失)		1,009		▲ 4,021		▲ 5,030																									
前期繰越利益		2,406		3,415		1,009																									
当期末処分利益 (▲当期末処理損失)		3,415		▲ 605		▲ 4,021																									

医療介護情報化等特別会計連結情報提供勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項																														
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)		② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)																												
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部) I 流動資産 1 現金及び預金 「現金及び預金」 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>差引増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>剰余金(前年度・当年度)</td> <td>5,708</td> <td>0</td> <td>▲ 5,708</td> </tr> <tr> <td>未払資金等</td> <td>56,030</td> <td>52,511</td> <td>▲ 3,519</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>61,739</td> <td>52,511</td> <td>▲ 9,227</td> </tr> </tbody> </table> ※目的積立預金については、R6より「I 流動資産」の「1 現金及び預金」から「II 固定資産」の「投資その他の資産」に計上 2 未収手数料 「未収手数料」 <table border="1"> <thead> <tr> <th>提供データ</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>差引増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月診療分(1月請求分)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1月診療分(2月請求分)</td> <td>10,625</td> <td>11,596</td> <td>971</td> </tr> </tbody> </table> (令和4年度から連結提供開始:隔月請求)	項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額	剰余金(前年度・当年度)	5,708	0	▲ 5,708	未払資金等	56,030	52,511	▲ 3,519	計	61,739	52,511	▲ 9,227	提供データ	令和5年度	令和6年度	差引増減額	12月診療分(1月請求分)				1月診療分(2月請求分)	10,625	11,596	971
項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額																																	
剰余金(前年度・当年度)	5,708	0	▲ 5,708																																	
未払資金等	56,030	52,511	▲ 3,519																																	
計	61,739	52,511	▲ 9,227																																	
提供データ	令和5年度	令和6年度	差引増減額																																	
12月診療分(1月請求分)																																				
1月診療分(2月請求分)	10,625	11,596	971																																	
I 流動資産				I 流動負債																																
1 現金及び預金	61,739	52,511	▲ 9,227	1 未払金	64,033	63,563	▲ 469																													
2 未収手数料	10,625	11,596	971	2 未払費用	180	213	32																													
3 未収入金	-	102	102	3 未払消費税等	1,197	567	▲ 630																													
流動資産合計	72,365	64,211	▲ 8,154	4 預り金	129	80	▲ 48																													
II 固定資産				5 賞与引当金	1,174	1,434	260																													
投資その他の資産				流動負債合計	66,715	65,858	▲ 856																													
退職給付引当資産	-	3,115	3,115	II 固定負債																																
別途積立資産	-	1,237	1,237	退職給付引当金	2,234	3,310	1,076																													
投資その他の資産合計	-	4,352	4,352	固定負債合計	2,234	3,310	1,076																													
固定資産合計	-	4,352	4,352	負債合計	68,949	69,169	220																													
				(資本の部)																																
				利益剰余金																																
				当期未処分利益 (▲当期未処理損失)	3,415	▲ 605	▲ 4,021																													
				利益剰余金合計	3,415	▲ 605	▲ 4,021																													
				資本合計	3,415	▲ 605	▲ 4,021																													
資産合計	72,365	68,563	▲ 3,801	負債・資本合計	72,365	68,563	▲ 3,801																													

医療介護情報化等特別会計電子処方箋管理勘定 損益計算書

区 分	① 令和5事業年度 〔自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日〕		② 令和6事業年度 〔自 令和 6年4月 1日 至 令和 7年3月31日〕		③ 差引増(▲)減額 (②-①)		令和6事業年度 主要説明事項																								
	千円	千円	千円	千円	千円	千円																									
〔経常損益の部〕							<p>【事業の概要】 「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」に基づき、医療機関から薬局への電子処方箋の提供、医療機関と薬局における処方情報又は調剤情報の共有することに資するよう、電子処方箋管理サービスの管理・運営する業務を行う。(令和5年1月26日から事業開始)</p> <p>〔経常損益の部〕</p> <p>(業務損益の部)</p> <p>I 業務収益</p> <p>1 負担金収入 : 運営負担金単価引上げによる負担金収入の増 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>差引増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協会けんぽ</td> <td>114,572</td> <td>263,297</td> <td>148,725</td> </tr> <tr> <td>健保組合</td> <td>80,479</td> <td>187,982</td> <td>107,502</td> </tr> <tr> <td>共済組合</td> <td>24,647</td> <td>65,344</td> <td>40,697</td> </tr> <tr> <td>生保実施機関</td> <td>-</td> <td>13,489</td> <td>13,489</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>219,699</td> <td>530,114</td> <td>310,414</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 補助金収入 : システム開発規模の縮小による減</p> <p>II 業務費用</p> <p>1 給与手当 } 定員の削減による減 2 賞与 } (令和5年度 14人 → 令和6年度 12人) 5 法定福利費 }</p> <p>3 賞与引当金繰入額 : 定員の増加による増(令和6年度 12人 → 令和7年度 15人) (令和7年6月期末・勤勉手当に係る令和6年12月から令和7年3月までの費用)</p> <p>6 保守料 : 医療機関等向け総合ポータルサイトに係る運用・保守費用の減</p> <p>7 委託費 : システム開発が終了することによる開発稼働準備支援費用の減</p> <p>11 補助金精算返納金 : 国庫へ返還する補助金剰余額の減</p> <p>12 その他の業務費用 : リフィル処方箋等の開発終了すること等による減</p> <p>※当期末処分利益1,145,289千円は、次期に繰り越すこととする。</p>		令和5年度	令和6年度	差引増減	協会けんぽ	114,572	263,297	148,725	健保組合	80,479	187,982	107,502	共済組合	24,647	65,344	40,697	生保実施機関	-	13,489	13,489	合 計	219,699	530,114	310,414
	令和5年度	令和6年度	差引増減																												
協会けんぽ	114,572	263,297	148,725																												
健保組合	80,479	187,982	107,502																												
共済組合	24,647	65,344	40,697																												
生保実施機関	-	13,489	13,489																												
合 計	219,699	530,114	310,414																												
I 業務収益																															
1 負担金収入	219,699		530,114		310,414																										
2 保管手数料収入	-		668		668																										
3 補助金収入	3,055,396	3,275,095	380,504	911,287	▲ 2,674,892	▲ 2,363,808																									
II 業務費用																															
1 給与手当	94,728		90,169		▲ 4,558																										
2 賞与	11,660		10,932		▲ 727																										
3 賞与引当金繰入額	6,023		7,809		1,786																										
4 退職給付費用	12,194		11,023		▲ 1,171																										
5 法定福利費	17,761		16,852		▲ 909																										
6 保守料	402,316		335,922		▲ 66,393																										
7 委託費	461,394		50,973		▲ 410,420																										
8 租税公課	179,057		32,648		▲ 146,409																										
9 減価償却費	16,895		208,682		191,786																										
10 共同運営調整金支出	1,469		13,245		11,776																										
11 補助金精算返納金	964,140		3,900		▲ 960,240																										
12 その他の業務費用	79,376	2,247,018	20,367	802,527	▲ 59,009	▲ 1,444,490																									
業務利益		1,028,077		108,759		▲ 919,318																									
(業務外損益の部)																															
業務外収益																															
受取利息	1	1	428	428	427	427																									
経常利益		1,028,078		109,187		▲ 918,890																									
当期純利益		1,028,078		109,187		▲ 918,890																									
前期繰越利益		8,022		1,036,101		1,028,078																									
当期末処分利益		1,036,101		1,145,289		109,187																									

医療介護情報化等特別会計電子処方箋管理勘定 貸借対照表

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部			令和6事業年度 主要説明事項																										
区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)	② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)	区 分	① 令和5事業年度 (令和6年3月31日現在)		② 令和6事業年度 (令和7年3月31日現在)	③ 差引増(▲)減額 (②-①)																								
(資産の部)	千円	千円	千円	(負債の部)	千円	千円	千円	(資産の部) I 流動資産 1 現金及び預金 2 未収負担金 3 未収入金 流動資産合計 II 固定資産 1 有形固定資産 工具器具備品 減価償却累計額 有形固定資産合計 2 無形固定資産 (1) ソフトウェア (2) ソフトウェア仮勘定 無形固定資産合計 3 投資その他の資産 (1) 退職給付引当資産 (2) 別途積立資産 投資その他の資産合計 固定資産合計 資産合計																								
I 流動資産				I 流動負債																												
1 現金及び預金	2,680,850	672,996	▲ 2,007,854	1 未払金	2,649,326	641,110	▲ 2,008,215	I 流動資産 1 現金及び預金 2 未収負担金 II 固定資産 2 無形固定資産 (1) ソフトウェア (2) ソフトウェア仮勘定																								
2 未収負担金	13,536	31,614	18,078	2 未払費用	927	1,163	235																									
3 未収入金	-	7	7	3 未払消費税等	4,990	17,316	12,326	「現金及び預金」 (単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>差引増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>剰余金</td> <td>30,235</td> <td>45,307</td> <td>15,072</td> </tr> <tr> <td>未払資金等</td> <td>2,650,615</td> <td>627,689</td> <td>▲ 2,022,926</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,680,850</td> <td>672,996</td> <td>▲ 2,007,854</td> </tr> </tbody> </table> ※目的積立預金については、R6より「I 流動資産」の「現金及び預金」から「II 固定資産」の「3 投資その他の資産」に計上	項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額	剰余金	30,235	45,307	15,072	未払資金等	2,650,615	627,689	▲ 2,022,926	計	2,680,850	672,996	▲ 2,007,854								
項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額																													
剰余金	30,235	45,307	15,072																													
未払資金等	2,650,615	627,689	▲ 2,022,926																													
計	2,680,850	672,996	▲ 2,007,854																													
流動資産合計	2,694,387	704,619	▲ 1,989,768	4 預り金	1,319	884	▲ 434	: 運営負担金単価引上げによる増																								
II 固定資産				5 賞与引当金	6,023	7,809	1,786	II 固定資産 2 無形固定資産 (1) ソフトウェア (2) ソフトウェア仮勘定																								
1 有形固定資産				流動負債合計	2,662,585	668,284	▲ 1,994,301																									
工具器具備品	400	400	-	II 固定負債				(1) ソフトウェア (2) ソフトウェア仮勘定																								
減価償却累計額	▲ 7	▲ 95	▲ 88	退職給付引当金	11,116	20,953	9,836																									
有形固定資産合計	392	304	▲ 88	固定負債合計	11,116	20,953	9,836	: 院内、退院時処方の連携機能の追加開発による増 : 電子処方箋管理サービスに係る追加開発の終了による減																								
2 無形固定資産				負債合計	2,673,702	689,237	▲ 1,984,465	(負債の部)																								
(1) ソフトウェア	996,404	1,081,910	85,505	(資本の部)				I 流動負債																								
(2) ソフトウェア仮勘定	18,620	-	▲ 18,620	利益剰余金				1 未払金																								
無形固定資産合計	1,015,024	1,081,910	66,885	当期未処分利益	1,036,101	1,145,289	109,187	: システム開発規模の縮小による減 「未払金」 (単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>差引増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務関係システム関連経費</td> <td>1,579,525</td> <td>630,501</td> <td>▲ 949,023</td> </tr> <tr> <td>超過勤務手当</td> <td>2,757</td> <td>1,777</td> <td>▲ 980</td> </tr> <tr> <td>その他業務費用</td> <td>102,902</td> <td>4,931</td> <td>▲ 97,971</td> </tr> <tr> <td>補助金精算返納金</td> <td>964,140</td> <td>3,900</td> <td>▲ 960,240</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,649,326</td> <td>641,110</td> <td>▲ 2,008,215</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額	業務関係システム関連経費	1,579,525	630,501	▲ 949,023	超過勤務手当	2,757	1,777	▲ 980	その他業務費用	102,902	4,931	▲ 97,971	補助金精算返納金	964,140	3,900	▲ 960,240	計	2,649,326	641,110	▲ 2,008,215
項目	令和5年度	令和6年度	差引増減額																													
業務関係システム関連経費	1,579,525	630,501	▲ 949,023																													
超過勤務手当	2,757	1,777	▲ 980																													
その他業務費用	102,902	4,931	▲ 97,971																													
補助金精算返納金	964,140	3,900	▲ 960,240																													
計	2,649,326	641,110	▲ 2,008,215																													
投資その他の資産				利益剰余金合計	1,036,101	1,145,289	109,187																									
(1) 退職給付引当資産	-	17,457	17,457	資本合計	1,036,101	1,145,289	109,187																									
(2) 別途積立資産	-	30,235	30,235	負債・資本合計	3,709,804	1,834,526	▲ 1,875,277																									
投資その他の資産合計	-	47,693	47,693																													
固定資産合計	1,015,416	1,129,907	114,490																													
資産合計	3,709,804	1,834,526	▲ 1,875,277																													

## 医療介護情報化等特別会計 医療情報化支援基金勘定【損益計算書】

単位：億円 区分	令和5事業年度	令和6事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
<b>I 業務収益</b>	<b>1,035.0</b>	<b>839.1</b>	<b>▲195.9</b>
1 交付金収入	289.1	172.0	▲117.1
2 補助金収入	193.9	520.8	326.9
3 支援基金からの受入・整備費	529.3	132.4	▲396.9
4 支援基金からの受入・事務費	22.8	14.0	▲8.8
<b>II 業務費用</b>	<b>1,027.4</b>	<b>839.2</b>	<b>▲188.2</b>
1 支援基金への繰入	289.1	173.4	▲115.7
2 給与費関係	1.4	1.4	0.0
3 退職給付費用	0.1	0.1	0.0
4 法定福利費	0.2	0.2	0.0
5 電子資格確認用物品提供費	1.3	0.0	▲1.3
6 減価償却費	0.7	2.3	1.7
7 システム整備費補助金支出	545.0	290.6	▲254.4
8 補助金精算返納金	171.7	339.0	167.3
9 その他の業務費用	17.9	32.1	14.1
<b>業務利益(▲業務損失)</b>	<b>7.6</b>	<b>▲0.1</b>	<b>▲7.7</b>
<b>業務外損益</b>			
業務外収益	0.0	1.4	1.4
<b>経常利益</b>	<b>7.6</b>	<b>1.4</b>	<b>▲6.3</b>
<b>当期純利益</b>	<b>7.6</b>	<b>1.4</b>	<b>▲6.3</b>
<b>前期繰越利益</b>	<b>1.7</b>	<b>9.3</b>	<b>7.6</b>
<b>当期末処分利益</b>	<b>9.3</b>	<b>10.7</b>	<b>1.4</b>

医療機関等向け総合ポータルサイトにおけるシステム改修(柔整あはき等対応)の資産計上(ソフトウェア)により、当期純利益1.4億円を計上

## 医療介護情報化等特別会計 医療情報化支援基金勘定【貸借対照表】

単位：億円

### 資産の部

区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動資産</b>	<b>1,093.2</b>	<b>1,284.4</b>	<b>191.2</b>
現金及び預金	1,093.2	1,284.4	191.2
<b>II 固定資産</b>	<b>9.5</b>	<b>11.2</b>	<b>1.7</b>
1 有形固定資産	0.0	0.0	0.0
2 無形固定資産	9.5	10.8	1.4
3 投資その他の資産	-	0.3	0.3
退職給付引当資産	-	0.3	0.3
<b>資産合計</b>	<b>1,102.7</b>	<b>1,295.5</b>	<b>192.9</b>

### 負債の部

区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動負債</b>	<b>183.2</b>	<b>347.6</b>	<b>164.4</b>
1 未払金	183.0	347.5	164.4
2 未払電子資格 確認用物品提供費	0.0	-	▲0.0
3 未払費用	0.0	0.0	▲0.0
4 預り金	0.0	0.0	▲0.0
5 賞与引当金	0.1	0.1	0.0
<b>II 固定負債</b>	<b>910.1</b>	<b>937.2</b>	<b>27.1</b>
1 支援基金	909.9	936.9	27.0
2 退職給付引当金	0.2	0.3	0.1
<b>負債合計</b>	<b>1,093.3</b>	<b>1,284.8</b>	<b>191.5</b>

### 資本の部

区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
利益剰余金	9.3	10.7	1.4
<b>資本合計</b>	<b>9.3</b>	<b>10.7</b>	<b>1.4</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>1,102.7</b>	<b>1,295.5</b>	<b>192.9</b>

国庫へ返還する補助金残額(339億円)により未払金(流動負債)が増加し、支援基金の追加交付及び医療機関等へのシステム整備費補助金の交付に係る補助金申請が伸びなかったことにより支援基金(固定負債)残高が増加(27億円)し、現預金(流動資産)が増加

## 医療介護情報化等特別会計 連結情報提供勘定【損益計算書】

単位：百万円

区分	令和5事業年度	令和6事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
<b>I 業務収益</b>	<b>92</b>	<b>73</b>	<b>▲19</b>
1 手数料収入	57	61	4
<u>2 補助金収入</u>	24	<u>9</u>	<u>▲15</u>
3 共同運営調整金収入	11	3	▲8
<b>II 業務費用</b>	<b>91</b>	<b>77</b>	<b>▲14</b>
1 給与費関係	18	13	▲5
2 退職給付費用	1	1	▲0
3 法定福利費	3	2	▲1
4 保守料	35	50	15
<u>5 補助金精算返納金</u>	24	<u>5</u>	<u>▲19</u>
6 その他の業務費用	10	6	▲4
<b>業務利益 (▲業務損失)</b>	<b>1</b>	<b>▲4</b>	<b>▲5</b>
<b>業務外損益</b>			
業務外収益	0	0	0
<b>経常利益 (▲経常損失)</b>	<b>1</b>	<b>▲4</b>	<b>▲5</b>
<b>当期純利益 (▲当期純損失)</b>	<b>1</b>	<b>▲4</b>	<b>▲5</b>
前期繰越利益	2	3	1
<b>当期末処分利益 (▲当期末処理損失)</b>	<b>3</b>	<b>▲1</b>	<b>▲4</b>

連結情報照会者からの手数料収入の不足に備え交付された補助金9百万円については、当期の手数料収入及び共同運営調整金収入によって、人件費及び業務運営経費を賄えなかったため、補助金のうち4百万円を充当し、残額5百万円を国庫へ返還する補助金精算返納金として当期に費用計上

Change.Challenge.Chance 社会保険診療報酬支払基金  
Health Insurance Cost Share & Reimbursement Service

## 医療介護情報化等特別会計 連結情報提供勘定【貸借対照表】

単位：百万円

資産の部				負債の部			
区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額	区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動資産</b>	<b>72</b>	<b>64</b>	<b>▲8</b>	<b>I 流動負債</b>	<b>67</b>	<b>66</b>	<b>▲1</b>
1 <u>現金及び預金</u>	62	53	<u>▲9</u>	1 未払金	64	64	▲0
2 未収手数料	11	12	1	2 未払費用	0	0	0
3 未収入金	-	0	0	3 未払消費税等	1	1	▲1
<b>II 固定資産</b>	<b>-</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	4 預り金	0	0	▲0
<u>投資その他の資産</u>	<b>-</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	5 賞与引当金	1	1	0
(1) 退職給付引当資産	-	3	3	<b>II 固定負債</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>1</b>
(2) 別途積立資産	-	1	1	退職給付引当金	2	3	1
<b>資産合計</b>	<b>72</b>	<b>69</b>	<b>▲4</b>	<b>負債合計</b>	<b>69</b>	<b>69</b>	<b>0</b>
				<b>資本の部</b>			
				区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
				利益剰余金	3	▲1	▲4
				<b>資本合計</b>	<b>3</b>	<b>▲1</b>	<b>▲4</b>
				<b>負債・資本合計</b>	<b>72</b>	<b>69</b>	<b>▲4</b>

・積立預金を I 流動資産の「1 現金及び預金」から II 固定資産の「投資その他の資産」に分類計上したことに加え、令和4年度収支剰余金（4百万円）を取崩したことに伴い、現金預金が▲9百万円減少し、投資その他の資産が4百万円増加

Change.Challenge.Chance 社会保険診療報酬支払基金  
Health Insurance Cost Share & Reimbursement Service

# 医療介護情報化等特別会計 電子処方箋管理勘定【損益計算書】

単位：億円

区分	令和5事業年度	令和6事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
<b>I 業務収益</b>	<b>32.8</b>	<b>9.1</b>	<b>▲23.6</b>
1 負担金収入	2.2	5.3	3.1
2 保管手数料収入	-	0.0	0.0
3 補助金収入	30.6	3.8	▲26.7
<b>II 業務費用</b>	<b>22.5</b>	<b>8.0</b>	<b>▲14.4</b>
1 給与関係	1.1	1.1	▲0.0
2 退職給付費用	0.1	0.1	▲0.0
3 法定福利費	0.2	0.2	▲0.0
4 保守料	4.0	3.4	▲0.7
5 委託費	4.6	0.5	▲4.1
6 租税公課	1.8	0.3	▲1.5
7 減価償却費	0.2	2.1	1.9
8 共同運営調整金支出	0.0	0.1	0.1
9 補助金精算返納金	9.6	0.0	▲9.6
10 その他の業務費用	0.8	0.2	▲0.6
<b>業務利益</b>	<b>10.3</b>	<b>1.1</b>	<b>▲9.2</b>
<b>業務外損益</b>			
業務外収益	0.0	0.0	0.0
<b>経常利益</b>	<b>10.3</b>	<b>1.1</b>	<b>▲9.2</b>
<b>当期純利益</b>	<b>10.3</b>	<b>1.1</b>	<b>▲9.2</b>
<b>前期繰越利益</b>	<b>0.1</b>	<b>10.4</b>	<b>10.3</b>
<b>当期末処分利益</b>	<b>10.4</b>	<b>11.5</b>	<b>1.1</b>

・電子処方箋管理サービスにおけるシステム改修の規模縮小(令和5年度リフィル処方対応等→令和6年度院内処方情報連携対応)による委託費が減少  
 ・電子処方箋管理サービスに係るシステム開発(院内処方情報の連携)の資産計上(ソフトウェア)により、当期純利益1.1億円を計上

# 医療介護情報化等特別会計 電子処方箋管理勘定【貸借対照表】

単位：億円

資産の部				負債の部			
区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額	区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動資産</b>	<b>26.9</b>	<b>7.0</b>	<b>▲19.9</b>	<b>I 流動負債</b>	<b>26.6</b>	<b>6.7</b>	<b>▲19.9</b>
1 現金及び預金	26.8	6.7	▲20.1	1 未払金	26.5	6.4	▲20.1
2 未収負担金	0.1	0.3	0.2	2 未払費用	0.0	0.0	0.0
3 未収入金	-	0.0	0.0	3 未払消費税等	0.0	0.2	0.1
<b>II 固定資産</b>	<b>10.2</b>	<b>11.3</b>	<b>1.1</b>	4 預り金	0.0	0.0	▲0.0
1 有形固定資産	0.0	0.0	▲0.0	5 賞与引当金	0.1	0.1	0.0
2 無形固定資産	10.2	10.8	0.7	<b>II 固定負債</b>	<b>0.1</b>	<b>0.2</b>	<b>0.1</b>
3 投資その他の資産	-	0.5	0.5	退職給付引当金	0.1	0.2	0.1
(1) 退職給付引当資産	-	0.2	0.2	<b>負債合計</b>	<b>26.7</b>	<b>6.9</b>	<b>▲19.8</b>
(2) 別途積立資産	-	0.3	0.3				
<b>資産合計</b>	<b>37.1</b>	<b>18.3</b>	<b>▲18.8</b>				
				<b>資本の部</b>			
				区分	令和5年決算	令和6年決算	差引増(▲)減額
				利益剰余金	10.4	11.5	1.1
				<b>資本合計</b>	<b>10.4</b>	<b>11.5</b>	<b>1.1</b>
				<b>負債・資本合計</b>	<b>37.1</b>	<b>18.3</b>	<b>▲18.8</b>

・システム関連経費(電子処方箋管理サービスにおける追加開発の規模縮小：令和5年度リフィル処方対応等→令和6年度院内処方情報連携対応)及び国庫への返還金等の未払金(流動負債)▲20億円減少に伴い、現預金(流動資産)も減少  
 ・電子処方箋管理サービスに係るシステム開発(院内処方情報の連携)を無形固定資産(ソフトウェア)に計上

令和6事業年度医療介護情報化等特別会計（医療情報化支援基金勘定）収入支出内訳

（単位：億円）

区分	予算額	決算額	差引増▲減額	事業の概要
収入				
交付金収入	172.0	172.0	-	1-①オンライン資格確認導入【交付なし】 1-②電子カルテ標準化【交付なし】 1-③電子処方箋導入【172.0億円⇒172.0億円】 1-④訪問看護オン資導入【交付なし】
補助金収入	520.8	520.8	-	2-①訪問診療等オン資導入【169.8億円⇒169.8億円】 2-②医療扶助オン資導入【17.2億円⇒17.2億円】 2-③マイナ保険証利用促進【199.2億円⇒199.2億円】 2-④カードリーダー増設【16.9億円⇒16.9億円】 2-⑤公費受給者証等一体化【41.7億円⇒41.7億円】 2-⑥電子処方箋機能拡充【76.0億円⇒76.0億円】
支援基金からの受入金	647.2	146.4	▲500.8	
支援基金からの受入金・整備費	621.1	132.4	▲488.7	
支援基金からの受入金・事務費	26.1	14.0	▲12.1	
雑収入	0.1	1.4	1.4	運用利子収入（年応：予算0.001%→決算0.173%）
①計	1,340.0	840.6	▲499.4	

【概要】  
「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）の改正に伴い、「社会保険診療報酬支払基金の医療機関等情報化補助業務」が追加されたことから、令和元年12月25日に厚生労働大臣の認可を受け、令和2年1月1日から、国から医療提供体制整備整備交付金の交付を受けて、オンライン資格確認の導入に係る補助金の交付業務及び顔認証付きカードリーダーの調達・提供業務を行っている。  
また、当該事業に係る必要経費については、国からの交付金を同法律33条に基づき、「医療情報化支援基金」を設け、医療情報化支援基金管理運営要領の11の規定により、必要な額を当該基金から取り崩して充てることとされていることから、収入と支出に差が生じない。  
令和6年度は、令和5年度から引き続き、オンライン資格確認の用途拡大及びマイナンバーカード利用促進に向けた支援業務として別に交付された国庫補助金により実施。

区分	予算額	決算額	差引増▲減額	主な増減要素																																																																																																					
支出																																																																																																									
支援基金への繰入金	172.1	173.4	1.4	支援基金への繰入金（1.4億円）：運用利子収入																																																																																																					
システム整備費補助金支出	1,101.9	290.6	▲811.3	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">事業</th> <th rowspan="3">①予算額</th> <th rowspan="3">②取崩額</th> <th rowspan="3">③差額 (②-①)</th> <th colspan="4">差額理由</th> </tr> <tr> <th colspan="2">システム整備費補助金支出</th> <th colspan="2">業務運営費</th> </tr> <tr> <th>申請期間</th> <th>交付機関数</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-① オンライン資格確認導入</td> <td>62.4</td> <td>34.5</td> <td>▲28.0</td> <td>R2.3～R6.6</td> <td>0.7 万機関</td> <td>▲25.7</td> <td>パンフレット作成・郵送費の減等</td> <td>▲2.2</td> </tr> <tr> <td>1-② 電子カルテ標準化</td> <td>33.1</td> <td>0.6</td> <td>▲32.6</td> <td>R6.3.31～R13.9</td> <td>-</td> <td>▲31.5</td> <td>コンタクトセンター運用経費の減等</td> <td>▲1.1</td> </tr> <tr> <td>1-③ 電子処方箋導入</td> <td>482.3</td> <td>81.1</td> <td>▲401.2</td> <td>R5.2～R7.9</td> <td>4.5 万機関</td> <td>▲395.0</td> <td>パンフレット作成・郵送費の減等</td> <td>▲6.2</td> </tr> <tr> <td>1-④ 訪問看護等オン資導入</td> <td>69.4</td> <td>30.3</td> <td>▲39.1</td> <td>R6.2～R7.5</td> <td>0.7 万機関</td> <td>▲36.5</td> <td>電子申請新ポータルサイト改修経費の減等</td> <td>▲2.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>647.2</td> <td>146.4</td> <td>▲500.8</td> <td></td> <td>5.9 万機関</td> <td>▲488.7</td> <td></td> <td>▲12.1</td> </tr> </tbody> </table>	事業	①予算額	②取崩額	③差額 (②-①)	差額理由				システム整備費補助金支出		業務運営費		申請期間	交付機関数			1-① オンライン資格確認導入	62.4	34.5	▲28.0	R2.3～R6.6	0.7 万機関	▲25.7	パンフレット作成・郵送費の減等	▲2.2	1-② 電子カルテ標準化	33.1	0.6	▲32.6	R6.3.31～R13.9	-	▲31.5	コンタクトセンター運用経費の減等	▲1.1	1-③ 電子処方箋導入	482.3	81.1	▲401.2	R5.2～R7.9	4.5 万機関	▲395.0	パンフレット作成・郵送費の減等	▲6.2	1-④ 訪問看護等オン資導入	69.4	30.3	▲39.1	R6.2～R7.5	0.7 万機関	▲36.5	電子申請新ポータルサイト改修経費の減等	▲2.6	計	647.2	146.4	▲500.8		5.9 万機関	▲488.7		▲12.1																																								
事業	①予算額	②取崩額	③差額 (②-①)	差額理由																																																																																																					
				システム整備費補助金支出					業務運営費																																																																																																
				申請期間	交付機関数																																																																																																				
1-① オンライン資格確認導入	62.4	34.5	▲28.0	R2.3～R6.6	0.7 万機関	▲25.7	パンフレット作成・郵送費の減等	▲2.2																																																																																																	
1-② 電子カルテ標準化	33.1	0.6	▲32.6	R6.3.31～R13.9	-	▲31.5	コンタクトセンター運用経費の減等	▲1.1																																																																																																	
1-③ 電子処方箋導入	482.3	81.1	▲401.2	R5.2～R7.9	4.5 万機関	▲395.0	パンフレット作成・郵送費の減等	▲6.2																																																																																																	
1-④ 訪問看護等オン資導入	69.4	30.3	▲39.1	R6.2～R7.5	0.7 万機関	▲36.5	電子申請新ポータルサイト改修経費の減等	▲2.6																																																																																																	
計	647.2	146.4	▲500.8		5.9 万機関	▲488.7		▲12.1																																																																																																	
職員諸給与	1.8	1.6	▲0.2																																																																																																						
管理諸費	64.1	35.8	▲28.4																																																																																																						
システム関連経費	39.6	28.4	▲11.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">事業</th> <th rowspan="3">①予算額</th> <th rowspan="3">②交付額</th> <th rowspan="3">③差額 (②-①)</th> <th rowspan="3">差額理由</th> <th colspan="4">差額理由</th> </tr> <tr> <th colspan="2">システム整備費補助金支出</th> <th colspan="2">業務運営費</th> </tr> <tr> <th>申請期間</th> <th>交付機関数</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-① 訪問診療等オン資導入</td> <td>169.8</td> <td>169.8</td> <td>-</td> <td></td> <td>40.2</td> <td>▲129.6</td> <td>R6.2～R7.1</td> <td>5.2 万機関</td> <td>▲124.7</td> <td>コンタクトセンター運用経費の減等</td> <td>▲4.9</td> </tr> <tr> <td>2-② 医療扶助オン資導入</td> <td>17.2</td> <td>17.2</td> <td>-</td> <td></td> <td>10.3</td> <td>▲6.9</td> <td>R5.11～R7.1</td> <td>1.5 万機関</td> <td>▲4.5</td> <td>パンフレット作成・郵送費の減等</td> <td>▲2.4</td> </tr> <tr> <td>2-③ マイナ保険証利用促進</td> <td>199.2</td> <td>199.2</td> <td>-</td> <td></td> <td>104.4</td> <td>▲94.8</td> <td>R6.4～R7.1</td> <td>9.7 万機関</td> <td>▲91.4</td> <td>支援額決定通知書封入封緘・郵送費の減等</td> <td>▲3.4</td> </tr> <tr> <td>2-④ カードリーダー増設</td> <td>16.9</td> <td>16.9</td> <td>-</td> <td></td> <td>5.5</td> <td>▲11.4</td> <td>R6.4～R7.1</td> <td>0.2 万機関</td> <td>▲9.8</td> <td>パンフレット作成・郵送費の減等</td> <td>▲1.6</td> </tr> <tr> <td>2-⑤ 公費受給者証等一体化</td> <td>41.7</td> <td>41.7</td> <td>-</td> <td></td> <td>13.7</td> <td>▲28.0</td> <td>R6.4～R7.1</td> <td>2.3 万機関</td> <td>▲25.7</td> <td>パンフレット作成・郵送費の減等</td> <td>▲2.3</td> </tr> <tr> <td>2-⑥ 電子処方箋機能拡充</td> <td>76.0</td> <td>76.0</td> <td>-</td> <td></td> <td>7.7</td> <td>▲68.3</td> <td>R6.4～R6.12</td> <td>0.7 万機関</td> <td>▲66.5</td> <td>コンタクトセンター運用経費の減等</td> <td>▲1.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>520.8</td> <td>520.8</td> <td>-</td> <td></td> <td>181.7</td> <td>▲339.0</td> <td></td> <td>19.7 万機関</td> <td>▲322.6</td> <td></td> <td>▲16.4</td> </tr> </tbody> </table>	事業	①予算額	②交付額	③差額 (②-①)	差額理由	差額理由				システム整備費補助金支出		業務運営費		申請期間	交付機関数			2-① 訪問診療等オン資導入	169.8	169.8	-		40.2	▲129.6	R6.2～R7.1	5.2 万機関	▲124.7	コンタクトセンター運用経費の減等	▲4.9	2-② 医療扶助オン資導入	17.2	17.2	-		10.3	▲6.9	R5.11～R7.1	1.5 万機関	▲4.5	パンフレット作成・郵送費の減等	▲2.4	2-③ マイナ保険証利用促進	199.2	199.2	-		104.4	▲94.8	R6.4～R7.1	9.7 万機関	▲91.4	支援額決定通知書封入封緘・郵送費の減等	▲3.4	2-④ カードリーダー増設	16.9	16.9	-		5.5	▲11.4	R6.4～R7.1	0.2 万機関	▲9.8	パンフレット作成・郵送費の減等	▲1.6	2-⑤ 公費受給者証等一体化	41.7	41.7	-		13.7	▲28.0	R6.4～R7.1	2.3 万機関	▲25.7	パンフレット作成・郵送費の減等	▲2.3	2-⑥ 電子処方箋機能拡充	76.0	76.0	-		7.7	▲68.3	R6.4～R6.12	0.7 万機関	▲66.5	コンタクトセンター運用経費の減等	▲1.8	計	520.8	520.8	-		181.7	▲339.0		19.7 万機関	▲322.6		▲16.4
事業	①予算額	②交付額	③差額 (②-①)	差額理由						差額理由																																																																																															
										システム整備費補助金支出		業務運営費																																																																																													
					申請期間	交付機関数																																																																																																			
2-① 訪問診療等オン資導入	169.8	169.8	-		40.2	▲129.6	R6.2～R7.1	5.2 万機関	▲124.7	コンタクトセンター運用経費の減等	▲4.9																																																																																														
2-② 医療扶助オン資導入	17.2	17.2	-		10.3	▲6.9	R5.11～R7.1	1.5 万機関	▲4.5	パンフレット作成・郵送費の減等	▲2.4																																																																																														
2-③ マイナ保険証利用促進	199.2	199.2	-		104.4	▲94.8	R6.4～R7.1	9.7 万機関	▲91.4	支援額決定通知書封入封緘・郵送費の減等	▲3.4																																																																																														
2-④ カードリーダー増設	16.9	16.9	-		5.5	▲11.4	R6.4～R7.1	0.2 万機関	▲9.8	パンフレット作成・郵送費の減等	▲1.6																																																																																														
2-⑤ 公費受給者証等一体化	41.7	41.7	-		13.7	▲28.0	R6.4～R7.1	2.3 万機関	▲25.7	パンフレット作成・郵送費の減等	▲2.3																																																																																														
2-⑥ 電子処方箋機能拡充	76.0	76.0	-		7.7	▲68.3	R6.4～R6.12	0.7 万機関	▲66.5	コンタクトセンター運用経費の減等	▲1.8																																																																																														
計	520.8	520.8	-		181.7	▲339.0		19.7 万機関	▲322.6		▲16.4																																																																																														
その他経常経費	24.6	7.4	▲17.2																																																																																																						
退職給付引当預金への繰入金	0.1	0.1	-																																																																																																						
予備費	0.0	-	▲0.0																																																																																																						
②計	1,340.0	501.6	▲838.4																																																																																																						
差引過・不足(▲)額(①-②)	-	339.0																																																																																																							

※各金額にあつては、端数処理の関係から横計・縦計が一致しない場合がある。

収入 支出 差  
840.6億円 - 501.6億円 = 339.0億円 → 収支剰余（国へ返還）

医療情報化支援基金残高（令和6年度末現在）：936.9億円

令和6事業年度医療介護情報化等特別会計（連結情報提供勘定）収入支出内訳

（単位：千円）

区分	予算額	決算額	差引増▲減額	主な増減要素		
収入	手数料収入	68,765	67,251	▲1,513	見込件数 1,136,600千件 →1,111,582千件（▲25,017千件（▲2.2%）） （政令：千件までごとに55円（税抜））	
	補助金収入	9,240	9,240	-	<b>【概要】</b> 「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第12条に、医療保険被保険者番号等の履歴を利用した、保険医療等情報を正確に連結するための情報の提供に係る規定が設けられ、また同法第24条第2号に当該情報を提供する業務「支払基金連結情報提供業務」が追加されたことから、令和4年1月14日に厚生労働大臣の認可を受けるとともに、国から補助金を受けて令和4年3月22日から履歴照会・回答システムの運用等業務を開始。	
	共同運営調整金収入	3,006	3,005	▲0		
	受入金	4,472	4,471	▲0		令和4年度収支決算剰余金
	雑収入	3	20	17		利子収入
① 計	85,486	83,989	▲1,496			

区分	予算額	決算額	差引増▲減額	主な増減要素	
支出	職員諸給与	18,872	14,744	▲4,127	予算定員（2名） ・支給単価差等 ▲4,127千円
	管理諸費	63,790	62,176	▲1,613	（業務運営経費） ・システム監査経費（監査内容精査）、赴任旅費（対象者なし）等 ▲1,620千円
	システム関連経費	54,616	54,614	▲1	
	その他経常経費	8,615	6,994	▲1,620	
	納付消費税	559	567	8	
	退職給付引当預金への繰入	1,820	1,819	▲0	
	予備費	1,004	-	▲1,004	予備費不使用
② 計	85,486	78,739	▲6,746		
差引過・不足（▲）額（①-②）	-	5,250			

※各金額にあつては、端数処理の関係から横計・縦計が一致しない場合がある。

収入 支出 差  
83,989千円 - 78,739千円 = 5,250千円 → 収支剰余は国へ返還

令和6事業年度医療介護情報化等特別会計（電子処方箋管理勘定）収入支出内訳

（単位：億円）

区分	予算額	決算額	差引増▲減額	主な増減要素																									
収入	負担金収入	5.8	5.8	0.0	【負担金収入内訳】 （単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>予算</th> <th>決算</th> <th>差引増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協会けんぽ</td> <td>289,627</td> <td>289,627</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>健保組合</td> <td>206,336</td> <td>206,781</td> <td>445</td> </tr> <tr> <td>共済組合</td> <td>71,880</td> <td>71,878</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td>生保実施機関</td> <td>14,844</td> <td>14,838</td> <td>▲6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>582,687</td> <td>583,126</td> <td>439</td> </tr> </tbody> </table>		予算	決算	差引増減	協会けんぽ	289,627	289,627	0	健保組合	206,336	206,781	445	共済組合	71,880	71,878	▲1	生保実施機関	14,844	14,838	▲6	合計	582,687	583,126	439
		予算	決算	差引増減																									
	協会けんぽ	289,627	289,627	0																									
	健保組合	206,336	206,781	445																									
共済組合	71,880	71,878	▲1																										
生保実施機関	14,844	14,838	▲6																										
合計	582,687	583,126	439																										
補助金収入	3.8	3.8	-																										
保管手数料収入	0.0	0.0	▲ 0.0	予算 4,583千円 → 決算 735千円（▲3,848千円）																									
雑収入	0.0	0.0	0.0	【概要】 「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）の一部改正により、同法第24条第2項に電子処方箋管理サービスの管理・運営する業務を行うこととされ、令和5年1月から運用開始。																									
① 計	9.7	9.6	▲ 0.0																										

区分	予算額	決算額	差引増▲減額	主な増減要素	
支出	職員諸給与	1.4	1.3	▲ 0.1	予算定員（13名） ・支給単価差等 ▲0.1億円
	管理諸費	8.0	7.7	▲ 0.3	
	システム関連経費	7.5	7.3	▲ 0.2	・コンタクトセンター運用経費の減（実態に則した席数の確保） ▲0.2億円
	その他経常経費	0.4	0.2	▲ 0.1	・業務運営経費の減（旅費、レイアウト変更経費、システム監査経費、臨時職員経費等） ▲0.1億円
	納付消費税	0.1	0.2	0.0	
	退職給付引当預金への繰入	0.1	0.1	-	
	共同運営調整金	0.1	0.1	-	
予備費	0.1	-	▲ 0.1	予備費不使用	
② 計	9.7	9.2	▲ 0.5		
差引過・不足（▲）額（①-②）	-	0.5			

※各金額にあつては、端数処理の関係から横計・縦計が一致しない場合がある。

収入	支出	差
9.6億円	9.2億円	= 0.5億円 → 収支剰余
		① 0.04億円（3,900千円）は国へ返還
		② 0.5億円は別途積立預金へ

オンライン資格確認導入支援、電子処方箋導入及び電子カルテ標準化導入補助業務（補助金事業）

決算の概況

1. 医療情報化支援基金事業（財源：医療提供体制設備整備交付金）

○ 収入及び支出においては、医療機関・薬局等に対する補助事業の申請期間の関係から、補助金交付機関数が見込みより減少し、支援基金からの取崩額及び支出額がともに▲500.8億円減少

○ 医療情報化支援基金の残高は、令和5年度末残高909.9億円からシステム整備費補助金の交付132.4億円及び業務運営費14.0億円の146.4億円を支援基金から取り崩し、令和6年度追加増資分172.0億円に運用利子収入1.4億円を加えた173.4億円を積み増したことにより**令和6年度末残高は936.9億円**

(単位：億円)

内訳	収入・支出 予算 a	支出額 (取崩額) b	(内訳)		増減額 b-a	減額理由	期首残高 c			6年度末 残高 c-b
			システム 整備費 補助金	業務 運営費			5年度 末残高	増資額	利子 収入	
1-① <b>オン資導入</b> 医療機関・薬局に対する オン資格導入補助事業	62.4	34.5	(27.7)	(6.8)	▲28.0	・申請期間：R2.3~R6.6 ・交付機関数の減 見込1.1万機関⇒0.7万機関	203.7	(-)	0.2	169.5
1-② <b>電子処方箋導入</b> 電子処方箋導入補助事業	482.3	81.1	(76.2)	(4.8)	▲401.2	・申請期間：R5.2~R7.9 ・交付機関数の減 見込16.8万機関⇒4.5万機関	503.1	172.0	0.9	594.9
1-③ <b>電子カルテ標準化</b> 電子カルテ標準化補助事業	33.1	0.6	(-)	(0.6)	▲32.6	・申請期間：R6.31~R1.39 ・交付機関数の減 見込5万機関⇒交付なし	148.6	(-)	0.3	148.3
1-④ <b>訪問看護等オン資導入</b> 訪問看護ステーション等に対する オン資格導入補助事業	69.4	30.3	(28.5)	(1.8)	▲39.1	・申請期間：R6.2~R7.5 ・交付機関数の減 見込1.5万機関⇒0.7万機関	54.5	(-)	0.1	24.2
計	647.2	146.4	(132.4)	(14.0)	▲500.8		909.9	172.0	1.4	936.9

2. 補助金事業（財源：社会保障・税番号制度システム整備等補助金）

○ 収入は、訪問診療等におけるオンライン資格確認導入などの補助事業に係る補助金収入520.8億円

○ 支出は、マイナ保険証の利用率等を交付条件とする支援金交付事業(2-③)の利用率が伸びなかったこと等各補助事業において補助金・支援金等の交付が見込みより大幅に減少し、▲339.0億円減の181.7億円

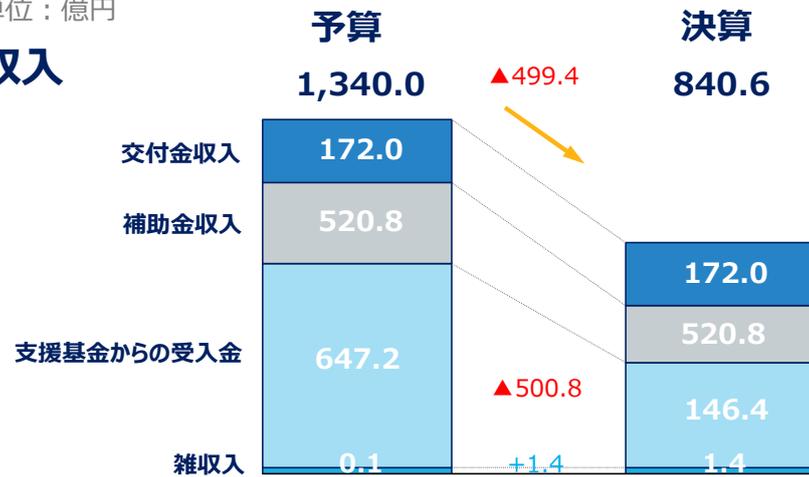
(単位：億円)

内訳	収入・支出 予算 a	支出額 b	(内訳)			収支差 b-a	減額理由
			システム 整備費 補助金	システム 関連経費	業務 運営費		
2-① <b>訪問診療等オン資導入</b> 訪問診療、柔整あはき、オンライン 診療等オン資格補助事業	169.8	40.2	(27.7)	(10.2)	(2.3)	▲129.6	・申請期間：R6.2~R7.1 ・訪問診療、柔整あはき等の 交付機関数の減 見込17.7万機関⇒5.2万機関
2-② <b>医療扶助オン資導入</b> 生活保護指定機関（医療扶助） に対するオン資格補助事業	17.2	10.3	(8.3)	(1.6)	(0.4)	▲6.9	・申請期間：R5.11~R7.1 ・交付機関数の減 見込4.2万機関⇒1.5万機関
2-③ <b>マイナ保険証利用促進</b> マイナ保険証の積極的な利用勧奨の 取組みに対する支援金交付事業	199.2	104.4	(99.5)	(2.6)	(2.3)	▲94.8	・申請期間：R6.4~R7.1 ・交付機関数の減 見込22.8万機関⇒9.7万機関
2-④ <b>カードリーダー増設</b> マイナ保険証利用困難機関等に対する顔 認証付きカードリーダー増設費用の補助事業	16.9	5.5	(4.2)	(1.0)	(0.2)	▲11.4	・申請期間：R6.4~R7.1 ・交付機関数の減 見込0.5万機関⇒0.2万機関
2-⑤ <b>公費受給者証等一体化</b> マイナンバーカードの活用促進事業 (マイナンバーカードを診察券や公費・地 域受給者証の利用に必要なシステム別対応)	41.7	13.7	(12.4)	(0.8)	(0.4)	▲28.0	・申請期間：R6.4~R7.1 ・交付機関数の減 見込4.8万機関⇒2.3万機関
2-⑥ <b>電子処方箋機能拡充</b> 電子処方箋管理サービスの新機能導入支援 (リフィル処方、重複投薬チェック、マイ ナンバーカードによる電子署名対応等)	76.0	7.7	(6.1)	(1.1)	(0.4)	▲68.3	・申請期間：R6.4~R7.1 ・交付機関数の減 見込5.9万機関⇒0.7万機関
計	520.8	181.7	(158.3)	(17.2)	(6.2)	▲339.0	

# 医療介護情報化等特別会計 医療情報化支援基金勘定【収入支出予算と決算内訳】

単位：億円

## 収入



○ 収支剰余339.0億円 (国庫ご返還)  
(収入840.6億円 - 支出501.6億円)

【交付金収入】 172.0億円 (交付金収入同額を支援基金へ繰入)

【補助金収入】 520.8億円

- 2-①訪問診療等オン資導入 169.8
- 2-②医療扶助オン資導入 17.2
- 2-③マイナ保険証利用促進 199.2
- 2-④カードリーダー増設 16.9
- 2-⑤公費受給者証等一体化 41.7
- 2-⑥電子処方箋機能拡充 76.0

【支援基金からの受入金】 146.4億円 (取崩額減額 ▲500.8億円)

- 1-①オン資導入 予算 62.4 → 取崩 34.5 (▲28.0)
- 1-②電子処方箋導入 予算 482.3 → 取崩 81.1 (▲401.2)
- 1-③電子カルテ標準化 予算 33.1 → 取崩 0.6 (▲32.6)
- 1-④訪問看護等オン資導入 予算 69.4 → 取崩 30.3 (▲39.1)

【雑収入】 1.4億円 (運用利子収入)

## 支出



【支援基金への繰入金の増 +1.4億円】  
(運用利子収入の繰入れ)

【取崩額減額による支出の減 ▲500.8億円】

【補助金事業に係る支出減 ▲339.0億円※】

- 2-①訪問診療等オン資導入 ▲129.6
- 2-②医療扶助オン資導入 ▲6.9
- 2-③マイナ保険証利用促進 ▲94.8
- 2-④カードリーダー増設 ▲11.4
- 2-⑤公費受給者証等一体化 ▲28.0
- 2-⑥電子処方箋機能拡充 ▲68.3

※職員諸給与▲0.2含む

総支出減 ▲839.8億円

履歴照会・回答システムの運用（委託・補助金事業）

## 決算の概況

- 運営に必要な財源は、連結情報照会者からの手数料収入（令和6年度:連結情報提供件数1,000件までごとに税抜55円）により賄い、不足分については厚生労働省からの補助金9百万円により充当（国保との共同運営）
- 手数料収入は、NDB等への連結情報提供として11億1千万件(対予算：▲2千5百万件減)を提供し、手数料67百万円を厚生労働省へ請求するとともに、令和4年度収支剰余金4百万円、共同運営調整金3百万円及び補助金9百万円を合わせた84百万円を収入計上
- 支出は、人件費及び業務運営経費の減▲6百万円と予備費不使用▲1百万円により、支出総額が79百万円となり、収支剰余金は5百万円

手数料収入によって支出経費を賄えなかったことから、補助金9百万円のうち4百万円を充当し、残り**5百万円は国庫に返還**

## 医療介護情報化等特別会計 連結情報提供勘定【収入支出予算と決算内訳】

単位：百万円

### 収入



○ 収支剰余5百万円  
(収入84百万円 - 支出79百万円)  
手数料収入によって支出経費を賄えなかったことから、補助金9百万円のうち4百万円を充当し、残り5百万円は国庫に返還

【手数料収入】  
○ 連結情報提供件数の減 ▲2百万円

【連結情報提供件数状況】

区分	予算	決算
NDB(レセプト・特定健診)	11.2億件	11.0億件
DPC-DB	12百万件	9百万件
難病・小児慢性-DB	50万件	582件
計	11.4億件 (69百万円)	11.1億件 (67百万円)

### 支出



【職員諸給与】  
○ 支給単価差 ▲4百万円

【管理諸費】  
○ 業務運営経費の減 ▲2百万円  
(システム監査経費の減)

【予備費】  
○ 予備費不使用 ▲1百万円

電子処方箋管理サービスの運用及び追加開発（委託・補助金事業）

決算の概況

○ 電子処方箋管理サービスについては、保険者からの運営負担金※<sup>1</sup>により運用を実施するとともに、令和6年度においては、補助金により院内処方対応等の追加開発を実施。

また、令和6年7月より調剤済み処方箋の保存サービスの運用を開始し、サービスを利用する保険薬局から保管手数料※<sup>2</sup>を徴収。

※<sup>1</sup> 加入者1人当たり月額単価：0.61円 ※<sup>2</sup> 政令で定める手数料の額：2,500円/年

○ 収入は、保険者からの運営負担金収入5.8億円、追加開発に係る補助金収入3.8億円及び保管手数料収入74万円(294薬局)を合わせた9.6億円

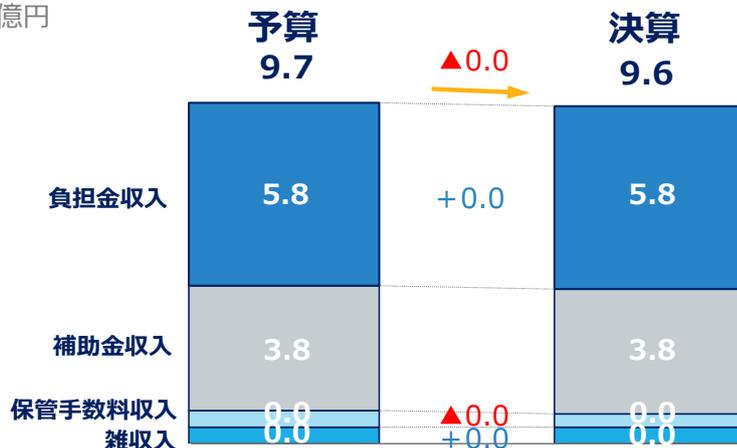
○ 支出は、コンタクトセンターの運用経費の減（実態に則した席数の確保）▲0.2億円等により、支出総額が9.2億円となり、収支剰余金は0.5億円

収支剰余金0.5億円のうち、補助金交付分**0.04億円は国庫に返還**し、残り**0.45億円は令和8年度予算に受入れ**

医療介護情報化等特別会計 電子処方箋管理勘定【収入支出予算と決算内訳】

単位：億円

収入

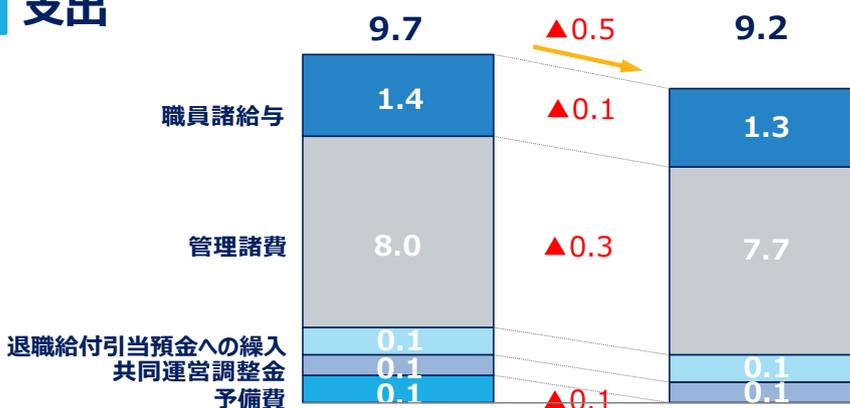


○ 収支剰余0.5億円  
(収入9.6億円－支出9.2億円)  
収支剰余のうち補助金0.04億円は国庫へ返還  
※残り0.45億円は令和8年度予算へ受入

【運営負担金・補助金別の収支状況】

	決算額	補助金	運営負担金
収入	9.6	3.8	5.8
支出	9.2	3.77	5.38
業務運営費 (職員給与、経常経費、 退給繰入等)	1.9	0.4	1.4
システム関連経費	7.3	3.3	3.9
【内訳】運用経費	(3.9)	(0.0)	(3.9)
開発経費	(3.3)	(3.3)	(0.0)
収支剰余	0.5	0.04	0.45

支出



【職員諸給与】▲0.1億円  
・支給単価差による減  
【管理諸費】▲0.3億円  
○ システム関連経費の減▲0.2億円  
・コンタクトセンター運用経費の減（実態に則した席数の確保）等  
○ 経常経費の減▲0.1億円  
・業務運営経費の減

令和6事業年度流行初期医療確保措置特別会計  
流行初期医療確保措置勘定損益計算書

(自 令和6年4月1日)  
(至 令和7年3月31日)

区 分	注記 番号	金 額	
		千円	千円
〔経常損益の部〕			
(業務損益の部)			
I 業務収益			
都道府県事務費収入		44,112	44,112
II 業務費用			
1 給与手当		482	
2 法定福利費		74	
3 委託費		40,937	
4 その他の業務費用		1,267	42,761
業務利益			1,351
当期純利益			1,351
当期未処分利益			1,351

令和6事業年度流行初期医療確保措置特別会計  
流行初期医療確保措置勘定貸借対照表

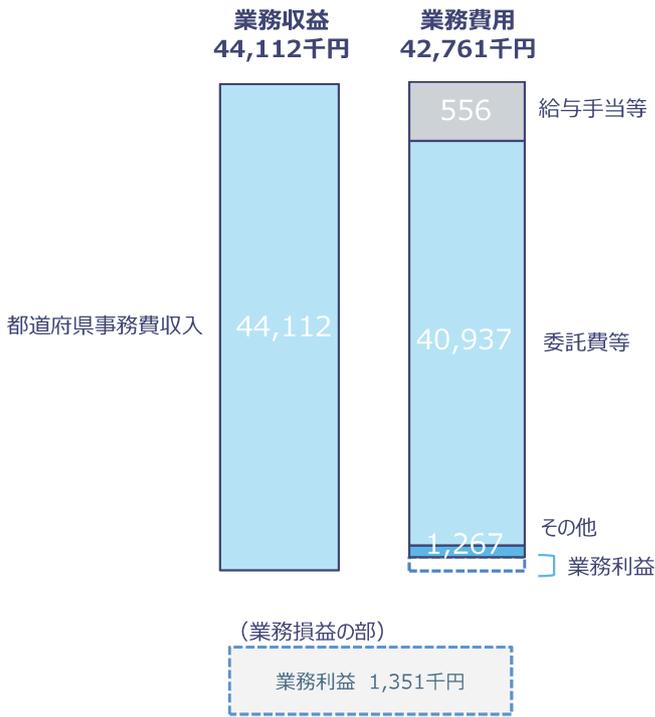
(令和7年3月31日現在)

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部		
区 分	注記 番号	金 額	区 分	注記 番号	金 額
(資産の部)		千円	(負債の部)		千円
I 流動資産			I 流動負債		
現金及び預金		47,751	1 未払金		46,007
流動資産合計		47,751	2 未払消費税等		392
			流動負債合計		46,400
			負債合計		46,400
			(資本の部)		
			利益剰余金		
			当期末処分利益		1,351
			利益剰余金合計		1,351
			資本合計		1,351
資産合計		47,751	負債・資本合計		47,751

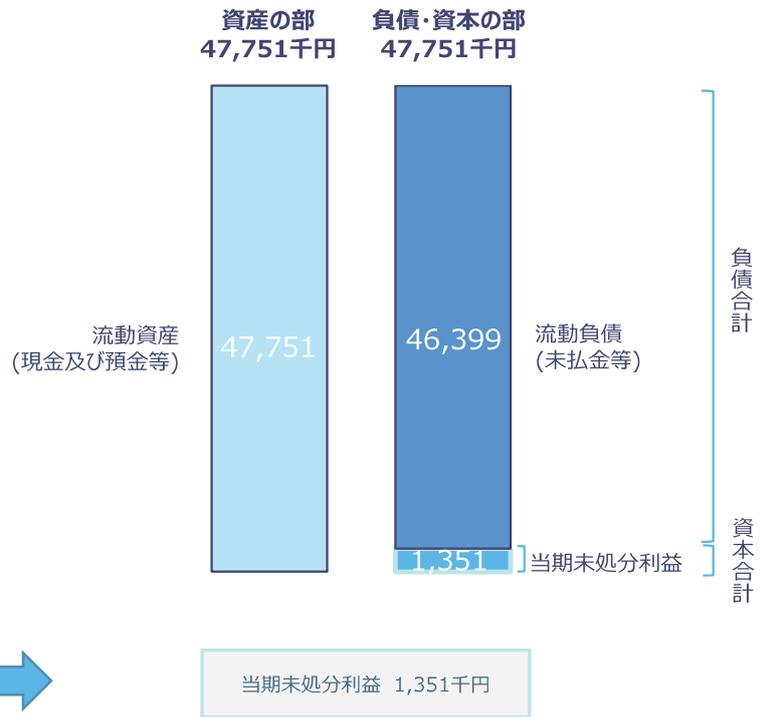
# 流行初期医療確保措置特別会計 流行初期医療確保措置勘定

単位：千円

## 損益計算書



## 貸借対照表

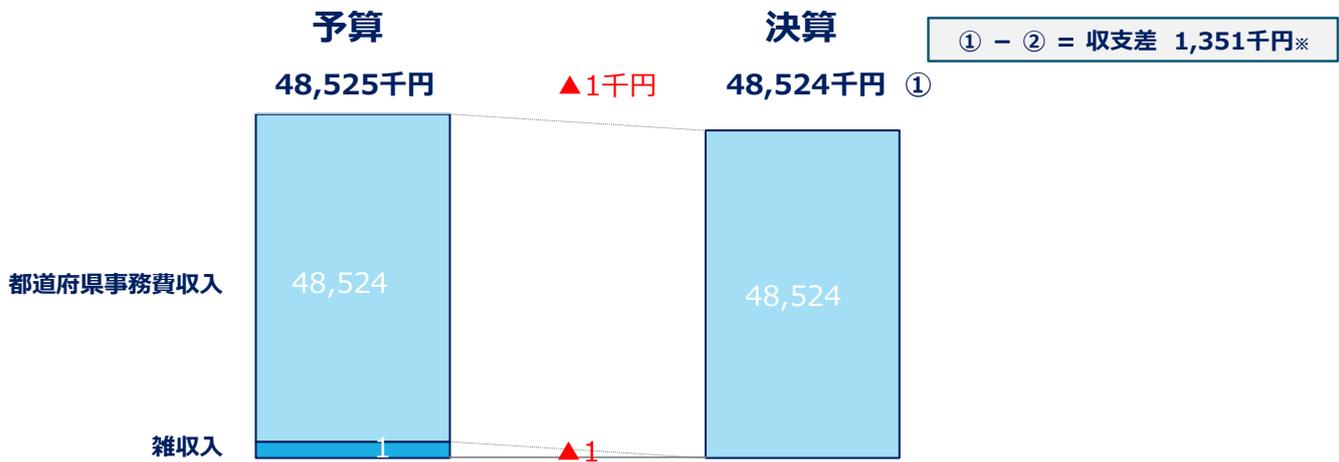


※「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第36条の29」の規定により積立金として整理

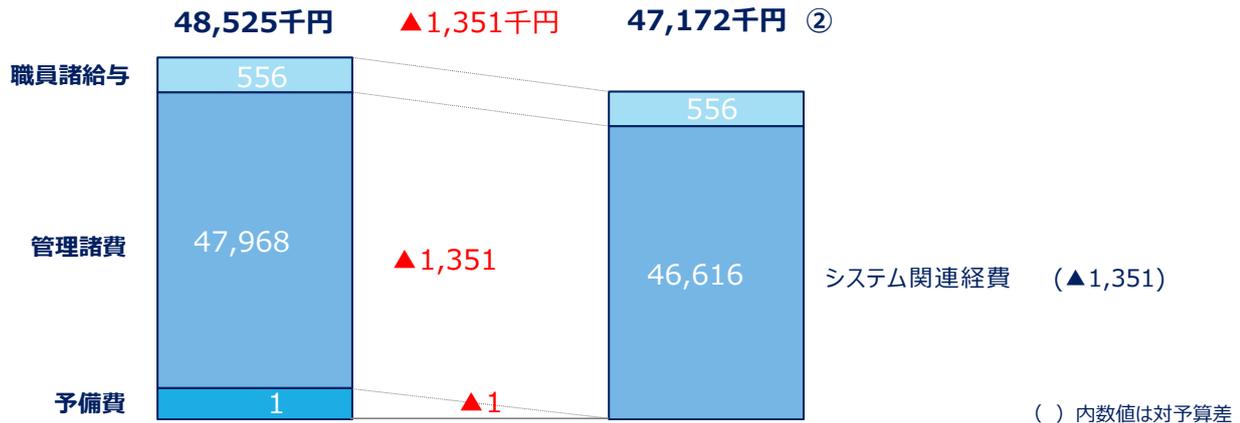
(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。

単位：千円

## 収入



## 支出



(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。

令和6事業年度子ども・子育て支援納付金特別会計  
事務費勘定損益計算書

〔 自 令和7年2月 4日  
至 令和7年3月31日 〕

区 分	注記 番号	金 額	
		千円	千円
〔経常損益の部〕			
( 業 務 損 益 の 部 )			
I 業 務 収 益			
事務費補助金収入		150,245	150,245
II 業 務 費 用			
1 事務費補助金精算返納金		2,645	
2 給 与 手 当		1,320	
3 租 税 公 課		13,298	
4 その他の業務費用		81	17,345
業 務 利 益			132,900
( 業 務 外 損 益 の 部 )			
経 常 利 益			132,900
当 期 純 利 益			132,900
当 期 未 処 分 利 益			132,900

令和6事業年度子ども・子育て支援納付金特別会計  
事務費勘定貸借対照表

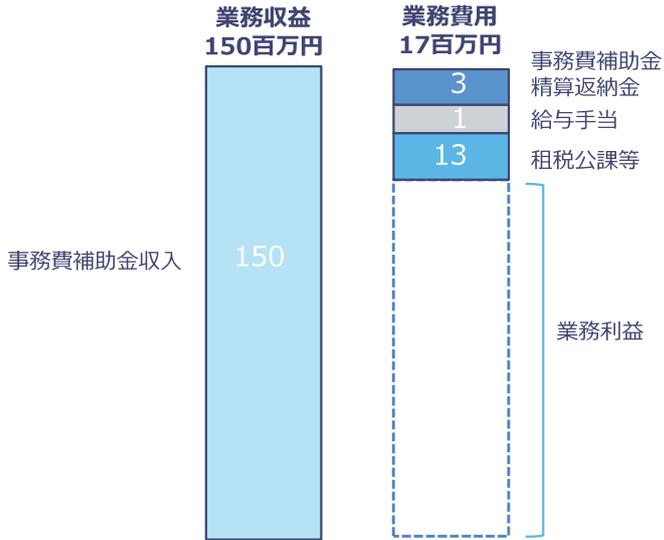
(令和7年3月31日現在)

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部		
区 分	注記 番号	金 額	区 分	注記 番号	金 額
にき h 千円			千円		
( 資 産 の 部 )			( 負 債 の 部 )		
I 流 動 資 産			流 動 負 債		
現金及び預金		150,245	未 払 金		150,245
流 動 資 産 合 計		150,245	流 動 負 債 合 計		150,245
II 固 定 資 産			負 債 合 計		
無形固定資産					150,245
ソフトウェア 仮 勘 定		132,900	(資本の部)		
無形固定資産合計		132,900	利 益 剰 余 金		
固 定 資 産 合 計		132,900	当 期 未 処 分 利 益		132,900
			利 益 剰 余 金 合 計		132,900
			資 本 合 計		132,900
資 産 合 計		283,145	負 債 ・ 資 本 合 計		283,145

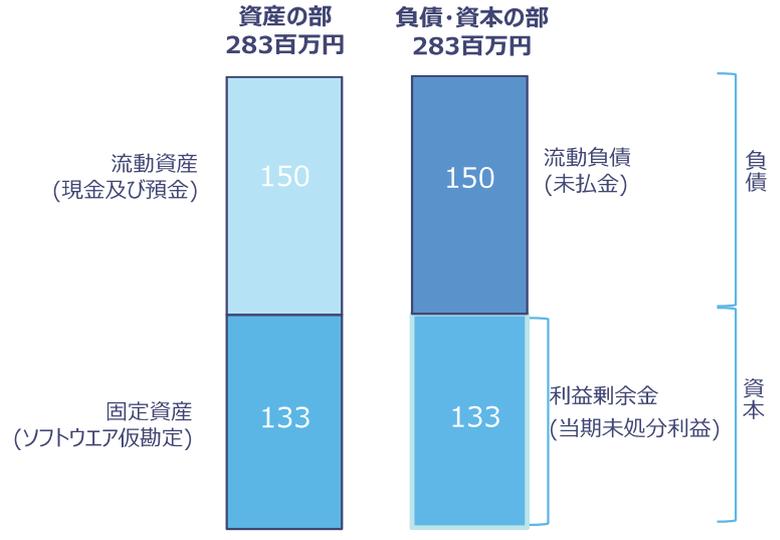
# 子ども・子育て支援納付金特別会計事務費勘定

単位：百万円

## 損益計算書



## 貸借対照表



業務利益 133百万円



当期末処分利益 133百万円

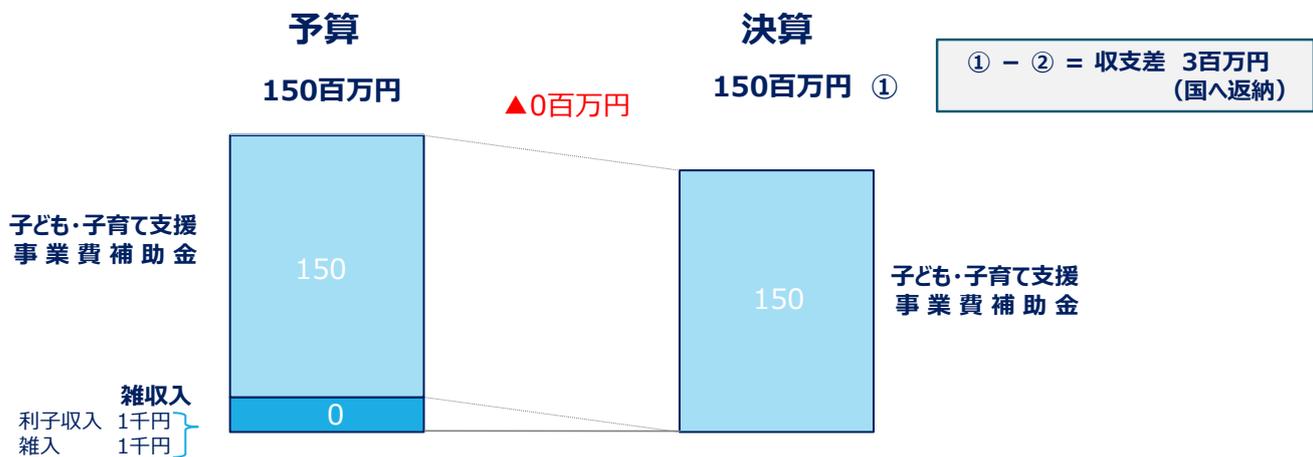
※「子ども・子育て支援法第71条の20第1項」の規定により積立金として整理

(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。

# 子ども・子育て支援納付金特別会計事務費勘定 収入支出予算と決算内訳

単位：百万円

## 収入



## 支出



(注) 端数整理の関係から、合計額が不一致となる場合がある。。